取扱説明書

GL07S



はじめに

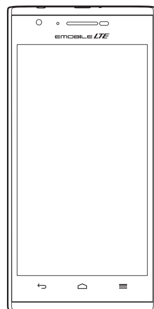
この度は、GL07S（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

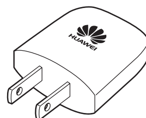
- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリア、および国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
  This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chip＜micro＞（microSIMカード）を取り付けていない状態では一部使用できない機能があります。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときなどには登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

お買い上げ品の確認

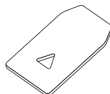
■GL07S本体



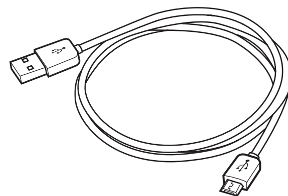
■ACアダプタ（PCS03GSZ10）



■専用工具（試供品）



■USBケーブル（PGS03GSZ10）



■GL07Sかんたんガイド
■ご利用いただくにあたって
■保証書（本体、ACアダプタ）

■ お知らせ

• その他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

目　次

1 ご使用前の確認

2 基本的な画面表示と操作

3 文字入力

4 電話／オプションサービス

5 電話帳

6 オンラインサービスの利用

7 ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用

8 メール

9 インターネット接続

10 位置情報の利用

11 Wi-Fi／Bluetooth®／パソコン接続

12 カメラ

13 ギャラリー

14 音楽

15 Uni Widget（ユニウィジェット）／アプリケーション

16 セキュリティ

17 各種設定

18 海外利用

19 付録

本書の検索方法／見かた

検索方法

本書では、次の方法で知りたい機能やサービスなどの説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 索引を利用する

画面に表示される機能や利用するサービス名から、説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 目次から

説明項目のタイトルから、説明が記載されている箇所を検索できます。

本書での表記について

- 本書において「GL07S」は「本機」と表記しています。
- 本書で説明している画面、操作手順などは、お買い上げ時の設定を例に掲載しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法や内容、およびアプリケーションの操作などは、登録先の都合やアプリケーションのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書内の画面やアイコンはイメージ画像であり、予告なく変更することがあります。
- キーを1秒以上押し続ける操作を本書では「長押し」と表記しています。
- 本機では、ホーム画面で「設定」をタップすると、「ベーシック」／「すべて」タブをタップして設定メニューを切り替えられます。本書では、ホーム画面で「設定」をタップしたときの操作を、「すべて」タブをタップしたときの操作で説明しています。

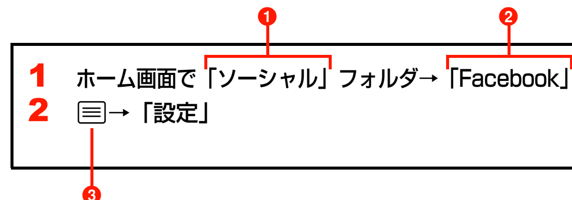
本書の説明の見かた

本書では、P.7のように本機の機能やサービスについて説明しています。

■ 操作手順の表記について

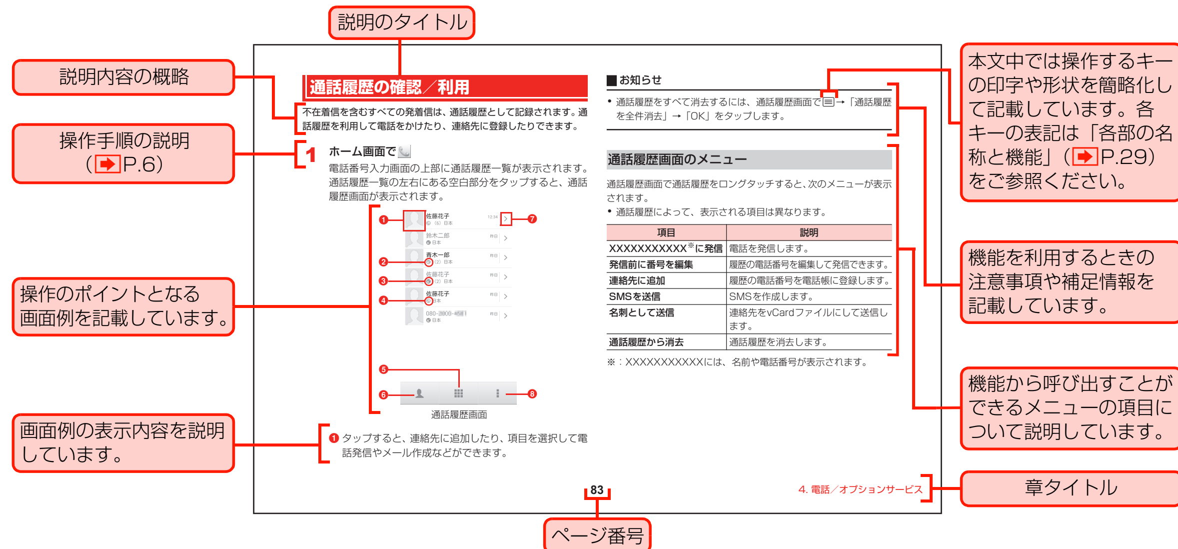
本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

（例）ホーム画面に表示されているフォルダやアプリケーションアイコンを操作し、アプリケーションやメニュー項目などを続けて選択する操作手順



❶ フォルダ名
❷ 名称表示のあるアイコンやメニューなどの選択項目
❸ 本機のキー（➡P.29）

■ ページ内の記載内容



• 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。
- 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みのうえ、必ずお守りください。

■ 表示区分の説明

次の表示区分は、表示内容を守らずに誤った取り扱いをした場合に生じる危害・損害の程度について説明しています。

⚠危険	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の意味

禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項（してはいけないこと）を示しています。
分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
水濡れ禁止	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。

風呂、シャワー室での使用禁止	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
指示	本製品の取り扱いにおける指示事項（必ず実行していただくこと）を示しています。
電源プラグを必ずコンセントから抜く	AC アダプタまたはパソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

GL07S、ACアダプタ、USBケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠危険



分解、改造をしないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本機の改造は電波法違反になります。



強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、火のそば、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。

発熱、発火、変形、変色や故障の原因となります。また本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。



濡れた手で触れないでください。

感電や故障の原因となります。





浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。



コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



無理な力や強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。

⚠警告



GL07Sに接続するACアダプタは、必ず同梱のPCS03GSZ10を使用してください。他のACアダプタは使用しないでください。



必ず指定の機器をご使用ください。

指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。



充電端子やコネクタ、プラグなどの端子部分に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を触れさせないでください。また内部に入れないでください。

ショートによる火災や故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

発熱、発火、感電や故障の原因となります。



ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、必ず事前に電源を切ってください。また、充電は中止してください。

爆発や火災の原因となります。



液がもれている、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐに使用をやめてACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、お問い合わせ先（➡P.253）にご連絡ください。

そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。



落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。

落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠注意



小児や乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。

感電やけがの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。

故障の原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

GL07Sの取り扱いについて





火の中に投入しないでください。

発火、破裂、発熱、内蔵電池の漏液の原因となります。





車両の運転中に本機を使用しないでください。

交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。



万が一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、お問い合わせ先（➡P.253）にご連絡ください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では本機の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。





自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。

安全走行を損なうおそれがあります。



長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



クレジットカードなどを本機に近づけないでください。

クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。



皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診断を受けてください。

お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本機で使用している各部の材質および表面処理は、以下のとおりです。

使用箇所	材料／表面処理
外装ケース（表面）	Sabic EXL4419 PVD処理
外装ケース（裏面）	PC1414塗装
microUSB端子／充電端子	SUS
3.5mmイヤホン端子	銅合金／金メッキ
電源キー、音量キー	PC1414 PVD処理
カメラキー	PC/ABS+Rubber／電気メッキ
EM chip<micro>スロットカバー	PC1414 PVD処理
EM chip<micro>スロット	SUS
受話口	SUS
ディスプレイ／タッチキー	ガラス
スピーカー	SUS

内蔵電池の取り扱いについて

本機にはリチウムイオンポリマー電池が内蔵されています。取り扱いについて、次のことをお守りください。

⚠危険



内蔵電池から漏れた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。

失明のおそれがあります。

⚠警告



内蔵電池から液が漏れたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。



充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

⚠注意



充電は必ず周囲温度-10～40℃の範囲で行ってください。

充電方法については、本書をよくお読みください。



内蔵電池内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

ACアダプタの取り扱いについて



警告



付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
指定以外の電圧で使用した場合は、火災の原因となります。
ACアダプタ：100-240V



長期間使用しないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

注意



ACアダプタをコンセントから抜くときは、USBケーブルを引っ張らずに、ACアダプタを持って抜いてください。
火災、感電の原因となることがあります。



周囲温度-10～40℃、湿度5～95%の範囲でご使用ください。



重いものを載せないでください。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。



布などでくるまないでください。

USBケーブルの取り扱いについて

警告

コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
コードを傷め、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

注意

コードの根元部分を無理に曲げないでください。

USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。
コードが傷つき、感電、火災の原因となります。

EM chip＜micro＞（microSIMカード）の取り扱いについて

警告

EM chip＜micro＞を本機に取り付けるときや取り外すときはご注意ください。
必要以上に力を加えると、けがやEM chip＜micro＞の故障の原因となります。

注意

EM chip＜micro＞のIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。

分解や改造はしないでください。
データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



EM chip<micro>は当社が指定した機器にてご使用ください。

指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



本機を使用中、EM chip<micro>自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。



落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。



高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。

故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chip<micro>を入れないでください。

溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因になります。



小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。

感電やけがの原因となります。



小児や乳幼児が誤ってEM chip<micro>を飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chip<micro>は小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。



その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

以下に記載する4項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準拠しています。





植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。

電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。



医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

ご利用上のお願いとご注意

共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、強い力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
- 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
- 強い力がかかるような場所に置かないでください。
- 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
- 一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

GL07S

- お客さまご自身で本機に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など強い力がかかるような場所には入れないでください。
- 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面などを傷めることがあります。
- 本機の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
- 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
- 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。
- microUSB端子／イヤホンマイク端子にゴミやほこり、金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。

内蔵電池

- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度によって異なります。極端な高温や低温環境では、内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間も短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

ディスプレイ

- 本機のディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ディスプレイや本機に強い力を加えたとき、ディスプレイの一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
- 落下などによりディスプレイが破損した状態でご使用されると、けがをするおそれがあります。ディスプレイが破損した場合には使用しないでください。

ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。

EM chip＜micro＞

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chip＜micro＞に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

スマートフォンの自動通信について

- スマートフォンは最新のソフトウェアやアプリケーションを確認するための通信、データの同期をするための通信など、一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- データを自動で同期することで常に最新のデータを確認したり、より便利にご利用いただくことができますが、自動で通信が行われた場合もデータ通信料が発生します。

注意事項

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

本書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。

無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「Bluetooth®および無線LAN使用に関するご注意」をよくお読みください。

Bluetooth®および無線LAN使用に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

本機のBluetooth®機能／無線LAN機能（2.4GHz帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

項目	説明
使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	FH-SS方式：10m以下 DS-SS方式：40m以下 OFDM方式：40m以下
周波数変更の可否	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域の回避可能

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

良好な通信のために

- 他のBluetooth®機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも3m以上離れた場所でご使用ください。また、AV機器・OA機器などの電気製品からは2m以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。
- 他のBluetooth®機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線LANに関するお願い

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANとBluetooth®との干渉について

802.11b/g/nの無線LAN機器と、本機などBluetooth®機器は同一の2.4GHz帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth®機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。このような場合は、本機を離れた場所でお使いいただくか、または使用していない機器の電源を切るなどにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

セキュリティに関するご注意

- 本機のBluetooth®通信機能には、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetooth®による通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetooth®を使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に進入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

FeliCaリーダー／ライターについて

- 本機のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

免責事項について

● 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 本機の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逸したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 本書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 本機の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した静止画、動画データやダウンロードされたデータあるいはFeliCaチップ内のデータなどが変化または消失することがございますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 連絡先など、お客さまが登録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。登録された内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はあらかじめメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

著作権などについて

著作権について

動画、音楽、絵画、写真、プログラム、その他のデータベースなどは、著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保障されています。このような著作物は、個人的に、又は家庭内のみにおいて使用する目的の場合のみ複製することができます。このような目的以外で権利者の了解なくこれらを複製（データ形式の変換を含む）、複製の譲渡、改変、ネットワーク上での配信などを行う場合、著作権侵害や、著作者人格権侵害として刑事処罰や損害賠償の請求を受けることがあります。

肖像権について

肖像権は、他人が無断で写真を撮ったり、撮った写真を無断で公表したり、利用しない様に主張できる権利です。肖像権には誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮影したり、公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、本機のカメラ機能の適切なご使用を心がけてください。

商標・その他



- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Pocket WiFiの商標およびロゴは、イー・アクセス株式会社の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play™」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Latitude」、「Google Checkout」、「Google トーク」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。



- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」の名称とロゴはTwitter, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Wikipedia®はWikimedia Foundation, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTT ドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

- は、フェリカネットワーク株式会社の登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP、ActiveSync®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  Windows 8は、Windows® 8、Windows® 8 Proの略称です。
  Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
  Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
本機のSARは0.388W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

※:技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の2）で規定されています。

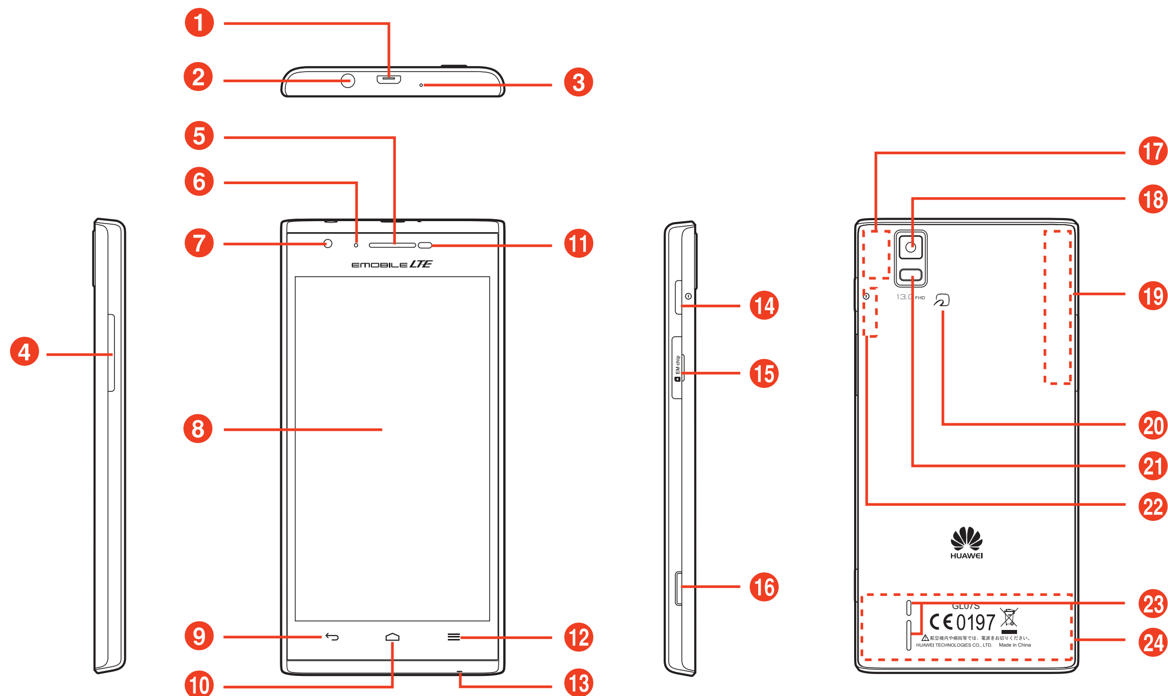
輸出管理規制について

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

ご使用前の確認

1

各部の名称と機能



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
EMOBILE LTE
HUAWEI
CE0197

❶ microUSB端子／充電端子

- 付属のUSBケーブルを接続して、パソコンなどへの接続や充電に使用します（➡P.35、P.167）。

❷ イヤホンマイク端子

- イヤホンマイク（3.5mm径端子）などを接続します。
- お使いのイヤホンマイクの仕様によっては、音が聞こえなかったり、通話中に挿すと切れたりすることがあります。事前に使用できることをご確認ください。

❸ サブマイク

- 通話時のノイズ音を低減するために使用されます。

❹ 音量上／下キー ▯／▯

- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。

❺ 受話口

- 通話相手の音声が聞こえます。

❻ LEDランプ

- 充電時や電池残量が少ないときに点灯、点滅します（➡P.35）。
- ディスプレイ消灯時、点滅して不在着信や新着メールを通知します。

❼ インカメラ

- 自分を撮影するときなどに使用します。

❽ ディスプレイ（タッチパネル）

- 指で直接触れて操作できます（➡P.44）。

❾ 戻るキー（タッチキー）

- 直前の画面に戻るときに使用します。

❿ ホームキー（タッチキー）

- ホーム画面に戻ります。
- ロングタッチすると、最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます（➡P.51）。

⓫ 調光センサー／近接センサー

- 周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- 通話中に顔などが近づいたことを感知します。

⓬ メニューキー（タッチキー）

- 各画面でメニューを表示するときに使用します。

⓭ 送話口（マイク）

- 通話相手に自分の音声を送るときや録音などに使用します。

⓮ 電源キー

- 本機の電源が切れているときに２秒以上長押しすると、電源が入ります。
- 本機の電源が入っているときに長押しすると、マナーモードや機内モードに設定したり、電源を切ったりすることができます。
- 本機の電源が入っているときに押すとディスプレイの点灯／消灯ができます。消灯すると自動的に画面ロックがかかります。

⓯ EM chip<micro>スロット

- EM chip<micro>を取り付けます。

⓰ カメラキー

- 長押しすると、カメラを起動します。
- 静止画撮影／動画撮影画面表示中に押すと、静止画／動画を撮影します。

⓱ GPSアンテナ部分※

⓲ アウトカメラ

- 静止画や動画の撮影などに使用します。

⓳ LTEアンテナ部分※

⓴ FeliCaマーク

㉑ フラッシュ

- カメラの撮影時に点灯できます。

㉒ Bluetooth®／Wi-Fiアンテナ部分※

㉓ スピーカー

- 着信音や再生中の音楽などが流れます。

㉔ 3G／GSM／LTEメインアンテナ部分※

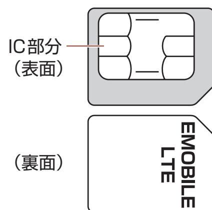
※:アンテナ付近を手で覆うと、通話、通信品質に影響を及ぼす場合があります。

EM chip＜micro＞について

EM chip＜micro＞をご利用になる前に

EM chip＜micro＞（エムチップ＜マイクロ＞）は、お客さまの電話番号や情報などが記録されたICカードです。EM chip＜micro＞対応のイー・モバイル携帯電話または機器に取り付けて使用します。EM chip＜micro＞が取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信などLTE／3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

- 他社製品のICカードリーダーなどにEM chip＜micro＞を挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- EM chip＜micro＞にラベルやシールなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- EM chip＜micro＞の詳しい取り扱いにつきましては、EM chip＜micro＞の台紙に記載されている注意事項、および取扱説明をご覧ください。



その他の注意

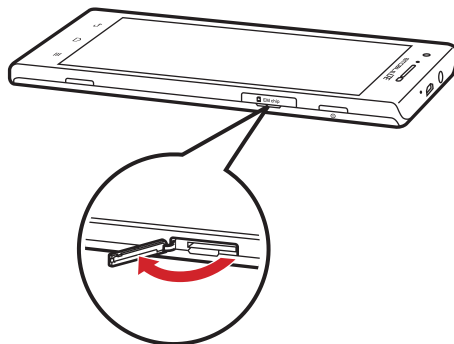
- 使用中にEM chip＜micro＞を取り外すと本製品が正常に動作しなくなりますので、本製品の電源が入っている状態では絶対に取り外さないでください。
- EM chip＜micro＞は、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chip＜micro＞の所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chip＜micro＞の再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chip＜micro＞の仕様、性能は予告なしに変更となる場合があります。
- お客さま自身でEM chip＜micro＞に登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chip＜micro＞やEM chip＜micro＞装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

EM chip＜micro＞の取り付けかた／取り外しかた

- EM chip＜micro＞の取り付け／取り外しのときに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- EM chip＜micro＞の取り付け／取り外しのときは、必要に応じて同梱の専用工具（試供品）をご使用ください。
- EM chip＜micro＞の取り付け／取り外しは、必ず本機の電源を切ってから行ってください（➡P.37）。

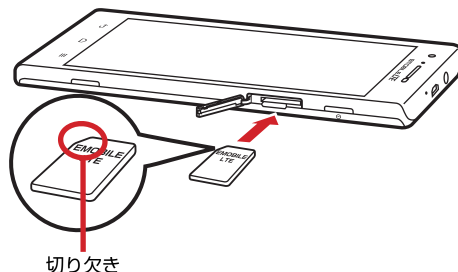
EM chip＜micro＞を取り付ける

1 EM chip＜micro＞スロットカバーを開く



2 EM chip＜micro＞のIC部分を下にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む

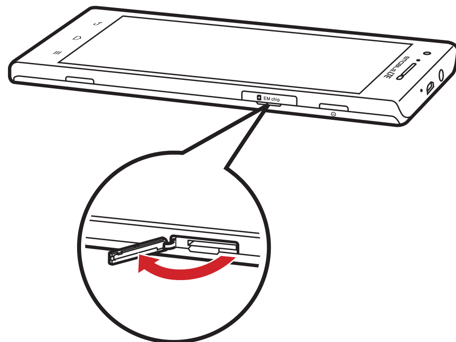
- EM chip＜micro＞が完全に取り付けられていることを確認してください。
- EM chip＜micro＞の取り付け／取り外しのときは、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- EM chip＜micro＞が差し込みにくいときは、同梱の専用工具（試供品）を利用して差し込んでください。



3 EM chip＜micro＞スロットカバーを閉じる

EM chip＜micro＞を取り外す

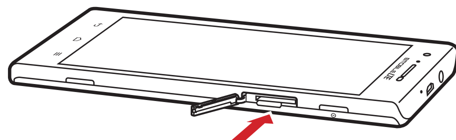
1 EM chip＜micro＞スロットカバーを開く



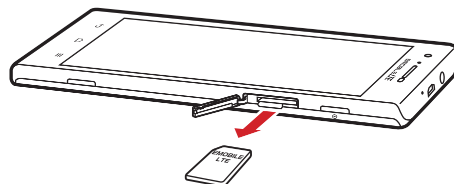
2 EM chip＜micro＞を押し込む

EM chip＜micro＞が少し出てきます。

- 押し込んだ後は、ゆっくり離してください。
- EM chip＜micro＞が押し込みにくいときは、同梱の専用工具（試供品）を利用して押し込んでください。



3 EM chip＜micro＞を引き出して取り外す



4 EM chip＜micro＞スロットカバーを閉じる

PINコード

EM chip＜micro＞には、PIN／PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。
また、PIN／PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方のPINがロックされ、使用できなくなります（PINロック状態）。ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK）の入力が必要になります。

PINコード

PINとは、第三者による本機、またはEM chip＜micro＞の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコードは変更できます（→P.220）。
- EM chip＜micro＞を本機に取り付けて電源を入れたときに、PINコードを入力しないと本機を使用できないようにすることができます（→P.220）。

PIN2コード

PIN2とは、EM chip＜micro＞に記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。

- お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- 2013年1月現在、PIN2コードに関するサービス／機能は利用できません。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードの入力を3回続けて間違えると、PINロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（→P.253）までご連絡ください。

■お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、EM chip＜micro＞がロックされ、使用できなくなります（EM chip＜micro＞ロック）。EM chip＜micro＞がロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなEM chip＜micro＞と交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先（→P.253）までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のイー・モバイル携帯電話やEM chip＜micro＞対応機器にご利用中のEM chip＜micro＞を取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のEM chip＜micro＞に設定されているPIN／PIN2が有効となります。

充電機器のお取り扱い

充電機器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、必ず充電してからお使いください。

- 充電時間、待受時間、通話時間などの目安は、「主な仕様」(➡P.245)をご参照ください。
- 本機、ACアダプタ、USBケーブルの金属部分(充電端子)が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがありますので、乾いた綿棒などで拭いてください。
- 本機の利用可能時間は、充電/放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

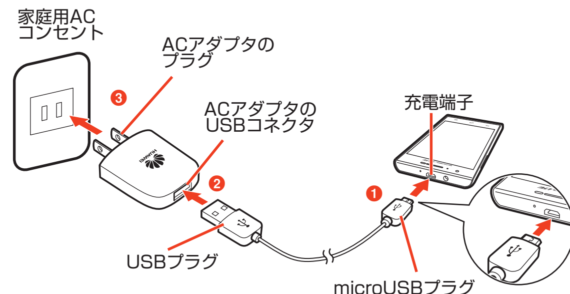
内蔵電池の残量表示について

本機の内蔵電池の残量は、ステータスバーのステータスアイコン(➡P.42)で確認できます。また、ホーム画面で「設定」→「端末情報」→「端末の状態」をタップすると、「電池残量」の下にパーセント表示で内蔵電池の残量が表示されます。

- 電池残量が約20%未満になると、画面ロック解除画面に充電を促すメッセージが表示されます。
- 電池残量が10%以下になると、LEDランプが赤く点滅します。
- 電池残量が約2%未満になると、通知音とともに電池が空になったため、約30秒後にシャットダウンする旨のメッセージが表示され、自動的に本機の電源が切れます。本機を再起動する場合は、充電してから電源を入れてください。

充電する

付属のACアダプタとUSBケーブルを使用して充電します。



1 **本機の充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む(❶)**

- USBケーブルを取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようとすると、破損や故障の原因となります。

2 **ACアダプタのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む(❷)**

3 **ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む（❸）**

充電が開始され、ステータスバーに が表示されます。充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

- 充電中はLEDランプが点灯し、点灯色で充電状態の目安がわかります。電池残量が10%以下の間は赤、90%までの間はオレンジ色、90%以上は緑色に点灯します。

4 **充電が完了したら、家庭用ACコンセントからACアダプタのプラグを抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜く**

■お知らせ

- ACアダプタのプラグは日本国内仕様です。
- USBケーブルを使用して本機とパソコンを接続しても、本機を充電できます。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。
- 充電には必ず本機付属のACアダプタおよびUSBケーブルをご使用ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **（電源キー）を2秒以上長押し**

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.38）。

■ 画面ロックがかかっている場合

（電源キー）を押してディスプレイを点灯させます。

- お買い上げ時は、画面ロックの解除セキュリティが「2Dロック解除」に設定されています。 を下方向に表示される の位置までドラッグして、ロックを解除してください。
- 画面ロックの解除セキュリティを「2Dロック解除」以外に設定している場合は、設定中の解除方法でロックを解除してください（P.221）。

■ EM chip<micro>ロックがかかっている場合

EM chip<micro>ロック（P.220）を設定している場合は、PINコード（P.34）の入力による認証が必要です。入力画面が表示されたら、PINコードを入力して「OK」をタップしてください。

■お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- ▭（電源キー）を押した後、本機の反応がない場合は、充電が不十分なことがあります。充電完了後、再び操作を行ってください。

電源を切る

1 ▭（電源キー）を2秒以上長押し



2 「電源を切る」→「OK」

- マナーモード（➡P.54）や機内モード（➡P.55）を設定することもできます。

■お知らせ

- ▭（電源キー）を2秒以上長押ししても本機の反応がない場合は、▭（電源キー）を10秒以上長押しすると、強制的に再起動させることができます。

再起動する

1 ▭（電源キー）を長押し

2 「再起動」→「OK」

■お知らせ

- ▭（電源キー）を10秒以上長押ししても、再起動できます。

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」（➡P.231）を行った後は、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、「ようこそ」画面（初期設定の開始画面）が表示されます。画面の指示に従って設定します。

- ここでは、EM chip＜micro＞が取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。詳細については、「スマートフォンの自動通信について」（➡P.19）をご参照ください。

1 「開始」

- 日本語以外の言語を表示させたい場合は、「日本語」を上下にスワイプ／スライドして言語を選択します。
- 「緊急通報」をタップすると、緊急通報ができます。



2 Googleアカウントを設定する

Googleアカウントの設定が終了すると、ホーム画面が表示されます。

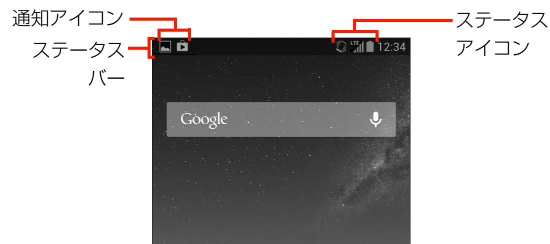
- お持ちのGoogleアカウントを利用する場合は「はい」をタップして「既存のアカウントを使う」（➡P.99）操作2～8を、新規に作成する場合は「いいえ」→「アカウントを作成」をタップして「新しいアカウントを作成する」（➡P.102）操作2～12をご参照ください。
- Googleアカウントを後で設定する場合は、「いいえ」→「今は設定しない」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

基本的な画面表示と操作

2

ステータスバー

ディスプレイ上部に表示されるステータスバーには、不在着信やメールの受信、データの送受信の結果などをお知らせする通知アイコンや、本機の状態を示すステータスアイコンが表示されます。



主な通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着emobileメールあり／新着SMSあり
	新着チャット（Googleトーク）あり
	留守番電話サービスの新着伝言メッセージあり
	予定（カレンダー）の通知あり
	音楽再生中
	画面表示を画像として保存完了
	アカウント同期不具合などのエラーあり
	本機内のメモリがいっぱい
	Wi-Fiオープンネットワークが利用可能

アイコン	状態
	VPN接続中
	設定メニューの「開発者向けオプション」で「USBデバッグ」にチェックを付けてUSBケーブルでパソコンに接続
	非表示の通知あり
	着信中
	通話保留中
	不在着信あり
	転送電話／留守番電話設定中（「常に転送」のみ）
	Bluetooth®でのファイル着信あり
	データのアップロード
	データのダウンロード
	Google Play™に更新可能なソフトウェア／アプリケーションあり、アプリケーションのインストール完了

アイコン	状態
	更新するソフトウェアあり
	USBテザリング設定中
	Bluetooth®テザリング設定中
	Pocket WiFi設定中
	Pocket WiFi設定中かつUSBテザリング設定中
	Google+に共有できる新しい写真あり
	Facebookの新着メッセージあり
	削除した連絡先あり
	スヌーズ設定中のアラームあり
	DLNA起動中
	Twitterに連絡先をアップロード、ツイートあり
	キーボード表示中

アイコン	状態
	Yahoo! JAPANウィジェットの設置ガイド
	緊急速報メールあり
	データ同期失敗
	GPS起動中／GPS測位中 • GPS測位中は、中央の円が点滅表示されます。

主なステータスアイコン

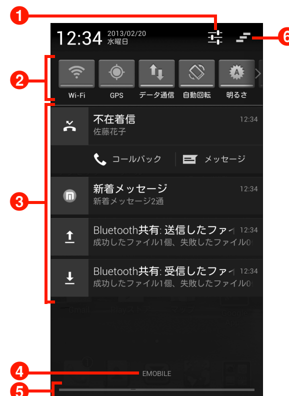
アイコン	状態
※	3Gデータ通信接続中
※	3Gデータ通信使用中
※	LTE接続中
※	LTE使用中
※	HSPA接続中
※	HSPA使用中
※	EDGE接続中
※	EDGE使用中
※	GPRS接続中
※	GPRS使用中
※	Wi-Fiネットワーク接続中
※	Wi-Fiネットワーク使用中
（グレー）	Bluetooth®起動中
（青色）	Bluetooth®対応機器に接続中
	機内モード設定中
	アラーム設定中
	データ同期中
	ローミング中

アイコン	状態
	圏外
	EM chip＜micro＞未挿入
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート（消音））設定中
	電池残量ほとんどなし • 充電してください。
	電池残量少 • 残量が少なくなると、電池アイコンの色が青→オレンジに変化します。
	電池残量十分
	充電中 • 電池残量に応じて、アイコンの青い部分の高さが変化します。
	おサイフケータイ®の機能をロック中
	緊急通報位置通知の測位中

※：Googleのサーバーに接続されている場合は青く表示されます。また、表示されるバーの本数で電波の強弱を示します。

通知パネル

ステータスバーを下にスライドすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認できます。



通知パネル

❶ タップして、設定メニューを呼び出すことができます（➡P.224）。
❷ タップして、Wi-Fi、GPS、データ通信などのON／OFFを切り替えます。OFFのときは、アイコンがグレーになります。
- 左右にスワイプ／スライドすると、表示されていない項目を表示できます。
- 「その他」をタップすると、「その他」のショートカットと入れ替えたり、表示順を変更したりできます。

3 通知情報や実行中の情報が表示されます。タップすると通知情報の確認や関連機能の操作ができます。
  - 情報によっては、ピンチの操作を行うと表示を拡大／縮小できます。

4 接続中の通信事業者名が表示されます。
5 上にスライドして通知パネルを閉じます。
6 通知情報をまとめて消去します。

タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

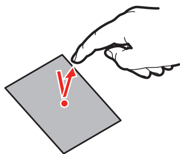
タッチパネルをご利用になる前に

本機は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

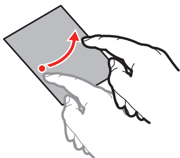
タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。



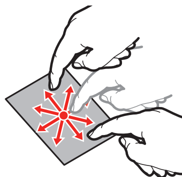
スワイプ

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。



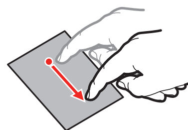
スライド

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。



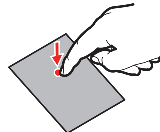
ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。



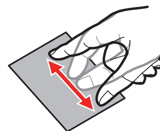
ロングタッチ

アイコンやキーに触れた状態を保ちます。



ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。



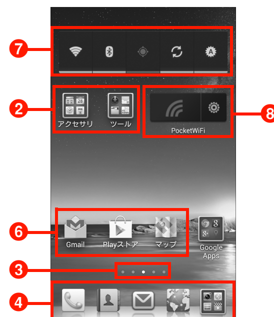
ホーム画面について

本機の起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は、さまざまな操作をはじめるための基本画面です。

- 左右にスワイプ／スライドして画面を切り替えることができます。お買い上げ時は5枚のホーム画面があり、1～9枚の間で画面を追加／削除できます。







❶ Uni Widget（ユニウィジェット）
天気情報や日付・時刻の確認、連絡先の貼り付け、ギャラリーの画像の表示、音楽の再生操作ができます。

❷ フォルダ
タップするとフォルダ画面が表示され、アイコンをタップしてアプリケーションや機能を起動／表示します。

❸ インジケーター
表示中のホーム画面の位置を示します。

❹ お気に入りトレイ
すべてのホーム画面に表示され、アイコンをタップしてアプリケーションや機能を起動できます。最大5つのアプリケーションアイコンやフォルダを配置できます。

❺ Google検索ボックス
文字や音声を入力して、本機内やウェブページの情報を検索できます。

❻ アプリケーションアイコン
アプリケーションや機能を起動したり、本機の設定項目を表示したりします。

❼「電源管理」ウィジェット
Wi-FiやBluetooth®、GPS機能、同期のオン／オフを切り替えたり、画面の明るさを調整したりできます。

❽「Pocket WiFi」ウィジェット
Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）のON／OFFを切り替えたり、設定を変更したりできます。

■お知らせ

- ウィジェットとは、ホーム画面で動作するアプリケーションです。タップして起動や操作ができたり、自動的に情報が更新されたりします。

ホーム画面をカスタマイズする

ウィジェットの追加や壁紙の変更などにより、ホーム画面を用途にあわせて変更できます。

壁紙を変更する

ホーム画面の背景の壁紙を変更できます。

1 **ホーム画面の背景部分をロングタッチ**

ウィジェットなどが追加できる領域のうち、何も配置されていない部分を選択します。

2 **「壁紙」→「ホーム画面の壁紙」**

3 **壁紙に設定する画像をタップ**

■「壁紙」の画像の場合

①画像をタップ→「スクロール可」／「固定」→「固定」をタップしたときは青枠をドラッグして表示位置を指定→「壁紙に設定」

- 「スクロール可」をタップすると、ホーム画面を切り替えるときに壁紙がスクロール表示されます。
- 「固定」をタップすると、ホーム画面を切り替えても指定した範囲の画像が固定表示されます。

■「ライブ壁紙」の画像の場合

①画像をタップ→「壁紙に設定」

■「その他」の画像の場合

①「ギャラリー」→フォルダをタップ→画像をタップ→画像のサイズに応じて青枠をドラッグして調整→「保存」

■お知らせ

- 「ロック画面の壁紙」をタップすると、画面ロック解除画面の壁紙を変更できます。「その他の壁紙を使用」をタップし、ホーム画面の壁紙と同様の操作をしてください。「ホーム画面の壁紙を使用」をタップすると、ホーム画面と同じ壁紙が設定されます。
- 「シェイクして変更」をタップしてONにすると、本機を傾けたときに壁紙が変更されます。
- 「ランダムに変更」をタップしてONにし、切り替え時間を選択すると、設定した時間が経過すると自動的に壁紙が変更されます。

エフェクトを設定する

ホーム画面を切り替えるときの視覚効果を設定できます。

1 **ホーム画面の背景部分をロングタッチ**

ウィジェットなどが追加できる領域のうち、何も配置されていない部分を選択します。

2 **「エフェクト」→設定する視覚効果をタップ**

ウィジェットを追加する

1 **ホーム画面の背景部分をロングタッチ**

ウィジェットなどが追加できる領域のうち、何も配置されていない部分を選択します。

2 **「ウィジェット」→「全て」タブ／「ダウンロード」タブをタップ→追加するウィジェットをロングタッチ**

3 **そのまま画面上部の追加するホーム画面のサムネイルまでドラッグして指を離す**

ホーム画面を追加／移動／削除する

ホーム画面は、1～9枚の間で削除や追加ができます。また、ホーム画面の並び順を変更できます。

1 **ホーム画面の背景部分をロングタッチ**

ウィジェットなどが追加できる領域のうち、何も配置されていない部分を選択します。

2 **「サムネイル」**

ホーム画面がサムネイル表示されます。

3 **追加／移動／削除の操作を行う**

■ ホーム画面を追加する場合

① [+]

■ ホーム画面を移動する場合

① 移動するホーム画面をロングタッチ→そのまま移動先までドラッグして指を離す

■ ホーム画面を削除する場合

① ホーム画面の左上に表示されている[×]

- アプリケーションアイコンなどが配置されているホーム画面には[×]が表示されません。

■お知らせ

- ホーム画面をピンチインしても、ホーム画面の追加／移動／削除ができます。
- サムネイル表示のホーム画面下部の[ホーム]をタップすると、本機の電源を入れたときなどに、最初に表示されるホーム画面として設定できます。

フォルダを追加する

1 **ホーム画面でアプリケーションアイコンをロングタッチ**

2 **そのままフォルダとしてまとめたいアプリケーションアイコンまでドラッグして指を離す**

■お知らせ

- 1つのフォルダには、最大16個のアプリケーションアイコンを追加できます。
- フォルダを削除するには、フォルダ内のアプリケーションアイコンなどを移動してアプリケーションアイコンなどが1つだけの状態にします。移動は、ホーム画面でフォルダをタップ→アプリケーションアイコンなどをロングタッチ→そのままフォルダ外までドラッグして指を離します。
- 一部のウィジェット（サイズが1×1）を、フォルダに追加することもできます。

アプリケーションアイコンやウィジェットなどを移動する

1 ホーム画面で移動するアプリケーションアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 そのままアプリケーションアイコンやウィジェットなどを移動先までドラッグして指を離す

■お知らせ

- アプリケーションアイコンやフォルダをお気に入りトレイまでドラッグすると、お気に入りトレイに移動できます。

フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

フォルダの内容が表示されます。

2 フォルダ名の部分をタップ→フォルダ名を入力→↵

■ アプリケーションアイコンをフォルダに追加する場合

① ＋→追加するアプリケーションアイコンをタップ→「OK」

ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

2 そのままウィジェットを画面上部のごみ箱までドラッグ

3 ウィジェットが赤色に変わったら指を離す

アプリケーションをアンインストールする

1 **ホーム画面で削除するアプリケーションアイコンをロングタッチ**

2 **そのままアプリケーションアイコンを画面上部のごみ箱までドラッグ**

3 **アプリケーションアイコンが赤色に変わったら指を離す→「OK」**

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、一部を除きアンインストールできません。

機能の呼び出しかた

アプリケーションや機能を起動する

本機にインストールされているアプリケーションアイコンは、ホーム画面またはカテゴリ分けされたフォルダ内に配置されています。

1 **ホーム画面でフォルダをタップ**

- 左右にスワイプ／スライドして画面を切り替えることができます。
- ホーム画面にアプリケーションアイコンが配置されている場合は、操作1を行う必要はありません。

2 **起動するアプリケーションアイコンをタップ**



ホーム画面





フォルダ内のアプリケーションアイコン

最近使用したアプリケーションを起動する

1 **をロングタッチ**

最近使用したアプリケーションの記録が一覧表示されます。

2 **起動するアプリケーションのアイコンをタップ**

■お知らせ

- 最大で19件のアプリケーションが表示されます。
- 最近使用したアプリケーションの記録を左右にスワイプするか、をタップして各記録を削除できます。また、をタップすると、すべての記録を削除できます。

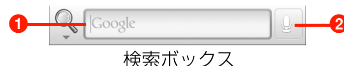
検索のしかた

「検索」アプリケーションまたは「Google」アプリケーションを利用して、本機内やウェブページなどの情報を検索できます。

- ウェブページの情報を検索する場合や、音声検索を利用する場合は、あらかじめインターネットに接続できる状態にしてください（P.146）。

「検索」アプリケーションを利用する

1 **ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「検索」**



検索ボックス

❶ テキスト入力エリア

検索する文字列を入力できます。

❷ 音声検索

タップすると、検索する文字列を音声で入力できます。

2 **検索する文字列を入力**

- Google検索ボックスの下に表示される検索候補をタップしても、検索できます。

■お知らせ

- 「検索」ウィジェットをホーム画面に追加すると、タップするだけで検索ボックスを起動できます。

「Google」アプリケーションを利用する

「Google」アプリケーションでは、Google Nowを利用することもできます。Google Nowとは、現在時刻や現在地、本機内に登録した情報などを利用して、ユーザーに有益で適切だと思われる情報をGoogle Nowカードで表示するサービスです。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Google」

- 初回利用時は、Google Nowの説明画面が表示されます。「次へ」をタップして説明を確認し、「利用します。」／「今は利用しません。」をタップします。「利用します。」をタップすると、Google検索ボックスの下にGoogle Nowカードが表示されます。



Google検索ボックス

1. テキスト入力エリア
   検索する文字列を入力できます。
2. カード表示エリア
   情報があるときにGoogle Nowカードが表示されます。
3. 音声検索
   タップすると、検索する文字列を音声で入力できます。

2 検索する文字列を入力

■お知らせ

- Google Nowの詳細については、Google検索ボックス表示中に☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。
- 「Google検索」ウィジェットをホーム画面に追加すると、タップするだけでGoogle検索ボックスを起動できます。

音声を入力して検索する（音声検索）

- 音声の入力状況によって、正確に変換できないことがあります。あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「音声検索」

2 検索する文字列を音声で入力

「検索」アプリケーションの設定を変更する

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「検索」→≡→「検索設定」

2 項目を設定

項目	説明
検索対象	検索する対象を設定します。
ショートカットを消去	最近選択した検索候補のショートカットを消去します。

「Google」アプリケーションの設定を変更する

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Google」→≡→「設定」

2 項目を設定

項目		説明
Google Now		Google Nowのオン／オフの切り替え、Google Nowカードの各種設定、通知設定を行います。
音声	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	音声出力	常に音声出力するか、ハンズフリーのときのみ音声出力するかを設定します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を表示するかどうかを設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用するときの音声認識データを管理／ダウンロードします。
端末内検索		検索する対象を設定します。

項目		説明
プライバシーとアカウント	現在地設定の管理	本端末に設定したGoogleアカウントでGoogleマップにログインし、現在地設定などを変更できます。
	Location services	「位置情報サービス」（➡P.229）を設定します。
	最近の検索の表示	Googleアカウントのウェブ履歴を検索候補として使用する場合は、チェックを付けます。
	ウェブ履歴の管理	「最近の検索の表示」にチェックを付けている場合に表示され、ウェブ履歴の一時停止や削除ができます。
	google.comで検索	www.google.comを利用して検索する場合は、チェックを付けます。
	法的事項	利用規約やプライバシーポリシー、法的通知、オープンソースライセンスを確認します。

■お知らせ

- ☰→「サンプルカード」をタップすると、Google Nowカードが表示されます。各カードの「サンプルカード」をタップすると、カードのサンプル表示を確認できます。「設定」をタップすると、カードの各種設定ができます。
- ☰→「更新」をタップすると、Google Nowの情報を更新します。
- ☰ →「フィードバックを送信」をタップすると、Google 利用規約の同意／拒否を設定できます。

マナーモード／機内モード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードを設定する

着信音や通知音などが鳴らないように設定できます。

1 ▭（電源キー）を長押し

2 🔇または📳

🔇をタップすると消音（ミュート）に設定され、ステータスバーには🔇が表示されます。また、📳をタップするとバイブレーションが振動するように設定され、ステータスバーには📳が表示されます。

■ マナーモードを解除する場合

① 🔊

■お知らせ

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、音楽／動画の再生音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- ホーム画面で「設定」→「音」→「マナーモード」→「バイブレーション」／「ミュート」をタップしても、マナーモードを設定できます。

機内モードを設定する

本機の電源が入った状態で電波の送受信を停止します。設定すると、電話の発着信やインターネット接続、メールの送受信など電波の送受信が必要な機能は利用できなくなります。

1 （電源キー）を長押し

2 「機内モード」

ステータスバーにが表示されます。

■ 機内モードを解除する場合

① （電源キー）を長押し→「機内モード」

■お知らせ

- ホーム画面で「設定」をタップし、「機内モード」をONにしても機内モードを設定できます。

音／画面の基本的な設定

着信音／通知音、音量、バイブレーションの設定

着信音／通知音の種類や各種の音量、バイブレーションなどを設定できます。

着信音／通知音を設定する

電話の着信音や、メールの新着通知を受信したときなどに鳴る通知音を設定します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「音」→「着信音」／「通知音」

- 「通知音」をタップしたときは、「Eメール」／「カレンダー」／「その他」をタップします。「Eメール」を選択した場合は、設定する着信音を選択します。「カレンダー」／「その他」を選択した場合は、操作3へ進んでください。

3 「着信音」／「音楽ファイル」

- 「着信音」を選択するとあらかじめ登録されている音の一覧が、「音楽ファイル」を選択すると音楽の一覧が表示されます。

4 音や音楽を選択→「OK」

音量を調節する

着信音量やメディア音量などを個別に調節できます。

- 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア：各種メディアの再生音
- 着信音と通知音：電話の着信音や、メール受信時などの通知音
- アラーム：アラームの鳴動音

1 ホーム画面で「設定」

2 「音」→「音量」

3 音量バーのスライダーを左／右にドラッグ→「OK」

■お知らせ

- 着信音と通知音の音量は、▯（音量上キー）／▯（音量下キー）を押しても調節できます。着信音と通知音の音量が最小のときに▯（音量下キー）を押すと、マナーモード（バイブレーション）に設定され、さらに▯（音量下キー）を押すとマナーモード（ミュート）に設定されます。ただし、動画／音楽再生中など一部の画面では調節できない場合があります。
- 音楽や動画、ゲームの音楽などの再生中に▯（音量上キー）／▯（音量下キー）を押すと、再生音量を調節できます。

バイブレーションを設定する

着信／通知時の本機のバイブレーション動作を設定します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「音」→「バイブレーション」→項目にチェックを付ける

画面の明るさの調整

1 ホーム画面で「設定」

2 「表示」→「画面の明るさ」

3 「明るさを自動調整」にチェックを付ける→「OK」

- チェックを付けると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されます。

■ 画面の明るさを手動で設定する場合

①「明るさを自動調整」のチェックを外す
② スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

■お知らせ

- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットのをタップしても、画面の明るさを調整することができます。

ディスプレイの消灯時間を設定する

1 ホーム画面で「設定」

2 「表示」→「スリープ」

3 ディスプレイが消灯するまでの時間をタップ

画面の表示内容を画像で保存する

ディスプレイに表示されている画面表示を画像として保存することができます。保存した画像は、ギャラリーで確認することができます(P.177)。

1 ▯（音量下キー）と▭（電源キー）を同時に押す

シャッター音が鳴り、画面の表示内容が保存されます。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で「設定」

2 「端末情報」→「端末の状態」

「電話番号」の下に自分の電話番号が表示されます。

暗証番号

本機で各機能やサービスをご利用する際、「ネットワーク暗証番号」が必要な場合があります。ネットワーク暗証番号はご契約時に申込書に記入した4桁の暗証番号で、イー・モバイルへの各種手続き／お申し込みの際に必要です。

■お知らせ

- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。暗証番号を他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

文字入力

3

文字の入力方法

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。キーボードには、次の2種類があります。

- Androidキーボード（英語（米国））
- FSKAREN for Huawei

お知らせ

- お買い上げ時は、「FSKAREN for Huawei」に設定されています。
- 日本語を入力するときは「FSKAREN for Huawei」をご利用ください。
  Androidキーボードでは日本語を入力できません。
- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリケーションや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードを変更する

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」→「デフォルト」

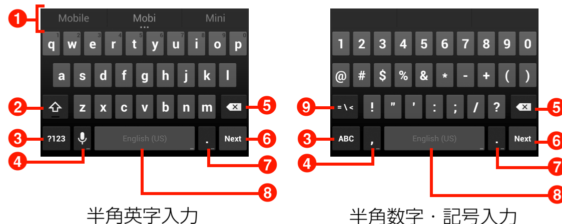
3 「英語（米国）」／「FSKAREN for Huawei」

お知らせ

- キーボードを表示中に通知パネルを開いて「入力方法の選択」をタップしても、キーボードを変更できます。

Androidキーボードでの入力

パソコンのキーボードと同様のキー配列のQWERTYキーボードです。半角英字や半角数字・記号を入力できます。



半角英字入力　　半角数字・記号入力

❶ 修正候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▪▪▪が表示されているときは、修正候補欄をロングタッチすると、すべての修正候補を表示できます。

❷ 小文字／大文字を切り替えます。ダブルタップすると大文字固定に切り替えます。

❸ 入力モードを半角英字入力／半角数字・記号入力に切り替えます。

❹ 音声入力を使ったり、カンマを入力したりします。
- 🎤が表示されているときは、音声で文字を入力できます。
- 「,」が表示されているときは、カンマを入力できます。

❺ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❻ 入力を決定したりカーソルを移動したりします。
- 「Next」が表示されているときは次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「Done」が表示されているときは入力を決定します。
- ↵が表示されているときは改行します。

❼ ピリオドを入力します。ロングタッチすると記号を入力できます。

❽ スペースを入力します。
- ロングタッチすると、キーボードの変更ができます（➡P.59）。

❾ 記号などの種類を切り替えます。

■お知らせ

- スペースキーまたはピリオドキーをタップすると、入力した文字がそのまま決定されます（オートコンプリート機能）。
- キーによってはロングタッチすることで、別の文字を表示して入力することができます。

FSKAREN for Huaweiでの入力

FSKAREN for Huaweiでは、次の4種類のキーボードを利用できます。

■ 10キー

複数の文字が各キーに割り当てられています。スワイプして文字を入力するフリック入力、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力、2タッチ入力の3種類から選択できます。

- フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にスワイプして、入力する文字を選択する入力方法です。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力したい文字の方向にスワイプします。ポップアップ中央の文字は、キーをタップするだけで入力できます。

  (例)「め」を入力する場合

  「ま」のキーをタップしたままで、「め」が表示されている方向（右）にスワイプします。





❶ 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を表示します。▲をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を閉じます。

❷ タブをタップして文字種を変更します。

❸ カーソル画面を表示します（➡P.64）。

❹ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。

❺ キーボードをQWERTYに切り替えます。

❻ 英数字またはカナの変換候補を表示します。
- Menuと表示されているときは、タップするとFSKAREN設定メニューが表示されます。FSKAREN設定メニューからキーボードの種類を切り替えたり（➡P.64）、FSKAREN for Huaweiの設定を変更したりできます。

❼ 入力中の文字の大文字／小文字、濁点／半濁点などを切り替えます。
- a⇔Aと表示されているときは、英字の大文字／小文字を切り替えます。

❽ キーボードを閉じます。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❿ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。
⓫ 通常変換候補を表示します。
- ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

⓬ 入力中の文字を確定します。
- ↵と表示されているときは、改行または実行します。

■ QWERTY

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

- 英字のキーを上にスワイプすると、大文字で入力できます。また、キーを下にスワイプするとキーに割り当てられている数字や記号が入力できます。
- 半角英数／全角英数入力時に表示されるaAをタップすると、英字の大文字／小文字に入力方法を切り替えます。



❶ 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ▼をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を表示します。▲をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を閉じます。

❷ タブをタップして文字種を変更します。
❸ キーボードを10キーに切り替えます。
❹ 英数字またはカナの変換候補を表示します。
- Menuと表示されているときは、FSKAREN設定メニューが表示されます。FSKAREN設定メニューからキーボードの種類を切り替えたり（➡P.64）、FSKAREN for Huaweiの設定を変更したりできます。

❺ カーソル画面を表示します（➡P.64）。
❻ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。
❼ キーボードを閉じます。
❽ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❾ 入力中の文字を確定します。
- ↵と表示されているときは、改行または実行します。

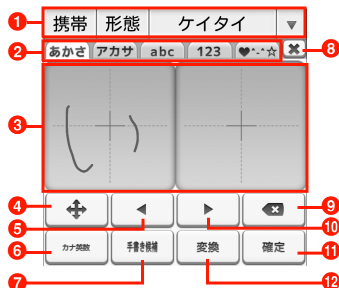
❿ 通常変換候補を表示します。
- ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

⓫ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。

■ 手書き

手書きで文字を入力します。

• タッチパネルの認識状態や文字の形状によっては、正確に認識できない場合があります。



❶ 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

• ▼をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を表示します。▲をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を閉じます。

❷ タブをタップして文字種を変更します。

❸ 手書きで文字を入力します。

❹ カーソル画面を表示します（➡P.64）。

❺ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。

❻ 英数字またはカナの変換候補を表示します。

• Menuと表示されているときは、タップするとFSKAREN設定メニューが表示されます。FSKAREN設定メニューからキーボードの種類を切り替えたり（➡P.64）、FSKAREN for Huaweiの設定を変更したりできます。

❼ 入力した手書き文字の手書き候補を表示します。

❽ キーボードを閉じます。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

❿ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。

⓫ 入力中の文字を確定します。

• ↵と表示されているときは、改行または実行します。

⓬ 通常変換候補を表示します。

• ␣と表示されているときは、スペースを入力します。

■ 50音

50音のキーがすべて表示されているキーボードです。



❶ 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。

• ▼をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を表示します。▲をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の一覧を閉じます。

❷ タブをタップして文字種を変更します。

❸ 大文字／小文字に入力方法を切り替えます。
- aA と表示されているときは、英字の大文字／小文字に入力方法を切り替えます。

❹ カーソル画面を表示します（➡P.64）。
❺ 英数字またはカナの変換候補を表示します。
- Menu と表示されているときは、タップするとFSKAREN設定メニューが表示されます。FSKAREN設定メニューからキーボードの種類を切り替えたり（➡P.64）、FSKAREN for Huaweiの設定を変更したりできます。

❻ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。
❼ キーボードを閉じます。
❽ 通常変換候補を表示します。
- ␣ と表示されているときは、スペースを入力します。

❾ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❿ 入力中の文字を確定します。
- ↵ と表示されているときは、改行または実行します。

⓫ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。

キーボードの種類を変更する

1 キーボード表示中に Menu

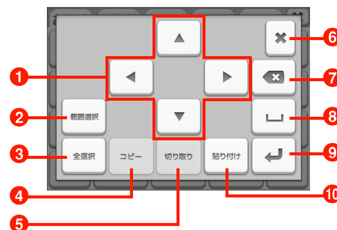
2 「入力方法」欄の「10キー」／「QWERTY」／「手書き」／「50音」
- 「音声入力」をタップすると、文字を音声で入力できます。

■お知らせ

- 10キー／QWERTYのキーボード表示中に ⌨ ／ ▦ をタップしても、QWERTY／10キーのキーボードに切り替えられます。

カーソル画面を利用する

1 10キー／QWERTY／手書き／50音のキーボードを表示中に ✥



❶ カーソルを移動します。
❷ タップした後に矢印キーをタップすると、入力した文字列を選択できます。
• 「選択解除」をタップすると、選択を解除します。
❸ 入力した文字列をすべて選択します。
❹ 選択した文字列をコピーします。
❺ 選択した文字列を切り取ります。
❻ カーソル画面を閉じます。
❼ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
❽ スペースを入力します。
❾ 改行します。
❿ 切り取り／コピーした文字列を、カーソルの位置に貼り付けます。

記号／顔文字を利用する

1 **キーボード表示中に「♥^-^☆」タブをタップ**



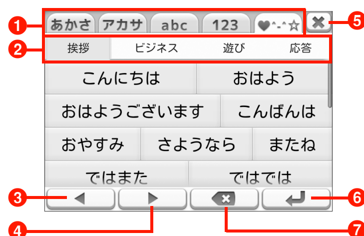
記号／顔文字の一覧画面

❶ タブをタップして文字種を変更します。
❷ 顔文字／記号の入力履歴を表示します。
❸ 顔文字の一覧を表示します。
❹ 記号の一覧を表示します。
❺ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。
❻ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。
❼ キーボードを閉じます。
❽ タブをタップして記号の半角／全角を切り替えます。
• 顔文字の一覧を表示しているときは、タブをタップしてカテゴリを切り替えます。
❾ 改行または実行します。
❿ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

定型文を利用する

1 キーボード表示中にMenu

2 「一覧表示」欄の「定型文」



❶ タブをタップして文字種を変更します。

❷ タブをタップしてカテゴリを切り替えます。

- タブを左右にスワイプすると、表示されていないカテゴリを表示できます。

❸ 入力した文字列の範囲内でカーソルを左に移動します。

❹ 入力した文字列の範囲内でカーソルを右に移動します。

❺ キーボードを閉じます。

❻ 改行または実行します。

❼ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

文字の編集

文字列の選択／切り取り／コピー／貼り付けをする

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。



文字列選択画面（例１）



文字列選択画面（例２）

1 文字入力欄をロングタッチ

2 ／または／をドラッグして文字列を選択

3 アイコン／メニューをタップ

- 利用状況によって、表示されるアイコン／メニューは異なります。

アイコン	説明
／全て選択	入力した文字列をすべて選択します。
／カット	選択した文字列を切り取ります。
／コピー	選択した文字列をコピーします。
／ペースト	切り取り／コピーした文字列を、選択した文字列に上書きして貼り付けます。

■お知らせ

- 切り取り／コピーした文字列がある場合は、文字入力欄をロングタッチすると「ペースト」というポップアップが表示されます。「ペースト」をタップすると文字列を貼り付けます。
- 文字入力欄の文字列上をロングタッチして「置換…」というメニューが表示された場合は、タップすると文字列を再変換できます。
- 利用中のアプリケーションによっては、操作方法や表示が異なる場合があります。

ユーザー辞書

ユーザー辞書（FSKAREN for Huawei）を利用する

単語をユーザー辞書に登録する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくと便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力欄にユーザー辞書に登録した見出し語を入力し、変換します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」→

FSKAREN設定メニューが表示されます。

- FSKAREN for HuaweiのキーボードMenu表示中にMenuをタップしても、FSKAREN設定メニューを表示できます。

3 「辞書設定」欄の「ユーザー辞書」

4 「新規登録」→単語・見出し語を入力し、品詞を選択→「登録」

5 「OK」→「閉じる」

ユーザー辞書を編集する

1 **ホーム画面で「設定」**

2 **「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」→** 

FSKAREN設定メニューが表示されます。

- FSKAREN for Huaweiのキーボード表示中にをタップしても、FSKAREN設定メニューを表示できます。

3 **「辞書設定」欄の「ユーザー辞書」**

4 **目的の編集を行う**

■ 登録内容を編集する場合

① 編集する項目をタップ→「編集」
② 内容を変更→「決定」→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

① 削除する項目にチェックを付ける
② 「削除」→「OK」→「OK」

■ 登録内容をユーザー変換辞書として登録する場合

① 登録する項目をタップ
② 「変換」→「OK」

- ユーザー辞書に登録した単語をまとめて、1つの辞書（ユーザー変換辞書）として登録できます。登録しておくと、辞書ごとに使い分けることができます（➡P.68）。

■ 内部ストレージに登録内容を保存する場合

① いずれかの項目をタップ
② 「保存」→「OK」

■ 内部ストレージに保存した登録内容を復元する場合

① 「復元」→復元する項目をタップ
② 「復元」→「OK」→「閉じる」

■ 内部ストレージに保存した登録内容を削除する場合

① 「復元」→削除する項目をタップ
② 「削除」→「OK」→「OK」→「閉じる」

■お知らせ

- ユーザー辞書（拡張子：suj）を保存した場合は、内部ストレージ内の「FSKaren_UserDic」フォルダに保存されます。

ユーザー変換辞書を利用する

ユーザー辞書から登録したユーザー変換辞書を、文字入力時に利用するかどうかを設定します。

1 **ホーム画面で「設定」**

2 **「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」→** 

FSKAREN設定メニューが表示されます。

- FSKAREN for Huaweiのキーボード表示中にをタップしても、FSKAREN設定メニューを表示できます。

3 **「辞書設定」欄の「ユーザー変換辞書」**

4 使用する辞書にチェックを付ける

ユーザー変換辞書を確認／編集する

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」→

FSKAREN設定メニューが表示されます。

- FSKAREN for Huaweiのキーボード表示中にMenuをタップしても、FSKAREN設定メニューを表示できます。

3 「辞書設定」欄の「ユーザー変換辞書」

4 目的の確認／編集を行う

■ **辞書を確認する場合**

① 確認する辞書をタップ→「表示」→「閉じる」

■ **辞書名を変更する場合**

① 編集する辞書をタップ→「辞書名変更」
② 辞書名を変更→「OK」→「OK」

■ **辞書を削除する場合**

① 削除する辞書をタップ→「削除」→「OK」→「OK」

定型文／顔文字を追加／変更／初期化する

定型文や顔文字を追加／変更します。お買い上げ時の状態に戻すこともできます。

- FSKAREN for Huaweiの場合に利用できます。

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」→「FSKAREN for Huawei」→

FSKAREN設定メニューが表示されます。

- FSKAREN for Huaweiのキーボード表示中にMenuをタップしても、FSKAREN設定メニューを表示できます。

3 「辞書設定」欄の「定型文」

4 目的の追加／変更を行う

■ **追加する場合**

① カテゴリを選択→「追加」
② 文字を入力→「OK」→「OK」

■ **変更する場合**

① カテゴリを選択→変更する項目をタップ→「変更」
② 内容を変更→「OK」→「OK」

■ **削除する場合**

① カテゴリを選択→削除する項目をタップ→「削除」

■ **定型文／顔文字をお買い上げ時の状態に戻す場合**

「初期化」→「OK」→「OK」

文字入力の設定

キーボードの設定を変更する

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」→「Androidキーボード（AOSP）」／「FSKAREN for Huawei」／「Google音声入力」

- 「FSKAREN for Huawei」を選択した場合は、Menuをタップします。

3 項目を設定

■ Androidキーボードの場合

項目	説明
入力言語	入力する言語を選択します。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー押下時ポップアップ	キーをタップしたときにポップアップ表示するかどうかを設定します。
音声入力キー	音声入力キーを表示するキーボードを設定します。

項目		説明
自動修正		誤入力をしたときにスペースキーまたはピリオドキーをタップして修正するかどうかを設定します。
修正候補を表示する		修正候補の表示方法を「常に表示」「縦向きで表示」「常に非表示」から設定します。
詳細設定	**言語切り替えキーを非表示**	「入力言語」で複数の言語を設定したときに表示される言語切り替えキーを、表示するかどうかを設定します。
	他の入力方法に切り替え	言語切り替えキーをタップしてFSKAREN for Huaweiに切り替えるようにするかどうかを設定します。
	カスタム入力方式	入力言語ごとに入力方式（レイアウト）を設定します。
	キーのポップアップ時間	キー操作時のポップアップの表示時間を「すぐに消去」「デフォルト」から設定します。
	候補の連絡先名を表示	連絡先の名前を修正候補や自動修正の候補に使用するかどうかを設定します。
	文字予測	直前の単語から修正候補を予測するかどうかを設定します。
	キー操作バイブの振動時間の設定	キーをタップしたときのバイブレーションの長さを設定します。
	キー操作音の音量設定	キーをタップしたときの操作音の音量を設定します。

■ FSKAREN for Huaweiの場合

項目		説明
入力方法	10キー	文字入力中にタップすると、キーボードを10キーに切り替えます。
	QWERTY	文字入力中にタップすると、キーボードをQWERTYに切り替えます。
	手書き	文字入力中にタップすると、キーボードを手書きに切り替えます。
	50音	文字入力中にタップすると、キーボードを50音に切り替えます。
	音声入力	文字入力中にタップすると、音声入力に切り替えます。
一覧表示	顔文字	顔文字の一覧を表示します。
	記号	記号の一覧を表示します。
	定型文	定型文の一覧を表示します。
画面設定	デザイン変更	キーボードのデザインを設定します。
	変換候補行数	縦画面で変換候補を表示する行数を設定します。
	サイズ変更	キーボードのサイズを設定します。
ON／OFF設定	キーバイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	ワンタッチ変換	10キー利用時、入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、変換を上にスワイプするだけで、予測変換を表示させるように設定できます。例えば「おはよう」と入力する場合、「あ」→「は」→「や」→「あ」→変換を上にスワイプすると、予測変換候補に「おはよう」などが表示されます。
	予測変換	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	連携予測	確定した文字から予測して、入力候補を表示するかどうかを設定します。
	下段フリック	10キー利用時、最下段のキーを下にフリックして記号や数字を入力できるようにするかどうかを設定します。

項目		説明
各種設定	**10キー入力方式**	10キー利用時の入力方式を「フリック入力」／「トグル入力」／「2タッチ入力」から設定します。
	フリック感度	フリック入力の感度を設定します。
	オートカーソル	10キーのトグル入力を利用時、キーをタップして文字を入力してから自動でカーソル移動するまでの時間を設定します。
	入力文字種	10キー／QWERTY／手書き／50音の入力文字種を設定します。
	手書き画面タイプ	縦画面にしたときの手書き入力欄の数を「シングル」（1文字分）／「ダブル」（2文字分）から設定します。
辞書設定	**ユーザー辞書**	ユーザー辞書（FSKAREN for Huawei）を利用します（➡P.67）。
	ユーザー変換辞書	ユーザー変換辞書を利用します（➡P.68）。
	定型文	定型文／顔文字を追加／変更／初期化します（➡P.69）。
リセット	**学習リセット**	FSKAREN for Huaweiで記憶された学習内容を消去します。
	設定リセット	FSKAREN for Huaweiの設定項目をリセットします。
バージョン情報		FSKAREN for Huaweiのバージョンが表示されます。

■ Google音声入力の場合

項目	説明
入力言語を選択	入力する言語を選択します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。
オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用するときの音声認識データを管理／ダウンロードします。

電話／オプションサービス

4

電話をかける

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（P.78）をご参照ください。

1 ホーム画面で[電話アイコン]



電話番号入力画面

❶ **候補の連絡先**
[ユーザーアイコン]（ユーザー）に登録されている連絡先が候補として表示されます。電話番号を入力していないときは、通話履歴が表示されます。

❷ **電話番号表示欄**
入力した電話番号が表示されます。

❸ **＊**
＊を入力します。電話番号の入力後にロングタッチすると「,」が入力されます。「,」の後ろに番号を入力して電話をかけると、電話がつながって約２秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。

❹ **連絡先**
連絡先一覧画面を表示して、連絡先を検索します（P.90）。

❺ **連絡先詳細**
候補の連絡先の連絡先詳細画面を表示します。

❻ **削除**
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除できます。

❼ **電話発信**

❽ **＃**
＃を入力します。電話番号の入力後にロングタッチすると「;」が入力されます。「;」の後ろに番号を入力して電話をかけ、電話がつながった後に「はい」をタップすると、番号がプッシュ信号として送信されます。

❾ **メニュー**
メニューを表示します。

2 **電話番号（市外局番を含む全桁）を入力**

- 通話履歴や（ユーザー）に登録した連絡先から相手の電話番号を選択して、電話をかけることもできます。

3

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます。

4 **通話が終わったら**

電話番号入力画面のメニュー

電話番号入力画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

- 電話番号の入力状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
不在着信	不在着信のみを表示します。
全履歴	すべての通話履歴を表示します。
通話履歴を全件消去	通話履歴をすべて消去します。

項目		説明
設定	**着信音**	着信音を設定します。
	着信時のバイブレーション	着信時にバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
	ダイヤルタッチ音	ダイヤルキーをタップしたときにタッチ音を鳴らすかどうかを設定します。
	転送電話	転送電話（P.82）、留守番電話（P.83）を設定します。
	ボイスメール	ボイスメールサービスを設定します。
	発信番号制限	2013年1月現在、イー・モバイルではご利用できません。
	その他の設定	発信時に電話番号を通知するかどうかを設定します（P.85）。また、通話中にかかってきた電話を受けるかどうかを設定します（P.84）。
	アカウント	インターネット通話（SIP）のアカウントを設定します。
	インターネット通話を使用	インターネット通話の設定をします。

電話番号を通知して電話をかける

発信者番号を通知に設定している場合は、相手にお客さまの番号が通知されます（➡P.85）。

日本国内から国際電話をかける

日本国内から海外に音声電話をかけたり、海外から電話を受けたりすることができます。サービスの詳細、お客さまのお申し込み状況に関しましては、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

- 市外局番が「0」で始まる場合、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国・地域を除く）。

1 **電話番号入力画面で「010」-「国番号」-「相手先電話番号」を入力**

- 例えば、イタリア（国番号39）のローマ（06-＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、010-39-6-＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

2 （発信アイコン）

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます（➡P.78）。

3 **通話が終わったら**（終話アイコン）

■お知らせ

- 海外の滞在先でも本機で電話をかけたり、受けたりすることができます（➡P.237）。

緊急通報（110／119／118）発信について

本機ではPINコードの入力時（➡P.36）などでも「緊急通報」をタップすると、110（警察）、119（消防・救急）、118（海上保安庁）へ発信することができます。

■お知らせ

- 機内モード設定中は、緊急通報できません。
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

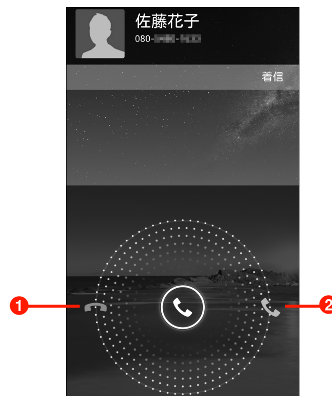
本機ではお客さまの現在地（GPS情報）を緊急通報受理機関に通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- GPS測位方法で通知できない場合は、受信している基地局測位情報をもとに算出した位置情報を通知します。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「119」、「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命等に差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

電話を受ける

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（➡P.78）をご参照ください。

1 電話がかかってくる



電話着信画面

❶ 拒否アイコン

をここにドラッグすると、かかってきた電話を拒否（➡P.78）します。

❷ 通話アイコン

をここにドラッグすると、かかってきた電話に出ます。

2 を右にドラッグ

通話中になります。

3 通話が終わったら

■ お知らせ

- 着信中に（音量上キー）／（音量下キー）／（電源キー）を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

着信を拒否する

電話がかかってきたとき、着信を拒否できます。

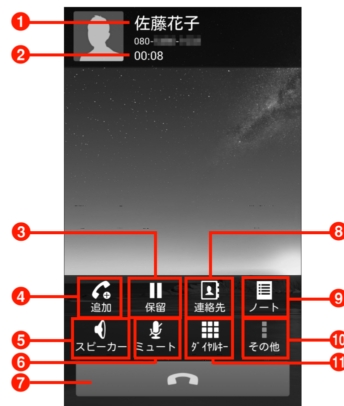
1 電話着信画面でを左にドラッグ

着信を拒否します。

- 拒否した着信は、転送電話または留守番電話の「通話中の着信時に転送」（P.82）に従います。設定していない場合は切断されます。

通話中の操作

通話中画面の見かた



通話中画面

❶ 名前

連絡先に登録されている名前が表示されます。登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

❷ 通話時間

❸ 保留※

通話を保留します（別途お申し込みが必要です）（P.79）。
割込通話中は「切り替え」と表示され、通話相手を切り替えます。

❹ 追加※
通話を保留にして、別の相手に電話をかけます（別途お申し込みが必要です）。
割込通話中は「グループ通話」と表示されますが、2013年1月現在、イー・モバイルではご利用できません。

❺ スピーカー
相手の声をスピーカーから出力し、ハンズフリーで通話します。

❻ ミュート
自分の声が相手に聞こえないようにします。

❼ 終了
通話を終了します。

❽ 連絡先※
連絡先一覧画面を表示します（➡P.90）。

❾ ノート※
ノートを起動します（➡P.207）。

❿ その他
「追加」「保留」「連絡先」「ノート」を表示します。

⓫ ダイヤルキー
ダイヤルキーを表示します。

※：「その他」をタップしたときに表示されます。

通話音量を調節する

相手の声の音量を調節できます。

1 通話中に▯（音量上キー）／▯（音量下キー）

■ 相手の声を大きくする場合
①▯（音量上キー）を押す

■ 相手の声を小さくする場合
①▯（音量下キー）を押す

通話を保留／保留解除する

「割込通話」（➡P.84）をお申し込みいただいているときは、通話を保留できます。

- 保留中でも、発信側には通話料金がかかります。

1 通話中画面で「その他」→「保留」

通話履歴の確認／利用

不在着信を含むすべての発着信は、通話履歴として記録されます。通話履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に登録したりできます。

1 ホーム画面で📞

電話番号入力画面の上部に通話履歴一覧が表示されます。通話履歴一覧の左右にある空白部分をタップすると、通話履歴画面が表示されます。



通話履歴画面

1. タップすると、連絡先に追加したり、項目を選択して電話発信やメール作成などができます。
2. (青)：着信履歴を示します。
3. (赤)：不在着信を示します。
4. (緑)：発信履歴を示します。
5. ダイヤルキーを再表示します。
6. 連絡先一覧画面を表示して、連絡先を検索します(➡P.90)。
7. 通話詳細を表示します。
8. メニューを表示します。

2 通話履歴をタップ

発信されます。

■お知らせ

- 同じ相手と連続して発着信した場合は、1つの履歴項目にまとめて記録されます（最新の不在着信を除く）。
- 通話履歴画面で☰→「不在着信」をタップすると、不在着信履歴のみを表示できます。再度☰→「全履歴」をタップすると、すべての通話履歴を表示できます。

通話履歴を消去する

1 通話履歴画面で消去する通話履歴をロングタッチ

2 「通話履歴から消去」

■お知らせ

- 通話履歴をすべて消去するには、通話履歴画面で☰→「通話履歴を全件消去」→「OK」をタップします。

通話履歴画面のメニュー

通話履歴画面で通話履歴をロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 通話履歴によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
XXXXXXXXXXX※に発信	電話を発信します。
発信前に番号を編集	履歴の電話番号を編集して発信できます。
連絡先に追加	履歴の電話番号を(ユーザー)に登録します。
SMSを送信	SMSを作成します。
名刺として送信	連絡先をvCardファイルにして送信します。
通話履歴から消去	通話履歴を消去します。

※:XXXXXXXXXXXには、名前や電話番号が表示されます。

オプションサービス

本機では、以下のオプションサービスが利用できます。

サービス名称	内容
転送電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話	電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします。
割込通話※	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。
発信者番号通知	自分の電話番号を相手に通知する／通知しないように設定することができます。
電話番号リクエスト	発信者番号を通知に設定している相手からかかってきた電話のみ受けることができます。

※:別途お申し込みが必要な有料サービスです。

■お知らせ

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- オプションサービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

転送電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。

■ 転送条件

転送条件は次のメニューから選択します。

項目	説明
常に転送	かかってきた電話を本機に着信させずに転送します。
通話中の着信時に転送	通話中にかかってきた電話を転送します。
不在着信時に転送	転送開始時間内に電話に出なかったときに、かかってきた電話を転送します。 • 転送開始までの時間は、設定できません。
着信不可時に転送	電波の届かない場所にいるときに、かかってきた電話を転送します。

転送電話を設定／開始する

転送条件ごとに転送先の電話番号を設定できます。

1 ホーム画面で→→「設定」→「転送電話」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不可時に転送」

3 転送先の電話番号を入力→「有効にする」／「更新」

- をタップすると、(ユーザー) に登録した連絡先から電話番号を選択できます。

転送電話を停止する

1 ホーム画面で→→「設定」→「転送電話」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不可時に転送」

3 「無効にする」

■ お知らせ

- 転送電話の開始中でも、着信音が鳴っている間はを右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

留守番電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりします。

留守番電話を設定／開始する

転送条件ごとに留守番電話センターへの転送を設定できます。
転送条件は、転送電話と同じメニューから選択できます（➡P.82）。

1 ホーム画面で → →「設定」→「転送電話」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不可時に転送」

3 「08070017000」（留守番電話センターの電話番号）を入力→「有効にする」／「更新」

留守番電話を停止する

1 ホーム画面で → →「設定」→「転送電話」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不可時に転送」

3 「無効にする」

お知らせ

- 留守番電話の開始中でも、着信音が鳴っている間は を右にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに録音されている伝言メッセージを聞くことができます。

1 ホーム画面で

2 「1416」→

- 「1」をロングタッチしても、留守番電話センターに接続されます。

お知らせ

- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに が表示されます。通知パネルを開いて「新しいボイスメール」をタップしても、メッセージを確認できます。

割込通話

割込通話を利用すると、通話中にかかってきた電話を受けることができます。

- ご利用いただくには、別途お申し込みが必要です。
- 割込通話と合わせて転送電話または留守番電話を開始しているときに、通話中にかかってきた電話に応答しなかった場合は、かかってきた電話は設定に応じて転送先または留守番電話センターに接続されます。
- 転送電話または留守番電話の「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、割込通話をご利用できません。

割込通話を設定する

1 **ホーム画面で → → 「設定」 → 「その他の設定」**

2 **「割込通話」にチェックを付ける**

割込通話を停止する

1 **ホーム画面で → → 「設定」 → 「その他の設定」**

2 **「割込通話」のチェックを外す**

通話中にかかってきた電話を受ける

最初に話していた相手を保留にして、かかってきた相手の着信に応答します。

1 **通話中に割込通話を着信したら、を右にドラッグ**

- 割込通話を着信すると、着信を知らせる「プー、プー」という音が受話口から鳴ります。

■お知らせ

- 通話中の相手は電話番号または名前と通話時間、保留中の相手は電話番号または名前と「保留中」が表示されます。
- 割込通話の着信を拒否する場合は、を左にドラッグします（P.78）。
- 割込通話中に「その他」をタップすると「グループ通話」が表示されますが、2013年1月現在、イー･モバイルではご利用できません。

通話の相手を切り替える

通話の相手を切り替えて、保留中の相手と通話します。

1 **割込通話中に「その他」→「切り替え」**

発信者番号通知

発信の際に、自分の電話番号を通知するか、非通知にするかを設定します。

1 ホーム画面で→→「設定」→「その他の設定」→「発信者番号」

2 項目をタップ

項目	説明
ネットワーク既定	電話番号の通知／非通知は、使用しているネットワークにより決定されます。
番号を非通知	自分の電話番号を非通知にします。
番号を通知	相手に自分の電話番号を通知します。

■お知らせ

- 本設定の内容にかかわらず、電話番号の前に以下の数字を付けてダイヤルすることで、発信者番号を通知する／しないを設定できます。
  - 相手にお客さまの番号を通知する場合：相手の電話番号の前に「186」を付ける
  - 相手にお客さまの番号を通知しない場合：相手の電話番号の前に「184」を付ける

電話番号リクエスト

電話をかけてきた相手が電話番号を通知している場合のみ着信するように設定します。

- 発信者番号を非通知に設定している発信元には、発信者番号通知を案内するガイダンスが流れます。

1 ホーム画面で

2 「＊254#」→

■ 停止する場合

①「#254#」→

■お知らせ

- 留守番電話、転送電話、割込通話が設定されている場合にも、本サービスが優先されます。
- 公衆電話や海外からの電話など発信者側の意思にかかわらず電話番号の通知ができないときは、正常に動作しない場合があります。

電話帳

5

電話帳について

（ユーザー）に電話番号やメールアドレスを連絡先として登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりできます。また、Googleアカウントなどのオンラインアカウントの連絡先と同期して、利用することもできます。

お知らせ

- EM chip＜micro＞や本機内、オンラインアカウントの連絡先をインポート／コピーすることもできます（P.95）。
- 本機に登録できる連絡先の件数は、本機の空き容量によって異なります。

連絡先を登録する

1 **ホーム画面で**

連絡先一覧画面が表示されます（P.90）。

2

- 初回利用時は、使用するアカウントの選択画面が表示され、連絡先の登録先を設定できます。
- 使用するアカウントの選択画面で「電話」をタップすると本機内、「SIM」をタップするとEM chip＜micro＞が登録先に設定されます。本機にオンラインアカウントを設定している場合は、登録先として表示されます。

連絡先登録画面

❶ 登録先アカウント

連絡先を登録するアカウントを変更します。

❷ 画像

画像を登録できます。

「写真を撮影」をタップすると、写真を撮影して登録できます。「ギャラリーから画像を選ぶ」をタップすると、本機に保存されている画像を選択して登録できます。

❸ ラベル

入力内容のラベル（種類）を選択できます。

❹ 別のフィールドを追加

「着信音」「住所」「メモ」などの項目を追加できます。

❺ 詳細情報フィールド

「名前」欄の場合は、「姓」「名」「ミドルネーム」などを入力できます。「よみがな」欄の場合は、「姓のよみがな」「名のよみがな」「ミドルネームのよみがな」などを入力できます。

3 必要な項目を入力

「名前」、「よみがな」を入力する際は、フィールド横の ∨ をタップして、詳細情報フィールドを開いて入力します。※

連絡先登録画面

※：詳細情報入力時、以下のように入力すると、Googleアカウントにコピーしたり、同期を行ったときに、よみがなが消去されてコピー／同期されます。

- 「姓のよみがな」を入力し、「姓」の欄が空白
- 「名のよみがな」を入力し、「名」の欄が空白
- 「ミドルネームのよみがな」を入力し「ミドルネーム」が空白

- 「新しく追加」をタップすると、選択した項目の入力欄を追加できます。
- ✕ をタップすると、入力した項目を削除できます。

4 「完了」

■ お知らせ

- 連絡先登録画面で「着信音」欄をタップすると、連絡先ごとの着信音を設定できます。

連絡先を確認／編集する

連絡先の登録内容を確認する

連絡先一覧画面または連絡先詳細画面から、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりできます。

1 **ホーム画面で**

連絡先一覧画面が表示されます（P.90）。

2 **確認する連絡先をタップ**

連絡先詳細画面が表示されます（P.91）。

連絡先一覧画面の見かた



連絡先一覧画面

❶ **連絡先タブ**
連絡先一覧画面が表示されます。

❷ **グループタブ**
グループ一覧画面が表示されます（➡P.96）。グループをタップすると、グループに登録されている連絡先を確認できます。

❸ **検索バー**
名前などの一部を入力すると、検索された連絡先の一覧が表示されます（➡P.92）。

❹ **プロフィール**
タップすると、プロフィールを登録できます。
初期設定で「携帯端末の所有者」を設定した場合、またはGoogleアカウントを設定した場合は、設定した名前が表示されます。

❺ **見出し**
連絡先が、五十音→数字→アルファベットの順で分類表示されます。ふりがなを入力していない場合や頭文字が記号の場合は、空欄または「他」として分類されることがあります。

❻ **連絡先**
タップすると、連絡先詳細画面が表示されます（➡P.91）。

❼ **クイックコンタクトアイコン**
タップすると、電話の発信やメール作成などができます。表示されるアイコンは、連絡先の登録内容によって異なります。
- 画像を登録した場合は、画像が表示されます。

❽ **電話アイコン**
タップすると、電話番号入力画面が表示されます（➡P.74）。

❾ **お気に入りタブ**
お気に入り一覧画面が表示されます（➡P.94）。

❿ **連絡先登録アイコン**
タップすると、連絡先登録画面が表示されます（➡P.87）。

連絡先詳細画面の見かた



連絡先詳細画面

❶ 戻るアイコン

連絡先一覧画面に戻ります。

❷ 画像

登録した画像が表示されます。

❸ 電話番号

タップすると、電話を発信できます。

- ロングタッチすると、クリップボードに電話番号をコピーできます。
- 電話番号が複数登録されている場合は、ロングタッチすると基本電話番号を設定できます（➡P.93）。

❹ メールアドレス

タップすると、メールを作成できます。

- ロングタッチすると、クリップボードにメールアドレスをコピーできます。
- メールアドレスが複数登録されている場合は、ロングタッチすると基本メールアドレスを設定できます（➡P.93）。

❺ お気に入りアイコン

タップすると、連絡先をお気に入りに追加／お気に入りから削除できます（➡P.94）。

❻ 編集アイコン

タップすると、連絡先を編集できます（➡P.93）。

❼ SMSアイコン

タップすると、SMSを作成できます（➡P.125）。

■お知らせ

- 電話番号やメールアドレス以外の登録項目をタップしても、登録内容に対応した操作ができます。

連絡先一覧画面のメニュー

連絡先一覧画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
表示する連絡先	連絡先を登録先ごとに切り替えて表示します。 • 「すべての連絡先」を選択すると、すべての登録先に保存されている連絡先を表示します。 • 「カスタマイズ」→登録先をタップ→表示するグループにチェックを付ける→「OK」をタップすると、各登録先の表示する連絡先を設定できます。
アカウント	連絡先データを自動的に同期させるかどうかを設定します。
連絡先を削除	連絡先を削除します。 • 「連絡先を削除」から連絡先を削除すると、ステータスバーにが表示されます。
連絡先の共有	連絡先をBluetooth®やメールなどを使って共有します。
連絡先の管理	連絡先のインポート／エクスポートやコピーなどを行います（P.95）。

連絡先詳細画面のメニュー

連絡先詳細画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

• 連絡先の登録状況などによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
共有	連絡先をBluetooth®やメールなどを使って共有します。
削除	連絡先を削除します。
コピー	連絡先を本機内、EM chip＜micro＞またはオンラインアカウントにコピーします。
全ての着信をボイスメールへ	連絡先の相手からかかってきた電話を、留守番電話センターに転送するかどうかを設定します。
ホーム画面に配置	ホーム画面に連絡先を配置します。

連絡先を検索する

連絡先に登録されている名前などの一部を入力して、目的の連絡先を検索できます。

1 連絡先一覧画面で検索バーをタップ

2 検索ボックスに名前などの一部を入力

検索結果が表示されます。確認する連絡先をタップすると、連絡先詳細画面が表示されます。

■お知らせ

- 名前を記号のみで登録している場合は、名前の検索はできません。

連絡先を編集する

1 連絡先一覧画面で編集する連絡先をタップ

2

連絡先編集画面が表示されます。

3 入力内容を編集

4 「完了」

基本電話番号を設定する

基本電話番号は、他のアプリケーションから連絡先にアクセスして電話番号を引用するときなどに、優先的に使用されます。

1 連絡先詳細画面で、基本電話番号として使う電話番号をロングタッチ

2 「デフォルトに設定」

ラベルの後ろにチェックマークが表示されます。

- 基本電話番号を解除する場合は、基本電話番号をロングタッチ→「デフォルトを解除」をタップします。

基本メールアドレスを設定する

基本メールアドレスは、他のアプリケーションから連絡先にアクセスしてメールアドレスを引用するときなどに、優先的に使用されます。

1 連絡先詳細画面で、基本メールアドレスとして使うメールアドレスをロングタッチ

2 「デフォルトに設定」

ラベルの後ろにチェックマークが表示されます。

- 基本メールアドレスを解除する場合は、基本メールアドレスをロングタッチ→「デフォルトを解除」をタップします。

複数の連絡先を統合する

複数の連絡先を統合して1つの連絡先にまとめることができます。複数に分かれた同一人物の連絡先をまとめる場合などに便利です。

1 連絡先詳細画面で「統合された連絡先の管理」

2 「連絡先を追加」

3 統合する連絡先をタップ

- 統合を解除するには、連絡先詳細画面で「統合された連絡先の管理」→統合を解除する連絡先の✕をタップします。

連絡先をお気に入りに追加する

よく使う連絡先をお気に入りとして登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。

1 **連絡先一覧画面でお気に入りに追加する連絡先をタップ**

2 ☆

☆が★に変わり、連絡先がお気に入りに追加されます。

- お気に入りから削除する場合は、★をタップします。

■お知らせ

- ホーム画面で→「お気に入り」タブをタップ→→お気に入りに追加する連絡先をタップ→「追加」をタップしても、お気に入りに追加できます。
- ホーム画面で→「お気に入り」タブをタップ→→「お気に入りを削除」→削除する連絡先をタップ→「削除」をタップしても、お気に入りから削除できます。

お気に入りの連絡先を確認する

1 **ホーム画面で→「お気に入り」タブをタップ**

お気に入り一覧画面が表示されます。

連絡先を利用／管理する

連絡先から電話をかける

1 **連絡先一覧画面で電話をかける連絡先をタップ**

2 **電話番号をタップ**

選択した電話番号に電話がかかります。

連絡先からメールを作成する

1 **連絡先一覧画面でメールを送信する連絡先をタップ**

2 **メールアドレスをタップ→メール作成に使用するアプリケーションをタップ**

以降の操作については、「emobileメールを作成／送信する」（P.115）／「Gmail」（P.127）／「Eメールを作成／送信する」（P.130）をご参照ください。

連絡先からSMSを作成する

1 **連絡先一覧画面でSMSを送信する連絡先をタップ**

2 **携帯電話番号の**

以降の操作については、「SMSを作成／送信する」（P.125）をご参照ください。

連絡先をインポート／エクスポートする

EM chip＜micro＞から連絡先を取り込む

EM chip＜micro＞に保存された連絡先を、本機の（ユーザー）に取り込みます。

1 **連絡先一覧画面で→「連絡先の管理」→「SIMカードからコピー」**

2 **インポートする連絡先をタップ→「コピー」→連絡先のコピー先をタップ**

- 本機にオンラインアカウントを設定している場合は、インポート先として表示されます。

■お知らせ

- EM chip＜micro＞からインポートできる項目は、名前と電話番号（1件）のみです。
- インポートした連絡先が、登録済みの連絡先と重複すると認識された場合は、登録済みの連絡先に自動的に統合されます。統合を解除する場合は、統合を解除する連絡先詳細画面で「統合された連絡先の管理」→をタップします。

内部ストレージから連絡先を取り込む

内部ストレージにファイルとして保存された連絡先を、本機の（ユーザー）に取り込みます。

1 **連絡先一覧画面で→「連絡先の管理」→「ストレージからインポート」**

2 **インポート先を選択→vCardファイルを選択→「OK」**

- 本機にオンラインアカウントを設定している場合は、インポート先として表示されます。

■お知らせ

- インポートできるファイル形式は、vCard形式（拡張子：vcf）のみです。
- 連絡先一覧画面で→「連絡先の管理」→「Bluetoothでインポート」をタップすると、Bluetooth®経由で連絡先をインポートできます。
- 連絡先一覧画面で→「連絡先の管理」→「メモリ状況」をタップすると、連絡先の登録状況を確認できます。
- 連絡先一覧画面で→「連絡先の管理」→「重複連絡先の削除」→連絡先を削除するアカウントをタップすると、重複した連絡先を削除できます。重複した連絡先が削除されると、ステータスバーにが表示されます。
- インポートした連絡先が、登録済みの連絡先と重複すると認識された場合は、登録済みの連絡先に自動的に統合されます。統合を解除する場合は、統合を解除する連絡先詳細画面で「統合された連絡先の管理」→をタップします。

内部ストレージにエクスポートする

本機で管理している連絡先を、内部ストレージにバックアップできます。

1 連絡先一覧画面で☰→「連絡先の管理」→「ストレージにエクスポート」

2 「OK」

3 エクスポートする連絡先の保存先を選択→「OK」

- 本機にオンラインアカウントを設定している場合は、エクスポートする連絡先の保存先として表示されます。

■ お知らせ

- 連絡先は、vCard形式（拡張子：vcf）でエクスポートされます。

グループを利用する

連絡先をグループ分けして管理できます。

グループを追加する

1 ホーム画面で→「グループ」タブをタップ

グループ一覧画面が表示されます。

2

- 本機にオンラインアカウントを設定している場合は、アカウントの選択画面が表示されます。「電話」をタップすると本機内の、オンラインアカウントをタップするとオンラインアカウントのグループを追加できます。

3 グループの名前を入力

4 「メンバーを追加」→追加する連絡先をタップ→「メンバーを追加」

- ✕をタップすると、追加した連絡先を削除できます。

5 「完了」

■ お知らせ

- グループ一覧画面でグループをタップ→＋→連絡先をタップ→「メンバーを追加」をタップしても、グループにメンバー（連絡先）を追加できます。

グループを削除する

1 グループ一覧画面で削除するグループをタップ

2 ☰→「削除」→「OK」

■お知らせ

- グループ一覧画面で削除するグループをロングタッチ→「削除」→「OK」をタップしても、グループを削除できます。

グループの登録内容を編集する

1 グループ一覧画面で編集するグループをタップ

2 ☰→「編集」

3 登録内容を編集→「完了」

■お知らせ

- グループ一覧画面で編集するグループをロングタッチ→「編集」をタップしても、グループを編集できます。

グループからSMS／メールを作成する

1 グループ一覧画面でSMS／メールを送信するグループをタップ

グループ詳細画面が表示されます。グループ詳細画面には、グループに登録した連絡先が表示されます。

2 (SMS)／@(メール)

連絡先の選択画面が表示されます。

3 SMS／メールを送信する連絡先をタップ→「追加」

メールを送信する場合は、メール作成に使用するアプリケーションをタップします。

以降の操作については、「SMSを作成／送信する」(➡P.125)／「emobileメールを作成／送信する」(➡P.115)／「Gmail」(➡P.127)／「Eメールを作成／送信する」(➡P.130)をご参照ください。

■お知らせ

- グループ一覧画面でグループをロングタッチ→「メッセージ送信」／「メール送信」をタップしても、SMS／メールを作成できます。

オンラインサービスの利用

6

本機にアカウントを設定する

GoogleやMicrosoft Exchange ActiveSync、および、Facebook、Twitterなどオンラインサービスのアカウントを本機に設定し、情報の同期やアップデートができます。

Googleアカウントを設定する

「初期設定」（➡P.38）でGoogleアカウントの設定をスキップした場合は、GmailやGoogle Play™などGoogleサービスの初回利用時に、Googleアカウントの設定画面が表示されます。
Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle Play™などGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。

既存のアカウントを使う

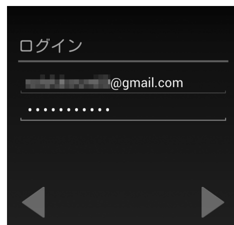
Googleアカウントをすでにお持ちの場合は、メールアドレス（@より前の文字）とパスワードを入力してログインします。

- Googleアカウントの登録状況によっては、操作が異なる場合があります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

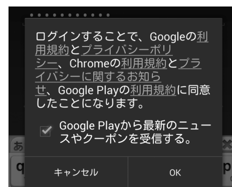
1 **Googleアカウントの追加画面が表示されたら「既存のアカウント」**

ログイン画面が表示されます。

2 **メールアドレス（@より前の文字）とパスワードを入力→▶**



3 **利用規約、プライバシーポリシーなどを確認→「OK」**



4 「今は設定しない」



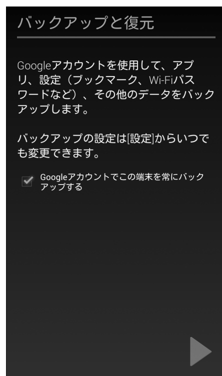
- Google+に参加する場合は「Google+に参加する」をタップして各種設定を行います。
- 現在設定中のGoogleアカウントでGoogle+の参加を設定済みの場合は、参加の設定画面が表示されません。

5 Google Walletの設定を行う



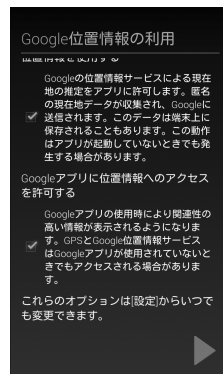
- Google Play™での購入を行う場合は「クレジットカードをセットアップ」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 購入を可能にしない場合は「後で行う」をタップします。
- Google Walletの設定画面が表示されない場合は、操作6へ進んでください。

6 データのバックアップ※を行うかどうかを設定→



※：Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどをバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

7 Googleの位置情報サービスの利用を設定→



8 「完了」



■お知らせ

- ウェブを経由する特別なログインをする場合は、操作2で☰→「ブラウザログイン」をタップします。

新しいアカウントを作成する

Googleアカウントをお持ちでない場合は、新しいアカウントを作成できます。

- Googleアカウントの登録状況や内容によっては、操作が異なる場合があります。その場合は、画面の指示に従って操作してください。

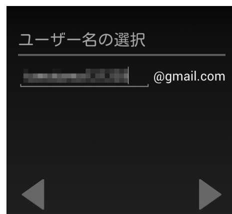
1 Googleアカウントの追加画面が表示されたら「新しいアカウント」

登録画面が表示されます。

2 姓と名を入力→▶



3 メールアドレス（@より前の文字）を入力→▶

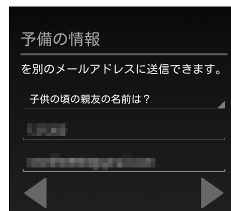


- メールアドレスを入力すると、Gmailのメールアドレスとして利用できるようになります。
- 入力したメールアドレスが使用できない場合は、メールアドレスの変更画面が表示されます。新しいメールアドレスを入力するか、「タップして候補を表示」をタップしてメールアドレス候補を選択し、「再試行」をタップしてください。

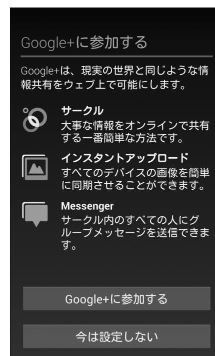
4 「パスワード」「パスワードの再入力」を入力→▶



5 「セキュリティ保護用の質問を選んでください」→質問をタップ→「回答」を入力→「予備のメールアドレス」にお持ちのメールアドレスを入力→▶

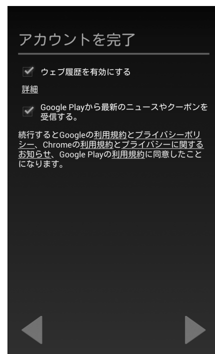


6 「今は設定しない」



- Google+に参加する場合は「Google+に参加する」をタップして各種設定を行います。

7 ▶



- 「ウェブ履歴を有効にする」にチェックを付けると、ウェブ履歴を利用できます。また、「詳細」をタップすると、ウェブ履歴について確認できます。
- 「利用規約」「プライバシーポリシー」「プライバシーに関するお知らせ」をタップすると、GoogleやChrome、Google Play™の利用規約などを確認できます。

8 表示されている文字を入力欄に入力→▶



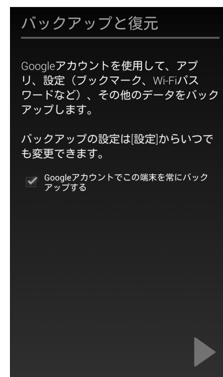
- 本画面は表示されない場合があります。表示されない場合は、操作9へ進んでください。
- Googleサーバーと通信します。アカウントが作成されます。
- 入力された文字に間違いがある場合は、別の文字列で再度入力画面が表示されます。

9 Google Walletの設定を行う



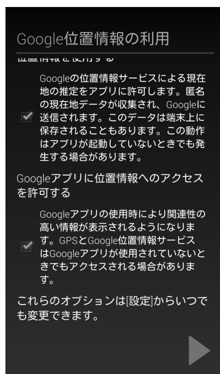
- Google Play™での購入を行う場合は「クレジットカードをセットアップ」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 購入を可能にしない場合は「後で行う」をタップします。
- Google Walletの設定画面が表示されない場合は、操作10へ進んでください。

10 データのバックアップ※を行うかどうかを設定→ 



※：Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどをバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

11 Googleの位置情報サービスの利用を設定→
→▶



12 「完了」



アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを本機に追加します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「アカウントを追加」

3 追加するアカウントのサービスをタップ

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

- Facebook、Google、Twitter、メール、企業から選択できます。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合は、「企業」を選択します。設定情報などについては、ネットワーク管理者やサービス提供者にお問い合わせください。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウントと同期の設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。

Googleアカウントの同期を設定する

Googleアカウントにログインすると、本機とウェブの間でGmail（連絡先やメール）、Googleカレンダーなどを同期させることができます。

1 ホーム画面で「設定」

2 「アカウント」欄の「Google」→設定するGoogleアカウントをタップ

3 同期する項目にチェックを付ける

■ お知らせ

- Google以外のサービスのアカウントも、同様の操作で同期を設定できます。
- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットのをタップすると、オンラインサービスの同期をオン／オフにすることができます。

アカウントを手動で同期する

1 ホーム画面で「設定」

2 「アカウント」欄の同期するアカウントをタップ

- アカウントの種類によっては、「アカウント」欄のアカウントをタップした後、操作3に進みます。

3 →「今すぐ同期」

アカウントを削除する

本機からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除します。

- 本機からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

1 ホーム画面で「設定」

2 「アカウント」欄の削除するアカウントの種類をタップ

- アカウントの種類によっては、「アカウント」欄のアカウントをタップした後、操作3に進みます。

3 →「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の利用

7

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）について

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）とは、インターネットを利用して、テキストメッセージや画像などのデータをやり取りして、他のユーザーとコミュニケーションできるサービスです。
お買い上げ時は、Facebook、Twitter、Google＋、メッセンジャー、Google トークを利用するためのアプリケーションが本機にインストールされています。これらのアプリケーションを利用して、SNSをお楽しみいただけます。

- 各サービスのご利用には、アカウント登録が必要です。登録を行ってからご利用ください。
- 各サービスの詳細については、各オンラインヘルプをご確認ください。
- 各サービスによって、提供する内容が異なりますのでご注意ください。

Facebookを利用する

Facebookとは、会員制の情報共有サイトで、プロフィールを公開することで友達とコミュニケーションできるサービスです。詳細については、Facebookのオンラインヘルプなどをご確認ください。

1 **ホーム画面で「ソーシャル」フォルダ→「Facebook」**

- 初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

■お知らせ

- Facebookのトップ画面で[メニュー]→「設定」をタップすると、更新間隔やお知らせの設定などができます。

Twitterを利用する

Twitterとは、つぶやき（ツイート）と呼ばれる最大140文字までのメッセージを投稿したり、他のユーザーのつぶやきを閲覧したりできるサービスです。

1 **ホーム画面で「ソーシャル」フォルダ→「Twitter」**

- 初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

■お知らせ

- Twitterのトップ画面で☰→「設定」→Twitterアカウントをタップすると、同期の設定や同期間隔の設定などができます。

Google+を利用する

Google+とは、他のユーザーとの情報共有やチャット、写真の共有などを利用できるサービスです。

- Google+を利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）の操作を行ってください。

1 **ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Google＋」**

- 初回利用時は、Google＋の設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- Googleアカウントの選択画面が表示された場合は、利用するGoogleアカウントをタップ→「OK」をタップしてください。
- Googleプロフィールの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

■お知らせ

- Google+のトップ画面で☰→「設定」をタップすると、Google+やメッセンジャーの通知設定、インスタントアップロードの設定などができます。
- Google+の詳細については、Google+のトップ画面で☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

メッセンジャーを利用する

メッセンジャーとは、Google+のメッセンジャー機能を利用して、複数の友だちとグループチャットができるサービスです。

- メッセンジャーを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）の操作を行ってください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「メッセンジャー」

- 初回利用時は、Google+の設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- Googleアカウントの選択画面が表示された場合は、利用するGoogleアカウントをタップ→「OK」をタップしてください。
- Googleプロフィールの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Google+のトップ画面で→「メッセンジャー」をタップしても、メッセンジャー画面を表示できます。

お知らせ

- メッセンジャーの詳細については、メッセンジャー画面で→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Googleトークを利用する

Googleトーク（Android向け）とは、会員どうしでテキストチャットができるサービスです。携帯電話やウェブサイトで、Googleトークを利用している他のユーザーとチャットができます。

- Googleトークを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）の操作を行ってください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「トーク」

お知らせ

- Googleトークの画面で→「設定」→Googleアカウントをタップすると、通知の設定や検索履歴の消去などができます。
- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

メール

8

メールについて

本機で使用できるメールには次の種類があります。

■ emobileメール

emobileメールは、emobileメールのアドレス（@emobile.ne.jp）を使用して、イー・モバイル携帯電話だけでなく他社の携帯電話やパソコンなどとメールの送受信ができます。

■ SMS

SMS（テキストメッセージ）は、SMSに対応した携帯電話との間で、携帯電話番号を宛先としたメッセージの送受信ができます。SMSは全角70文字、半角160文字まで送信できます。

■ Gmail

Gmailは、Googleのウェブメールサービスです。同期設定によって、本機のGmailとウェブ上のGmailを自動で同期できます（➡P.107）。

- Gmailを利用するにはGoogleアカウントの設定が必要です。

■ Eメール（POP3／IMAP4）

パソコンで使用されているEメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じEメールを送受信できます。また、添付ファイルにも対応しています※。

※：すべての添付ファイルについて動作を保証するものではありません。

- Eメールを使用するには、事前にEメールアカウントを設定する必要があります（➡P.128）。
- 本機でEメールを送受信すると、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」などをメールサーバーと同じ状態に保つように動作します。

■ お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Eメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

emobileメール

emobileメールのアドレス（@emobile.ne.jp）を使用して、メッセージや画像などの送受信ができ、絵文字も利用できます。
「emobileメッセージ」アプリケーションを利用すると、emobileメール／SMSを送受信でき、統合されたメールボックスで管理できます。

- emobileメールを利用するには、お客さま専用のオンラインサポートサイト「My EMOBILE」（https://my.emobile.jp）の登録が必要です。
- 「EMnetメール」（@emnet.ne.jp）は利用できません。

■ お知らせ

- 別途パケット通信料がかかります。
- emobileメールの仕様／機能／デザインについては、ソフトウェア更新などにより変更されることがあります。ご了承ください。

emobileメールのアドレスを取得する

- emobileメールのアドレスを取得した後、再度「WEB設定」から「MMS配信設定」を行ってください。
- すでにemobileメールのアドレスを取得している場合も、「WEB設定」から「MMS配信設定」を行ってください。

1 **ホーム画面で→→「設定」**

2 **「WEB設定」**

ブラウザが起動し、emobileメールのメールアドレス取得画面が表示されます。
以降の操作については、画面の指示に従ってください。

emobileメールを作成/送信する

「emobileメッセージ」アプリケーションを使って、emobileメール(MMS)を送受信します。

- emobileメールの送受信可能文字数は全半角5000文字まで、1通あたりの最大容量は1MBです。
- 添付ファイルは、送信時は10件まで添付でき、受信時は1MBまでの間で件数に制限はありません。なお、静止画(ファイル形式:JPEG、GIF、BMP)/動画(ファイル形式:MP4、3GP)/音声(ファイル形式:MP3、amr)に対応しています。

1 **ホーム画面で→「MMS作成」**

MMS作成画面が表示されます。

2 **「To」欄をタップ→メールアドレスを入力**

- 名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。表示された連絡先をタップすると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、メールアドレスをカンマ(,)で区切ります。

■ 連絡先/送信履歴/受信履歴から宛先を選択する場合

① →「連絡先から選択」/「送信履歴から選択」/「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

■ Cc/Bccを追加する場合

① →「Ccを追加」/「Bccを追加」
② 「Cc」/「Bcc」欄をタップ→メールアドレスを入力

3 **「件名」欄をタップ→件名を入力**

■ ファイルを添付する場合

① →「添付」
② アプリケーションをタップ→ファイルを選択
- 「画像」/「動画」を選択した場合は、「ギャラリー」「ファイルマネージャー」からファイルを選択します。
- 「写真撮影」/「ムービー撮影」を選択した場合は、静止画/動画を撮影→「OK」をタップすると、撮影した写真や動画を添付できます。
- 「オーディオ」を選択すると、着信音のファイルを添付できます。

- 「音声録音」を選択した場合は、「ファイルマネージャー」「音楽」「音声レコーダー」からファイルを選択／録音します。
- 「スライドショー」を選択すると、送信相手が「emobileメッセージ」アプリケーションをご利用の場合に、複数の静止画をスライドショーとして添付できます。
- 添付ファイルが画像や動画のときはサムネイル表示とファイル名、音楽や音声データのときはアイコンとファイル名が表示されます。

4 「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力→「完了」

■ 絵文字を挿入する場合

① ☰→「絵文字を挿入」→挿入する絵文字を選択

- 絵文字は件名にも挿入できます。

5 「送信MMS」

- 送信確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をタップします。「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。

■ 下書き保存する場合

①「保存」

■ 作成を中止する場合

①「破棄」→「OK」

送受信したemobileメールを確認／利用する

emobileメールを確認する

1 ホーム画面で✉

メールボックス画面が表示されます（➡P.121）。

- お買い上げ時は、「受信トレイ」／「下書き」／「送信トレイ」／「送信済み」／「ごみ箱」フォルダが設定されています。

2 目的のフォルダをタップ

メール／SMS一覧表示画面が表示されます。

3 確認するメールをタップ

メール／SMSの詳細画面が表示されます。

- 添付ファイルがある場合は、メール内のデータをタップしたり内部ストレージに保存したりして確認できます。

■ お知らせ

- emobileメールを受信すると、ステータスバーにⓜが表示されます。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

一覧表示画面の見かた

お買い上げ時、フォルダ内のメール／SMSは一覧表示されます。



一覧表示画面

❶ SMS（件名なし）

既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。

❷ emobileメール（件名あり）

既読のときは背景がグレーで、未読のときは白で表示されます。

❸ チェックボックス

タップするとチェックが付き、メールオプションが表示されます。

❹ 受信失敗アイコン

Wi-Fi接続中などemobileメールを自動取得しない設定の場合に受信すると表示されます（➡P.123）。

- メールの詳細画面で「ダウンロード」をタップすると本文をダウンロードできます。

❺ 返信済みメール／SMS

❻ 添付ファイルありメール

❼ 保護設定されたメール／SMS

❽ 転送済みメール

❾ メールオプション

チェックを付けたメール／SMSをまとめて、未読／既読設定や保護／保護解除、削除、移動の操作を行います。

スレッド一覧画面の見かた

emobileメールの設定で「スレッド表示」にチェックを付けると、メール／SMSは送受信した相手ごとにスレッド表示されます。



スレッド一覧画面

❶ emobileメールを新規作成します。

❷ スレッド

スレッドをタップすると、メール／SMSのスレッド詳細画面が表示されます。

❸ SMSを新規作成します。

emobileメールに返信する

1 メール詳細画面で☰→「返信」／「全員に返信」

2 原文の引用を選択→「OK」

- 「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。
- 「emobileメールを作成／送信する」（➡P.115）の操作4に進みます。

emobileメールを転送する

1 メール詳細画面で☰→「転送」

- 「emobileメールを作成／送信する」（➡P.115）の操作2に進みます。

emobileメールを削除する

1 メール詳細画面で☰→「メッセージを削除」

2 「削除」

- 「ただちに削除」にチェックを付けると、ごみ箱フォルダに移動されずに削除されます。

emobileメール一覧表示画面のメニュー

メール／SMS一覧表示画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目が異なったり、「その他」をタップしたときに表示されたりします。

項目	説明
MMS作成	emobileメールを作成します。
SMS作成	SMSを作成します。
新着確認	メールサーバーに新着メールの問い合わせをします。新着メールがあるときは、通知が送信されます。
絞込み	絞込み条件を設定してメールを検索します。
全て選択	一覧画面のメールをすべて選択します。 • 未読／既読設定や保護／保護解除、削除、移動の操作を行います。
全て削除	一覧のメールをすべて削除します。
全て移動	一覧のメールをすべて移動します。
検索	メールを検索します。
フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。
ドメイン	ドメインを「emobile.ne.jp」に設定します。 • 「emnet.ne.jp」は利用できません。

メール／SMS一覧表示画面でメールをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
連絡先に追加	受信メールの送信者を連絡先に追加します。
送信	選択したメールを送信します。
編集	選択したメールを編集します。
開く	選択したメールを表示します。
返信	選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信	選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送	選択したメールを転送します。
メッセージを削除	選択したメールを削除します。
メッセージを移動	選択したメールを別のフォルダに移動します。
未読にする／既読にする	選択したメールの未読／既読を設定します。
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	選択したメールを保護／保護解除します。
メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。
添付ファイルをSDカードにコピー※	選択したemobileメールの添付ファイルを内部ストレージに保存します。

※：内部ストレージの「Download」フォルダに保存されます。

emobileメール詳細画面のメニュー

メール／SMS詳細画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目が異なったり、「その他」をタップしたときに表示されたりします。

項目	説明
送信	選択したメールを送信します。
編集	選択したメールを編集します。
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	メールを保護／保護解除します。
返信	選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信	選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送	選択したメールを転送します。
メッセージを削除	選択したメールを削除します。
メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。
メッセージテキストをコピー※1	選択したSMSのテキストをコピーします。
添付ファイルをSDカードにコピー※2	選択したメールの添付ファイルを内部ストレージに保存します。
フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。
XXXXXXXXXXXさんにメール	メールを作成して送信します。
XXXXXXXXXXXに発信※1	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先にXXXXXXXXXXXさんを登録	連絡先に登録します。

※1：SMSの詳細画面で表示されます。

※2：内部ストレージの「Download」フォルダに保存されます。

送受信したemobileメールを管理する

フォルダを作成したり、振り分け設定をしたりして、送受信メールを管理します。

1 ホーム画面で✉



メールボックス画面

メールボックス画面のメニュー

メールボックス画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
MMS作成		emobileメールを作成します。
SMS作成		SMSを作成します。
フォルダ作成		フォルダを作成します。
新着確認		新着メールを確認します。
設定		emobileメール設定を行います。
その他	振り分け設定	メール振り分けを設定します。
	ヘルプ	「emobileメッセージ」アプリケーションのオンラインヘルプを表示します。
	検索	文章を入力してメールを検索します。
	ドメイン	ドメインを「emobile.ne.jp」に設定します。 • 「emnet.ne.jp」は利用できません。

フォルダを作成する

1 メールボックス画面で☰→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力→「OK」

メールボックス画面に追加したフォルダが表示されます。

■ フォルダ名を変更する場合

① メールボックス画面で変更するフォルダをロングタッチ→「フォルダ名変更」→フォルダ名を入力→「OK」

■ フォルダの位置を変更する場合

① メールボックス画面で変更するフォルダをロングタッチ→「1つ上へ」／「1つ下へ」

■ フォルダを削除する場合

① メールボックス画面で削除するフォルダをロングタッチ→「フォルダ削除」→「削除」

- メールが保存されているフォルダを選択するとメールも削除されます。
- 振り分け設定されているフォルダを削除しても、振り分け設定は削除されません。

■お知らせ

- お買い上げ時に作成されているフォルダは、フォルダ名変更や削除はできません。

メール振り分けを設定する

メール振り分けを設定すると、送受信メールを設定した条件でフォルダに振り分けされます。

1 メールボックス画面で☰→「その他」→「振り分け設定」

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 「新規振り分けを追加する」→振り分け名を入力→目的の振り分け条件を設定→「OK」

■ 振り分け名／条件を変更する場合

① 振り分け名／条件を変更する条件をタップ→振り分け名／条件を変更→「OK」

■ 振り分け条件を削除する場合

① 振り分けを削除する条件をロングタッチ→「振り分け削除」→「削除」

emobileメールの各種設定を行う

1 ホーム画面で✉

2 ☰→「設定」

3 項目を設定

項目		説明
ソフトウェアのバージョン		「emobileメッセージ」アプリケーションのバージョンを表示します。
ドメイン		ドメインを「emobile.ne.jp」に設定します。 • 「emnet.ne.jp」は利用できません。
表示の設定※1	スレッド表示	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
	メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
フォルダ設定	メール振り分け	メール振り分け条件を設定します。
	ごみ箱自動削除	破棄したメールをごみ箱から削除する日数を設定します。
SMS設定	原文の引用	返信するときに、SMSの文章を引用するかどうかを設定します。
	受取確認通知	送信するSMSの受取確認を毎回要求するように設定します。

項目		説明
MMS設定	原文の引用	返信するときに、メールの文章を引用するかどうかを設定します。
	自動で取得	emobileメールを自動取得するかどうかを設定します。
	ローミング時に自動取得※2	海外でemobileメールを自動取得するかどうかを設定します。
	Wi-Fi使用時に取得	Wi-Fi設定中にLTE／3GネットワークでemobileメールをI自動取得するかどうかを設定します。
	Wi-Fiテザリング時に取得	Pocket WiFi設定中にemobileメールを自動取得するかどうかを設定します。
通知設定※1	通知	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
	着信音を選択	メール／SMS受信時の通知音を設定します。
	バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。
	バイブレーションパターン	バイブレーションの長さを設定します。

項目		説明
その他の設定	SDカードに保存	メールを内部ストレージに保存します。
	メッセージをインポート	内部ストレージからメールをインポートします。
	メッセージをエクスポート	内部ストレージにメールをエクスポートします。
	送受信履歴を削除	送受信履歴を削除します。
	WEB設定	メールサーバーに接続して、WEB設定を行います（➡P.124）。

※1：SMS設定にも反映されます。

※2：メールの自動取得による海外でのパケット通信のご利用は、ローミング通信料が高額となる場合がありますので、ご注意ください。

WEB設定を行う

メールサーバーに接続して、emobileメールのメールアドレスを変更したり、メール設定の情報を確認したりできます。

1 ホーム画面で［メール］→［メニュー］→「設定」

2 「WEB設定」→ネットワーク暗証番号を入力→「ログイン」

3 目的の設定を行う

- 項目選択後の操作については、画面の指示に従ってください。

項目	説明
［1］メールアドレス変更	取得したemobileメールのアドレスを変更できます。
［2］メールフィルタ	指定したメールアドレスからのメールを受信拒否／受信許可するように設定します。また、その他の受信設定もできます。
［3］MMS配信設定	emobileメール（MMS）を利用するためにMMS配信を有効にするかどうかを設定します。
［4］メール転送設定	受信メールを他のメールアドレスに転送するように設定します。
［5］自動返信設定	受信メールに自動で返信メールを送信するように設定します。
［6］メールパスワード変更	メールパスワードを変更します。
［7］メールヘッダ閲覧	受信メールのヘッダ情報（宛先、差出人、日付、件名など）を確認します。
［8］メール設定確認	emobileメールの設定情報を確認します。

SMS

「emobileメッセージ」アプリケーションを利用して、SMSの送受信ができます。

- 通話履歴や連絡先から、SMSを作成／送信することもできます（➡P.80、P.94）。

SMSの表示を切り替える

emobileメールの設定で「スレッド表示」（➡P.123）にチェックを付けると、メール／SMSは送受信した相手ごとにスレッド表示されます。スレッド表示に設定するとSMSがより見やすくなります。

- お買い上げ時の状態では、一覧表示画面が表示されたり、一覧表示画面のメニューが表示されたりします。詳細については、「送受信したemobileメールを確認／利用する」（➡P.116）をご参照ください。

1 **ホーム画面で✉**

2 **☰→「設定」→「スレッド表示」にチェックを付ける→↩**

スレッド一覧画面が表示されます。

- スレッド一覧画面ではemobileメール／SMSがすべてスレッド表示されます。

SMSを作成／送信する

1 **スレッド一覧画面で「SMS作成」**

SMS作成画面が表示されます。

2 **「To」欄をタップ→携帯電話番号を入力**

■ **連絡先／送信履歴／受信履歴から宛先を選択する場合**

① ⊙→「連絡先から選択」／「送信履歴から選択」／「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

3 **「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力→「完了」**

■ **絵文字を挿入する場合**

① ☰→「絵文字を挿入」→絵文字を選択

4 **「送信」**

- 送信確認のメッセージが表示された場合は、「OK」をタップします。「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。

■ **下書き保存する場合**

① ☰→「スレッド一覧」

■ **作成を中止する場合**

① ☰→「破棄」

■ お知らせ

- スレッド一覧画面でスレッドをタップし、「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力→「完了」→「送信」→「OK」をタップしても、SMSを送信できます。

受信したSMSを確認する

1　スレッド一覧画面で確認するスレッドをタップ

選択した相手ごとのスレッド詳細画面が表示されます。

■ スレッド一覧に戻る場合

① スレッド詳細画面で≡→「スレッド一覧」

■ お知らせ

- SMSを受信すると、ステータスバーにが表示されます。

スレッド一覧画面のメニュー

SMSのスレッド一覧画面で≡をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
MMS作成		emobileメールを作成します。 • 件名を追加するときは、≡→「件名を追加」をタップします。
SMS作成		SMSを作成します。
新着確認		新着メールを確認します。
設定		emobileメール設定を行います。
ヘルプ		「emobileメッセージ」アプリケーションのオンラインヘルプを表示します。
その他	**スレッドを削除**	すべてのスレッドを削除します。
	検索	メッセージを検索します。
	ドメイン	ドメインを「emobile.ne.jp」に設定します。 • 「emnet.ne.jp」は利用できません。

スレッド詳細画面のメニュー

SMSのスレッド詳細画面で≡をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
発信	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先を表示	連絡先を表示します。
スレッドを削除	スレッド全体を削除します。
スレッド一覧	スレッド一覧画面を表示します。
連絡先に追加	相手が連絡先に登録されていない場合、追加登録できます。

項目	説明
ドメイン	ドメインを「emobile.ne.jp」に設定します。 • 「emnet.ne.jp」は利用できません。

SMSのスレッド詳細画面でSMSをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- SMSの内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
メッセージを保護／メッセージの保護を解除	SMSを保護／保護解除します。
XXXXXXXXXXX※1に発信	SMSの相手に電話をかけます。
連絡先にXXXXXXXXXXX※1さんを追加※2	SMSの相手を連絡先に追加します。
転送	SMSを転送します。
メッセージテキストをコピー	SMSのテキストをコピーします。
メッセージの詳細を表示	SMSのヘッダ情報を表示します。
メッセージを削除	選択したSMSを削除します。

※1：XXXXXXXXXXXには、電話番号が表示されます。
※2：「連絡先に追加」と表示される場合もあります。

SMSを設定する

1 **ホーム画面で✉**

2 **☰→「設定」**

以降の操作については、「emobileメールの各種設定を行う」（➡P.122）をご参照ください。

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）を行ってください。

1 **ホーム画面で「Gmail」**

Gmail画面が表示されます。

■お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmail画面で☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Eメール

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得し、簡単に設定できます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。

1 ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」

2 アカウントの種類をタップ

- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントのメール設定を行う場合は「Exchange」、それ以外のアカウントの場合は「その他」をタップしてください。

3 メールアドレスとパスワードを入力→「次へ」

- 設定を手動で行う場合は、「手動セットアップ」をタップして設定を行い、操作4に進みます。
- アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、「POP3」／「IMAP」をタップしてサーバーの設定を行い、操作4に進みます。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントのメール設定を行う場合は、「ドメイン名」と「ユーザー名」も入力して「次へ」をタップし、画面の指示に従って設定してください。

4 必要に応じて項目を設定→「次へ」

- サーバーの設定画面などが表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

5 ユーザー名やアカウント名を入力→「次へ」

Eメールアカウントを追加する

1 ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。

2 ☰→「設定」

メールアカウント一覧画面が表示されます。



メールアカウント一覧画面

3 **「アカウントを追加」**

「Eメールアカウントを設定する」(➡P.128)の操作2に進みます。

Eメールアカウントを管理する

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

2 **≡→「設定」**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

3 **管理するメールアカウントをタップ→項目を設定**

- メールアカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	ユーザー名を設定します。
署名	署名を登録します。登録すると、Eメール作成時に自動的に追加されます。
クイック返信	頻繁に入力する文章を登録します。登録すると、Eメール作成画面で≡→「クイック返信を挿入」をタップすると追加されます。
優先アカウントにする	送信時、通常のアカウントとして使用するかどうかを設定します。
受信トレイの確認頻度	新着メールを自動受信する時間の間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi接続時にEメールを受信した場合に、自動的に添付ファイルをダウンロードするかどうかを設定します。
メール着信通知	Eメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信したときの通知音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信したときに振動させるかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバーの設定を変更します。

項目	説明
送信設定	送信サーバーの設定を変更します。
アカウントを削除	メールアカウントを削除します（➡P.130）。

Eメールアカウントの共通設定を行う

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

2 **☰→「設定」**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

3 **「全般」→項目を設定**

項目	説明
自動表示	Eメールを削除した後に表示される画面を設定します。
メッセージの文字サイズ	Eメール詳細画面のメッセージの文字サイズを設定します。
全員に返信	Eメールを返信するとき、宛先の全員に返信するかどうかを設定します。
［画像を表示］をデフォルト設定に戻す	送信者からの画像を常に表示するように設定している場合、設定をお買い上げ時の状態（画像を自動的に表示しない）に戻します。

Eメールアカウントを削除する

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

2 **☰→「設定」**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

3 **削除するメールアカウントをタップ→「アカウントを削除」→「OK」**

Eメールを作成／送信する

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」**

Eメール一覧画面が表示されます。

2 **✉**

Eメール作成画面が表示されます。

■ **メールアカウントを切り替える場合**

①「送信元」欄をタップ

② メールアカウントをタップ

3 **「宛先」欄をタップ→メールアドレスを入力**

- 名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。表示された連絡先をタップすると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、メールアドレスをカンマ（,）で区切ります。

■ 連絡先から宛先を選択する場合

① →送信する連絡先をタップ→「追加（XX）」

■ Cc／Bccを追加する場合

①「Cc／Bccを追加」

②「Cc」／「Bcc」欄をタップ→メールアドレスを入力

4 「件名」欄をタップ→件名を入力

5 「メールを作成します」欄をタップ→本文を入力

- 署名が設定されている場合は、「メールを作成します」は表示されず、署名が表示されます。

■ ファイルを添付する場合

①

- →「ファイルを添付」をタップしても操作できます。

② アプリケーションをタップ→ファイルを選択

■ クイック返信を挿入する場合

① →「クイック返信を挿入」

- 「クイック返信」（P.129）を登録していない場合は、「クイック返信を挿入」は表示されません。

② 挿入する文章をタップ

■ 下書き保存する場合

① →「下書きを保存」

■ 作成を中止する場合

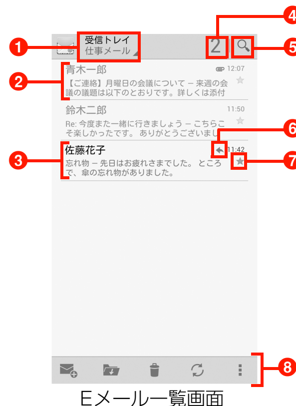
① →「破棄」→「OK」

6

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で「ツール」フォルダ→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。



Eメール一覧画面

❶ アカウント名

アカウント名をタップ→「すべてのフォルダを表示」をタップすると、フォルダの一覧が表示され、フォルダを切り替えることができます。

複数のメールアカウントが登録されている場合は、アカウントの一覧も表示され、メールアカウントの切り替えもできます。

「統合ビュー」をタップすると、すべてのメールアカウントの受信メールをまとめて表示できます。

❷ 未読メール
文字が水色で表示されます。
❸ 既読メール
文字がグレーで表示されます。
❹ 未読メールの件数
未読メールがある場合、未読メールの件数が表示されます。
❺ 検索
タップすると、Eメールを検索できます。
❻ 返信／転送アイコン
返信したメールには 、転送したメールには 、返信と転送の両方を行ったメールには が表示されます。
❼ スター
（グレー）／（水色）をタップすると、スターを付ける／外すことができます。アカウント名をタップ→「すべてのフォルダを表示」→「スター付き」をタップすると、スターを付けたEメールを確認できます。
❽ メールオプション
をタップしてEメールの作成、 をタップしてEメールのフォルダ移動、 をタップしてEメールの削除、 をタップして新着Eメールの確認ができます。 をタップすると、その他のオプションメニューが表示されます。

2 **Eメールをタップ**
Eメール詳細画面が表示されます。

■お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーに が表示されます。
- ファイルが添付されているEメールには、Eメール一覧画面で が表示されます。Eメール詳細画面で「XX個の添付ファイル」タブをタップ→「表示」をタップすると、ファイルを開いて確認できます。「保存」をタップすると、内部ストレージの「Download」フォルダに保存されます。
- Eメール詳細画面で画面上部の ／ をタップすると、前／後のEメールを表示します。
- Eメール詳細画面で画像をタップ→「メールを作成します」／「連絡先表示」をタップすると、送信者宛てのメールを作成したり、連絡先を表示したりできます。送信者が連絡先に登録されていない場合は、「連絡先を追加」をタップすると登録できます。

Eメールを削除する

1 **Eメール詳細画面で**

Eメールに返信する

1 **Eメール詳細画面で↩**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **「メールを作成します」欄をタップ→本文を入力**

- 署名が設定されている場合は、「メールを作成します」は表示されず、署名が表示されます。

3 ➤

Eメールを転送する

1 **Eメール詳細画面で➡**

Eメール作成画面が表示されます。

2 **「宛先」欄をタップ→メールアドレスを入力**

3 **「メールを作成します」欄をタップ→本文を入力**

- 署名が設定されている場合は、「メールを作成します」は表示されず、署名が表示されます。

4 ➤

緊急速報メール

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- 緊急速報メールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 通話中、データ通信中ならびに電波状態が悪い場所では受信できない場合があります。
- 緊急地震速報であっても、地震などの揺れを感じるよりも早く必ず受信できるとは限りません。
- 緊急速報メールの内容、緊急速報メールを受信したことまたは受信できなかったことに起因した損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
- 受信できなかった緊急速報メールを後で受信することはできません。

受信した緊急速報メールを確認する

1 **ホーム画面で「緊急速報メール」**

緊急速報メール一覧画面が表示されます。

2 **確認する緊急速報メールをタップ**

緊急速報メールを削除する

1 **緊急速報メール一覧画面で削除する緊急速報メールをロングタッチ→「削除」**

- 緊急速報メールをすべて削除する場合は、☰→「全削除」をタップします。

緊急速報メールを設定する

1 ホーム画面で「緊急速報メール」

2 ≡→「設定」

3 項目を設定

項目	説明
受信設定	緊急速報メールを受信するかどうかを設定します。
鳴動時間設定	警報の鳴動時間を設定します。
マナーモード時鳴動設定	マナーモード設定中も警報を鳴らすかどうかを設定します。

インターネット接続

9

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や正しく表示されない場合があります。

ブラウザを起動する

1 **ホーム画面で🌐**



ブラウザ画面

❶ ページ情報アイコン

現在表示中のウェブページの情報が表示されます。

❷ アドレスバー

タップすると、キーボードが表示されます。表示するウェブページのURLを入力します。キーワードを入力すると、直接検索できます。

❸ ウィンドウアイコン

タップすると、現在ブラウザで表示中のウェブページが一覧表示されます。表示するウェブページをタップすると、ウィンドウを切り替えられます。

- ＋をタップすると、新しいウィンドウを追加できます。
- 一覧表示のウィンドウは、✕をタップするか、左右にフリックすると閉じることができます。
- ★をタップすると、ブックマーク一覧画面が表示されます（➡P.139）。

■お知らせ

- ページ情報アイコン、アドレスバー、ウィンドウアイコンは、画面上部にあります。画面を下にスライドしてスクロールすると表示できます。
- アドレスバーをタップした後や、アドレスバーに文字列を入力している途中で、アドレスバーの下に入力履歴や入力候補が表示されることがあります。タップすると、履歴またはブックマークのウェブページやキーワード検索したウェブページを表示します。

ブラウザ画面表示中の操作

ブラウザ画面では、次の操作ができます。

- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
ウェブページをスクロールする	画面を上／下／左／右にスライドします。
前の画面に戻る	をタップします。
ウェブページを縮小表示／拡大表示する	画面をピンチイン／ピンチアウトします。 • ウェブページによっては操作できない場合があります。
ウェブページを全体表示する	画面をダブルタップします。 • 全体表示している状態でダブルタップすると、拡大表示します。
テキストを選択してコピー／共有／翻訳／検索する	テキストをロングタッチします。 • ／をドラッグして選択する範囲を指定し、「コピー」／「共有」／「翻訳」／「検索」をタップすると、選択したテキストのコピーや共有、翻訳、検索ができます。 • 1回の操作でコピーできる件数は1件です。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
再読み込み／停止	ウェブページの情報を更新／更新停止します。
進む	をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。
ブックマーク	ブックマーク一覧画面を表示します（P.139）。
ブックマークへ登録	表示中のウェブページをブックマークに追加します（P.138）。
ページを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やメールなどを使って共有します。
ページ内を検索	ウェブページ内のテキストを検索します。検索する文字列を入力すると、一致する文字列が青色でハイライト表示されます。 • 一致する文字列が複数ある場合は、／をタップすると、前／後の一致項目に進みます。
PC版サイトを表示	デスクトップ版のウェブページを開くように設定します。

項目	説明
ページを保存	表示中のウェブページを保存して、オフラインで読めるようにします。 • タップすると、保存ページ一覧画面が表示されます（P.139）。保存されたウェブページをタップすると、内容を確認できます。
設定	ブラウザの設定を行います（P.140）。
ブラウザ情報	ブラウザのバージョン情報などの詳細を表示します。
終了	ブラウザを終了します。

ウェブページのリンクを利用する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 項目をタップ

• リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいタブで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
リンクを保存	ウェブページを保存します。 • 保存したウェブページは、ホーム画面で「ツール」フォルダ→「ダウンロード」をタップして確認できます。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
画像を保存	画像を保存します。 • 保存した画像は「ギャラリー」アプリケーション（P.177）、または「ダウンロード」アプリケーション（P.216）で確認できます。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙として設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
テキストを選択	ウェブページ内のテキストを選択します。 • ／をドラッグして選択する範囲を指定し、「コピー」／「共有」／「翻訳」／「検索」をタップすると、選択したテキストのコピーや共有、翻訳、検索ができます。 • 1回の操作でコピーできる件数は1件です。

ブックマークと閲覧履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ブラウザ画面でブックマークに追加するウェブページを表示→→「ブックマークへ登録」

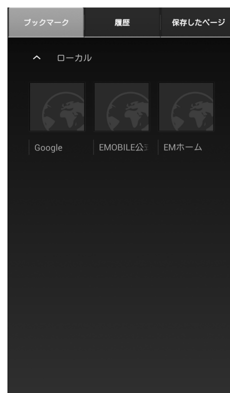
2 ラベル、アカウント、追加先を確認／変更→「OK」

ブックマークが保存されます。

ブックマークからウェブページを開く

1 **ブラウザ画面で☰→★**

- ☰（ウィンドウアイコン）が表示されていない場合は、画面を下にスライドしてスクロールすると表示できます。



ブックマーク一覧画面

2 **表示するウェブページをタップ**

閲覧履歴からウェブページを開く

1 **ブックマーク一覧画面で「履歴」タブをタップ**

閲覧履歴画面が表示されます。

2 **表示するウェブページをタップ**

- ★／☆をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除できます。

保存したウェブページを開く

1 **ブックマーク一覧画面で「保存したページ」タブをタップ**

保存ページ一覧画面が表示されます。

2 **表示するウェブページをタップ**

- ☰→「最新版を表示」をタップすると、ウェブページの情報を更新できます。

ブックマーク一覧画面／閲覧履歴画面／保存ページ一覧画面のメニュー

ブックマーク一覧画面／閲覧履歴画面／保存ページ一覧画面でウェブページをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ウェブページによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く※1、2	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいタブで開く※1、2	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマークの編集※1	ブックマークの名前／URLなどを編集します。
ホームにショートカットを追加※1	ブックマークへのショートカットをホーム画面に追加します。
ブックマークへ登録※2	ブックマークに追加します。
ブックマークから削除※2	ブックマークから削除します。
リンクを共有※1、2	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やメールなどを使って共有します。
URLをコピー※1、2	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から削除※2	ウェブページを閲覧履歴から削除します。
ブックマークの削除※1	ブックマークから削除します。
ホームページとして設定※1、2	ウェブページをホームページとして設定します。
保存したページを削除※3	保存したウェブページを削除します。

※1：ブックマーク一覧画面で表示されます。
※2：閲覧履歴画面で表示されます。
※3：保存ページ一覧画面で表示されます。

ブラウザを設定する

1 **ブラウザ画面で[メニュー]→「設定」**

2 **項目を設定**

項目		説明
全般	**ホームページを設定**	ホームページを設定します。
	フォームの自動入力	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、「自動入力テキスト」に登録した内容を自動的に入力するかどうかを設定します。
	自動入力テキスト	ウェブフォームに自動的に入力する内容を登録します。

項目		説明
プライバシーとセキュリティ	キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
	履歴消去	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
	セキュリティ警告	ウェブページの安全性に問題がある場合に、警告を表示するかどうかを設定します。
	Cookieを受け入れる	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
	Cookieをすべて消去	保存されているCookieをすべて消去します。
	フォームデータを保存	ウェブフォームに入力したデータを保存して、後で呼び出せるようにするかどうかを設定します。
	フォームデータを消去	保存されているフォームデータをすべて消去します。
	位置情報を有効にする	ウェブサイトに、現在位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	位置情報アクセスをクリア	位置情報サービスにアクセスした際に収集したデータを消去します。
	パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶するかどうかを設定します。
	パスワードを消去	記憶されているユーザー名・パスワードを消去します。

項目		説明
ユーザー補助	ズームの有効化を強制	「ユーザー補助」の設定を有効にして、すべてのウェブページで拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
	テキストの拡大縮小	文字のサイズを設定します。
	ダブルタップでズーム	ブラウザ画面をダブルタップしたときの拡大率を設定します。
	最小フォントサイズ	文字の最小サイズを設定します。
	反転レンダリング	ブラウザ画面を反転レンダリングするかどうかを設定します。
	コントラスト	「反転レンダリング」にチェックを付けた場合に、コントラストを設定します。
詳細設定	検索エンジンの設定	アドレスバーで検索する際の検索エンジン（Google、Yahoo! JAPAN、Bing、goo）を選択します。
	バックグラウンドで開く	リンクをロングタッチして「新しいタブで開く」（➡P.138）をタップしたとき、表示中のウィンドウの後ろに新しいウィンドウを開くかどうかを設定します。

項目		説明
	JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	1つのアプリに複数のタブを許可	他のアプリケーションからブラウザを起動する場合、起動のたびに新しいウィンドウでウェブページを表示するかどうかを設定します。
	プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
	ウェブサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細設定を行います。
	ズーム設定	ウェブページの表示倍率を設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開くウェブページを、全体表示するかどうかを設定します。
	ページの自動調整	画面に合わせて、ウェブページを調整するかどうかを設定します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	テキストエンコード	テキストエンコードを設定します。
	初期設定にリセット	ブラウザの設定を初期設定に戻します。

項目		説明
帯域幅の管理	検索結果のプリロード	ブラウザが信頼度の高い検索結果をバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	ウェブページのプリロード	ブラウザがリンク先のウェブページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
	画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。
Labs	クイックコントロール	クイックコントロールを表示してブラウザを操作できるようにするかどうかを設定します。 • 画面の左端／右端をロングタッチするとクイックコントロールが表示され、そのまま実行したい操作アイコンまで指をドラッグして離すと、各種操作ができます。 • チェックを付けると、アドレスバーやウィンドウアイコンが表示されなくなります。
	全画面	ステータスバーの表示を消して、ウェブページを全画面表示するかどうかを設定します。

Google Chromeを利用する

Google Chromeを利用して、ウェブページを閲覧できます。
- ウェブページによっては、表示できない場合や正しく表示されない場合があります。

Google Chromeを起動する

1 **ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Chrome」**
- 初回利用時は、Google Chromeの利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意して続行」をタップしてください。
- Google Chromeのログインに関する説明画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「ログイン」または「スキップ」をタップしてください。



Chrome画面

❶ アドレスバー
タップすると、キーボードが表示されます。表示するウェブページのURLを入力します。キーワードを入力すると、直接検索できます。
❷ 再読み込み
タップすると、ウェブページの情報を更新します。
❸ ウィンドウアイコン
タップすると、現在ブラウザで表示中のウェブページが一覧表示されます。表示するウェブページをタップすると、ウィンドウを切り替えられます。

■お知らせ

- アドレスバーに文字列を入力している途中で、アドレスバーの下に入力履歴や入力候補が表示されることがあります。タップすると、履歴またはブックマークのウェブページやキーワード検索したウェブページを表示します。
- ウィンドウアイコンをタップ→「新しいタブ」をタップすると、新しいウィンドウを追加できます。
- 一覧表示のウィンドウは、×をタップするか、左右にフリックすると閉じることができます。

Chrome画面表示中の操作

Chrome画面でできる操作は、ブラウザとほぼ同じです。「ブラウザ画面表示中の操作」（➡P.137）をご参照ください。

Chrome画面のメニュー

Chrome画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
←	前の画面に戻ります。
→	⮌をタップしてウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。
☆	表示中のウェブページをブックマークに追加します。
新しいタブ	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットウィンドウでウェブページを開きます。
ブックマーク	ブックマークの一覧画面を表示します。
その他のデバイス	パソコンなどで開いているウェブページにアクセスできます。
共有...	ウェブページのURLなどを、Bluetooth®やメールなどを使って共有します。
ページ内検索...	ウェブページ内のテキストを検索します。検索する文字列を入力すると、一致する文字列がオレンジ色でハイライト表示されます。 • 一致する文字列が複数ある場合は、︿／﹀をタップすると、前／後の一致項目に進みます。
PC版サイトのリクエスト	デスクトップ版のウェブページを開くかどうかを設定します。
設定	Google Chromeの設定を行います（➡P.145）。
ヘルプ	Google Chromeのヘルプを表示します。

Google Chromeを設定する

1 Chrome画面で☰→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
検索エンジン	アドレスバーで検索する際の検索エンジン（Google、Yahoo! JAPAN、Bing、goo）を選択します。
フォームの自動入力	ウェブフォームの入力欄をタップしたとき、プロフィールやクレジットカードの情報を自動的に入力するかどうかを設定します。
パスワードの保存	ウェブページに入力したパスワードを記憶するかどうかを設定します。

項目		説明
プライバシー	アクセスエラー時の候補表示	接続などのエラーが起きた場合に、代わりの方法を表示するかどうかを設定します。
	検索とURL候補	アドレスバーに文字列を入力したときに、関連性の高いキーワードや人気のウェブサイトを表示するかどうかを設定します。
	ネットワークの操作予測	チェックを付けると、ページの表示速度が向上します。
	利用状況と障害レポート	利用状況と障害レポートの送信について設定します。
アクセシビリティ	テキストの拡大／縮小	文字のサイズを設定します。
	強制的にズームを有効にする	すべてのウェブページで拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。

項目		説明
コンテンツの設定	Cookieの許可	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
	JavaScriptの有効化	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	ポップアップのブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	Googleの位置情報設定	位置情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
	ウェブサイト設定	ウェブページの詳細設定を行います。
帯域幅の管理	ウェブページのプリロード	Google Chromeがリンク先のウェブページをバックグラウンドでプリロードできるように設定します。
デベロッパーツール	傾斜スクロールの有効化	本機を傾けたとき、スタック表示をスクロールできるようにするかどうかを設定します。
	USBウェブ デバッグを有効化	USB経由でウェブページをデバッグするかどうかを設定します。
	USBウェブ デバッグの使用方法	USBウェブデバッグの使用方法を表示します。

LTE／3Gパケット通信を使って接続する

LTE／3Gパケット通信を利用してインターネットへ接続できます。

- お買い上げ時は、次の2つのアクセスポイントが設定されています。

em.lite	本アクセスポイントが初期設定となっています。通常はそのまま変更せずにご利用ください。 プライベートIPアドレスで接続されます。
em.std	テザリング利用時に、自動的に本アクセスポイントに変更されます。 プライベートIPアドレスで接続されます。

■お知らせ

- アクセスポイントを変更すると、追加料金が発生する場合があります。

新しいアクセスポイントを作成する

本機に新しいアクセスポイントを追加します。

- アクセスポイントの設定内容は、ご契約されている通信事業者にご確認ください。

1 ホーム画面で「設定」

2 「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

APN画面が表示されます。

3 ≡→「新しいAPN」

4 **アクセスポイントの設定を編集→≡→「保存」**

- 編集を中止する場合は、≡→「破棄」をタップします。

利用するアクセスポイントを切り替える

1 **APN画面で利用するアクセスポイントの◎をタップ**

アクセスポイントを編集／削除する

アクセスポイントの設定を編集／削除します。

- お買い上げ時に設定されている２つのアクセスポイントの設定は、編集／削除できません。

1 **APN画面で編集／削除するアクセスポイント名をタップ**

2 **アクセスポイントの設定を編集／削除**

■ 編集する場合

① アクセスポイントの設定を編集→≡→「保存」

- 編集を中止する場合は、≡→「破棄」をタップします。

■ 削除する場合

① ≡→「APNを削除」

■お知らせ

- アクセスポイントの設定の際に、MCC／MNCを440／00以外に変更すると、APN画面にアクセスポイントの設定が表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面に表示されなくなった場合には、APN画面で≡→「初期設定にリセット」をタップするか、APN画面で≡→「新しいAPN」をタップして、再度アクセスポイントの設定を行ってください。
- テザリング中はAPN画面を表示できません。

アクセスポイントの設定をリセットする

アクセスポイントの設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

1 **APN画面で≡→「初期設定にリセット」**

■お知らせ

- リセットすると、お客さまが追加したアクセスポイントの設定は削除されます。

国際ローミング中にデータ通信を使用できるようにする

1 ホーム画面で「設定」→「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックを付ける→注意内容を確認→「OK」

■ データローミングを許可しない場合

①「データローミング」のチェックを外す

■ お知らせ

- 海外でのパケット通信のご利用は、高額となる場合がありますので、ご注意ください。
- LTEネットワークは日本国内のみのご利用となります。

VPNに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本機からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

- 本機で対応しているVPNプロトコルは次のとおりです。ただし、すべての環境で動作を保証するものではありません。
  PPTP、L2TP、L2TP/IPSec PSK、L2TP/IPSec RSA、IPSec Xauth PSK、IPSec Xauth RSA、IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 ホーム画面で「設定」→「その他...」

2 「VPN」

VPN設定画面が表示されます。

- 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」→「パターン」／「暗証番号」／「パスワード」をタップし、設定を完了してください。

3 「VPNネットワークの追加」

4 ネットワーク管理者の指示に従って項目を設定

- 「キャンセル」をタップすると、設定を中止します。

5 「保存」

VPNに接続する

1 **VPN設定画面で接続するVPNをタップ**

2 **必要な認証情報を入力→「接続」**

VPNに接続するとステータスバーにが表示されます。

VPNを切断する

1 **VPN設定画面で切断するVPNをタップ→「切断」**

VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

位置情報の利用

10

位置情報を有効にする

Googleマップなどで位置情報を取得する場合は、あらかじめ本機で位置情報を有効にしておく必要があります。

1 ホーム画面で「設定」

2 「位置情報サービス」

3 項目を設定

項目	説明
現在地情報にアクセス	位置情報を使用するかどうかを設定します。
GPS衛星	GPS機能を使用するかどうかを設定します。
Googleの位置情報サービス	Wi-Fi／モバイルネットワークなどのデータを使用して位置情報を検出するかどうかを設定します。

■お知らせ

- 「GPS 衛星」にチェックを付けると、電池の消費が早くなります。電池の消費を節約する場合は、チェックを外してください。
- GPS 機能は人工衛星からの電波を利用します。電波の受信状況が悪い場所では測位できなかったり、測位情報の精度が落ちたりする場合があります。
- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットのをタップしても、「GPS衛星」をオン／オフにすることができます。

Googleマップの利用

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、場所を検索したりできます。また、Googleマップを利用して、次のアプリケーションを使用できます。

- Googleマップナビ（P.155）
- Googleローカル（P.156）

■お知らせ

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSやWi-Fi接続などでの通信が必要です。
- 地域によっては、一部の機能が利用できない可能性があります。

Googleマップを表示する

1 **ホーム画面で「マップ」**

マップ画面が表示されます。

- マップ画面のアイコンをタップして、次の操作ができます。

アイコン	説明
	文字列を入力して地図上を検索します。
	目的地までの経路を表示します（P.154）。
	Googleローカルを利用します（P.156）。
	レイヤ機能を利用します（P.153）。
	現在地表示に切り替えます。
／	現在地表示中に、北方向を上／自分の向いている方角を上にして表示します。

■お知らせ

- マップ画面で、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - スライド：地図をスクロールして他のエリアを表示
  - ロングタッチ：表示中の場所の情報を表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：地図を縮小表示／拡大表示
  - ダブルタップ：地図を拡大表示
  - 2本指で同時にタップ：地図を縮小表示
  - 2本指で下方向にドラッグ：地図を傾けて3D表示
  - 2本の指で画面を回転させるようにドラッグ：地図を回転表示

マップ画面のメニュー

マップ画面で をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。
オフラインで使用する	地図を保存して、オフラインで使用できるようにします。 • 保存した地図はマップ画面の左上に表示される「マップ」→「マイプレイス」→「オフライン」→オフラインマップをタップすると表示できます。
設定	設定を変更／確認します（P.154）。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

マップ画面の左上に表示される「マップ」をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
地図	マップ画面を表示します。
ローカル	Googleローカルを利用します（P.156）。
ナビ	Googleマップナビを利用します（P.155）。
マイプレイス	「オフライン」「スター」「履歴」「経路・乗換」「マイマップ」「チェックイン」「評価済み」「検索」のカテゴリごとに、登録した場所や履歴などを一覧表示します。

項目	説明
チェックイン	現在地周辺の店やスポットにチェックインします。
Latitudeに参加／Latitude	Google Latitudeを利用します。
ロケーション履歴	Google Latitudeのロケーション履歴を確認します。

レイヤ機能を利用する

地図表示に道路の渋滞情報などを追加したり、地図表示を航空写真表示に切り替えたりできます。

1 **マップ画面で**

2 **項目をタップ**

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
交通状況	リアルタイムの渋滞状況を確認できます。 • 渋滞状況が提供されていないエリアがあります。
航空写真	航空写真表示に切り替えます。
地形	地形表示に切り替えます。
路線図	地図上に路線図を表示します。
Latitude	Google Latitudeに参加します。

項目	説明
マイマップ	マイマップ（自分で作成した地図）を表示します。
ウィキペディア	地図上にWikipediaの情報を表示します。 • 地図上の W をタップ→ふきだしをタップすると情報が表示されます。
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。

■お知らせ

- 航空写真表示は、リアルタイムの画像ではありません。

場所を検索する

1 **マップ画面で**

2 **検索する場所を入力→ または検索候補をタップ**

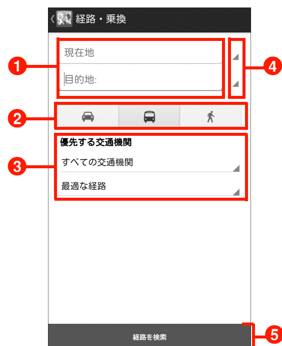
地図が表示されます。

- 地図上のふきだしの をタップすると、その場所を目的地に設定して経路を検索できます（P.154）。また、ふきだしの文字をタップすると、その場所の情報画面が表示されます。
- 情報画面のアイコンや項目をタップすると、地図を表示したり、経路を検索したり、電話をかけたりできます。
- 情報画面の ／ をタップすると、「マイプレイス」の「スター」に登録／登録解除します。

経路を調べる

出発地と目的地を設定して、その経路を調べます。

1 マップ画面で[icon]



Googleマップ経路設定画面

❶ 出発地／目的地を入力します。
❷ タップすると、交通手段を選択できます。
❸ 交通手段を[bus]に設定した場合は、優先する交通機関と最適な経路を選択できます。
❹ タップすると、出発地／目的地を「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から設定できます。
❺ タップすると、経路の検索を実行します。

2 出発地と目的地を設定

- [menu]→「出発地と目的地を入れ替える」をタップすると、出発地と目的地を入れ替えます。

3 交通手段（[car]／[bus]／[walk]）をタップ→「ナビ」／「経路を検索」

「経路を検索」をタップした場合は、マップ画面に経路が表示されます。「ナビ」をタップした場合は、Googleマップナビ（➡P.155）が起動します。

- 「ナビ」は[car]／[walk]をタップした場合のみ表示されます。

設定を変更／確認する

1 マップ画面で[menu]→「設定」

2 項目をタップ

項目	説明
表示	地図上にズームボタンやスケールバーを表示するかどうかを設定します。また、バルーンに表示するボタンを設定します。
オフラインとキャッシュ	キャッシュの設定を行います。
現在地設定	現在地をGoogle Latitudeで共有します。
ログイン	Googleアカウントにログインします。 • Googleアカウントにログインしていない場合に表示されます。

項目	説明
アカウントの切り替え	Googleアカウントを切り替えます。 • 本機に複数のGoogleアカウントを設定している場合に表示されます。
Labs	新機能の試験運用バージョンを有効／無効に設定します。
新機能	Google Play™に接続して、マップの新機能をダウンロードします。
Googleマップについて	バージョン情報などを表示します。
ご意見・ご感想	フィードバックフォームを記入します。
法的事項	利用規約、プライバシーポリシーなどを表示します。

Googleマップナビの利用

ナビゲーション機能を利用して、目的地までの経路を確認できます。

• 自動車の運転中は使用しないでください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「ナビ」

• 初回利用時は、メッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。



Googleマップナビ画面

❶ GoogleマップやGoogleローカルなどに切り替えます。

❷「マイプレイス」の「スター」に登録した場所から目的地を選択します。

❸ 目的地を音声で入力します。
❹ 自宅を目的地に設定します。
❺ 目的地までの交通手段を選択します。
❻ 連絡先に登録されている住所から目的地を選択します。
❼ 目的地を文字で入力します。
❽ 地図を表示します。

■お知らせ

- Google マップナビの詳細については、Google マップナビ画面で ☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Googleローカルの利用

レストランやホテルなど現在地の周辺情報を調べることができます。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「ローカル」

カテゴリ一覧画面が表示されます。

2 カテゴリをタップ

情報リスト画面が表示されます。

3 確認する情報をタップ

お店などの情報画面が表示されます。

- 情報画面のアイコンや項目をタップすると、地図を表示したり、経路を検索したり、電話をかけたりできます。
- 情報画面の☆／★をタップすると、「マイプレイス」の「スター」に登録／登録解除します。

■お知らせ

- カテゴリ一覧画面で、🔍をタップして、キーワードで検索することもできます。
- 情報リスト画面で「地図表示」をタップすると、地図上に情報を表示します。「検索結果一覧」をタップすると、情報リスト画面に戻ります。

検索するカテゴリを追加する

1 カテゴリ一覧画面で☰→「検索を追加」

2 追加するカテゴリをタップ

- カテゴリを入力する場合は、入力欄にカテゴリを入力→ ＋ をタップします。

■お知らせ

- 入力するカテゴリ名には、検索するキーワードを設定します（例：役所、薬局、スーパーマーケット、公園など）。
- カテゴリを削除する場合は、カテゴリ一覧画面でカテゴリをロングタッチ→カテゴリ名をタップします。

Wi-Fi／Bluetooth®／パソコン接続

11

Wi-Fi機能の利用

Wi-Fiを利用してインターネットへ接続できます。

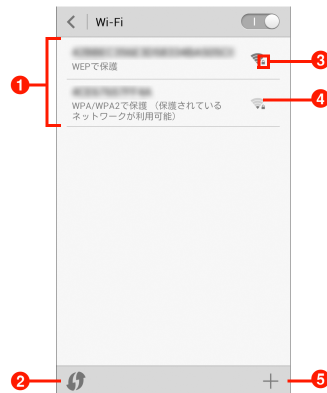
- 対応周波数帯は2.4GHzです（P.21）。
- 本機で対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
  WEP、WPA/WPA2 PSK

アクセスポイントに自動で接続する

1 **ホーム画面で「設定」→「Wi-Fi」**

2 

が表示され、Wi-FiがONになります。
利用可能なアクセスポイントを自動的にスキャンします。



Wi-Fi設定画面

❶ 検出されたアクセスポイントが表示されます。
❷ WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合にタップします（P.159）。
❸ セキュリティで保護されていることを示します。
❹ 電波強度を示します。
❺ アクセスポイントを手動で追加します（P.159）。

3 **接続するアクセスポイントをタップ**

- オープンなアクセスポイントをタップした場合は、アクセスポイントに接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

①パスワードを入力→「接続」
- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。
- 「詳細オプションを表示する」にチェックを付けると、プロキシ設定やIP設定（DHCP／静的）などの設定項目を表示できます。

■ Wi-Fi Protected Setup（WPS）を利用して接続する場合（プッシュボタン）

①Wi-Fi設定画面で をタップ
②アクセスポイントのプッシュボタンを押す
③「OK」

■ Wi-Fi Protected Setup（WPS）を利用して接続する場合（WPS PIN）

①Wi-Fi設定画面で →「WPS PINの入力」
②アクセスポイントで本機に表示されるWPS PINを入力

■ お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で →「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で →「詳細設定」→「スリープ時にWi-Fi接続を維持」→スリープの条件をタップします。
- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットの をタップしても、Wi-Fiをオン／オフにすることができます。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

1 Wi-Fi設定画面で

2 ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力

3 「保存」

Wi-Fi接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。

- ステータスバー
  本機がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーに が表示され、電波強度が示されます。

- アクセスポイント
  Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

利用可能なアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。

1 Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」→「ネットワークの通知」にチェックを付ける

- 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーに を表示して通知します。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiのアクセスポイントに接続するように本機を設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で接続するアクセスポイントをタップ

2 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける

3 「IP設定」欄をタップ→「静的」→項目をタップして入力

4 「接続」

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイスどうしを接続し、データのやり取りができます。

1 Wi-Fi設定画面で☰→「Wi-Fi Directの設定」

2 検出されたデバイスをタップ

- 検出されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続されます。

Wi-Fi Directの接続を解除する

1 Wi-Fi設定画面で☰→「Wi-Fi Directの設定」

2 接続を解除するデバイスをタップ→「OK」

Bluetooth®機能の利用

Bluetooth®対応機器と無線接続して、データの送受信ができます。

- Bluetooth®機能を利用する前に、「Bluetooth®および無線LAN使用に関するご注意」（➡P.20）をよくお読みください。
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本機と相手側の機器との通信できる距離は、約100m以内です。ただし、壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。
- 市販されているすべてのBluetooth®対応機器との接続・動作を保証するものではありません。

主な仕様と機能

項目	説明
対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class1
通信距離※	約100m以内
使用周波数帯	2402MHz～2480MHz
対応プロファイル	HFP：Hands-Free Profile HSP：Headset Profile PBAP：Phone Book Access Profile OPP：Object Push Profile A2DP：Advanced Audio Distribution Profile AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile HID：Human Interface Device Profile PAN：Personal Area Network Profile FTP server：File Transfer Profile SPP：Serial Port Profile

※：壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。

Bluetooth®機能をONにする

1 **ホーム画面で「設定」→「Bluetooth」**

2 

が表示され、Bluetooth®機能がONになります。ステータスバーに（グレー）が表示されます。

3 **「GL07S」**

本機が検出可能になり、「GL07S」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示（X：XX）」と表示され、カウントダウンが開始されます。

- 2分を経過すると、検出されなくなります。再度本機を検出可能にするには、「GL07S」をタップします。
- ☰→「表示のタイムアウト」をタップすると、本機を検出可能にする時間を設定できます。

■ お知らせ

- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットのをタップしても、Bluetooth®機能をオン／オフにすることができます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth®対応機器で、本機を検出したときに表示される名前を変更します。

1 **Bluetooth®設定画面で☰→「端末の名前を変更」**

2 **端末の名前を入力→「名前を変更」**

ペアリング／接続

本機と他のBluetooth®対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth®対応機器とペアリング／接続する

1 **Bluetooth®設定画面で「デバイスの検索」**

「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth®対応機器が一覧表示されます。

2 **ペアリング／接続を行う機器をタップ**

3 **画面の指示に従ってペアリング／接続**

「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth®機器の名前が表示されます。

- 必要に応じてBluetooth®パスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器どうしが、同じBluetooth®パスキーを入力する必要があります。Bluetooth®パスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 **Bluetooth®設定画面で解除操作を行う**

■ Bluetooth®対応機器とのペアリングを解除する場合

① 「ペアリングされたデバイス」欄のペアリングを解除する機器名称の⚙

② 「ペアを解除」

■ Bluetooth®対応機器との接続を解除する場合

① 「ペアリングされたデバイス」欄の接続を解除する機器名称をタップ

- ⚙→「ペアを解除」をタップすると、接続とペアリングの両方を解除できます。

② 「OK」

■お知らせ

- 相手側の機器によっては、⚙をタップして名前の変更や、プロフィールの設定変更などができます。

データの送受信

- あらかじめ本機のBluetooth®機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

1 **相手側の機器からデータを送信**

2 **ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く**

3 **受信するファイルをタップ→「承諾」**

ファイルの受信が開始されます。
受信が完了するとステータスバーにが表示されます。

■お知らせ

- 本機で受信したデータは、内部ストレージの「bluetooth」フォルダに保存されます。
- 受信したファイルは、Bluetooth®設定画面で☰→「受信済みファイルを表示」をタップすると確認できます。

データを送信する

連絡先、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth®対応機器に送信できます。

1 **各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」**

2 **データを送信する相手側の機器をタップ**

相手側の機器で受信操作を行うと、データの送信が開始されます。
送信が完了するとステータスバーにが表示されます。

テザリング機能の利用

テザリング機能を利用すると、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。テザリング機能は、次の3通りの方法で利用できます。

- Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）（P.164）
- USBテザリング（P.165）
- Bluetooth®テザリング（P.166）

お知らせ

- テザリング機能を利用中は、すべての通信がパソコンなどの外部機器を接続した通信とみなされ、ご加入のデータ通信タイプによっては追加料金が発生します。

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用すると、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 対応周波数帯は2.4GHzです（P.21）。
- Pocket WiFiで対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大8台までです。

1 ホーム画面で「Pocket WiFi」ウィジェットの部分をタップ

Pocket WiFiが有効になると、ウィジェットがになり、ステータスバーにが表示されます。

- 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」または「キャンセル」をタップしてください。
- ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi」にチェックを付けても、Pocket WiFiを有効にできます。

お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にPocket WiFiを有効にすると、LTE／3Gパケット通信に切り替わります。
- 本機に接続中の通信機器は、ホーム画面で「設定」→「その他. . .」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」をタップし、「接続されたデバイス」欄で確認できます。
- 本機に接続できる通信機器の数を変更する場合は、ホーム画面で「設定」→「その他…」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」→「Pocket WiFi設定」→「許可されている最大接続数」欄をタップ→許可する通信機器の数を選択→「保存」をタップします。

ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「GL07S-PocketWiFi」、暗号化方式（セキュリティ）は「WPA2 PSK」、パスワードは端末ごとに異なる8桁の数字が設定されています。

- Pocket WiFiで設定できる暗号化方式はWPA2 PSKです。

1 ホーム画面で「Pocket WiFi」ウィジェットの⚙部分をタップ→「Pocket WiFi設定」→「Pocket WiFi設定」

Pocket WiFi設定画面が表示されます。

- ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」→「Pocket WiFi設定」をタップしても、Pocket WiFi設定画面を表示できます。

2 ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認

- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、パスワードが表示されます。

■ ネットワーク SSID およびセキュリティ（パスワード）を変更する場合

① ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更→「保存」

■ お知らせ

- 「データの初期化」（➡P.231）を行うと、パスワードも初期化されます。

USBテザリングを利用する

USBケーブルを使用して、本機と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 本機との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「パソコンとUSBケーブルで接続する」（➡P.167）をご参照ください。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8をお使いになるときは、そのまま接続して利用できます。Windows XPをお使いになるときは、あらかじめウェブ上から最新のMicrosoft ActiveSyncをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。

1 本機と通信機器をUSBケーブルで接続

- 「USBでパソコンに接続」画面が表示された場合は、⏎をタップして画面を閉じてください。

2 ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」

- 「USBテザリング」の下にUSB接続済みであることが表示されていることを確認してください。

3 「USBテザリング」にチェックを付ける

ステータスバーに が表示されます。

- 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」または「キャンセル」をタップしてください。

■ USBテザリングの設定を解除する場合

① 「USBテザリング」のチェックを外す
② 通信機器側で本機の安全な取り外しを行う
③ USBケーブルを取り外す

■ お知らせ

- USBテザリング設定中は、メディアデバイス（MTP）（P.167）、カメラ（PTP）（P.168）を利用して、パソコンとのデータのやり取りはできません。
- お使いのパソコンのOSによっては、接続可能になるまで時間がかかることがあります。

Bluetooth®テザリングを利用する

Bluetooth®機能を使用して、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- Bluetooth®対応機器からの操作については、お使いの機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ご利用になるBluetooth®対応機器によっては、操作が異なる場合があります。

1 Bluetooth®機能をONにする

Bluetooth®機能をONにするとステータスバーに が表示されます。

- 「Bluetooth®機能をONにする」（P.161）をご参照ください。

2 ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」

3 「Bluetoothテザリング」にチェックを付ける

- 注意画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」または「キャンセル」をタップしてください。

4 Bluetooth®対応機器から本機へのペアリング操作を行う

Bluetooth®のペア設定リクエスト画面が表示されます。

■ Bluetooth®対応機器とペアリング済みの場合

① Bluetooth®対応機器から本機への接続操作を行う
  - 本機とBluetooth®対応機器が接続されます。

5 「ペア設定する」

- Bluetooth®対応機器側もペア設定を行います。

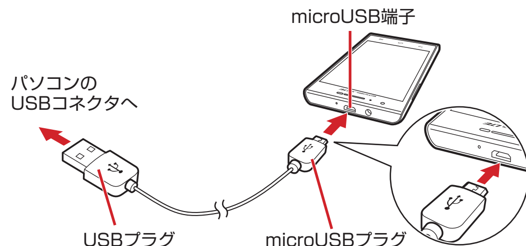
6 Bluetooth®対応機器から本機への接続操作を行う

■ Bluetooth®テザリングの設定を解除する場合

① Bluetooth®対応機器から切断の操作を行う
② 「Bluetoothテザリング」のチェックを外す

パソコンとUSBケーブルで接続する

付属のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンなどの外部機器を接続します。



- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 8（32ビットおよび64ビット）、Windows 7（32ビットおよび64ビット）、Windows Vista（32ビットおよび64ビット）、Windows XP（SP3以降／32ビット）の各日本語版
メモリ容量※	64Mバイト以上（128Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの空き容量※	64Mバイト以上

※：動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本機をデジタルオーディオデバイスとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、MTP（Media Transfer Protocol）モードにすると、音楽や動画などのメディアデータを本機に転送できます。

- Windows XPをお使いになるときは、あらかじめイー・モバイルのホームページからドライバをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。
- Windows Media Player 10（またはそれ以降のバージョン）がパソコンにインストールされている必要があります。

1 **本機とパソコンをUSBケーブルで接続**

「USBでパソコンに接続」画面が表示されます。

2 **「メディアデバイス（MTP）」**

「メディアデバイスとして接続」とメッセージが表示されます。

3 **パソコンでWindows Media Playerを起動し、同期操作を行う**

■ メディアデバイス（MTP）の操作を終了する場合

① パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行う

■お知らせ

- 著作権が保護されているデータを本機に転送すると、再生できない場合があります。また、データを本機以外に転送すると、再生できない場合があります。

本機をデジタルカメラとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、PTP （Picture Transfer Protocol）モードにすると、本機で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

1 **本機とパソコンをUSBケーブルで接続**

「USBでパソコンに接続」画面が表示されます。

2 **「カメラ（PTP)」**

「カメラとして接続」とメッセージが表示されます。

3 **パソコンを操作して、内部ストレージとデータをやり取りする**

- パソコンからは、内部ストレージの「DCIM」／「Pictures」フォルダに保存されているデータにアクセスできます。

■ カメラ（PTP）の操作を終了する場合

① パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行う

USBストレージを使用する

ホスト機能付きUSBケーブルを使用して本機にUSBストレージを取り付けると、USBストレージに保存されているデータを使用できます。

- 市販されているUSBストレージなどの機器との接続・動作を保証するものではありません。

USBストレージのマウントを解除する

USBストレージの認識を解除して本機から安全に取り外せるようにします（マウント解除）。

1 **ホーム画面で「設定」**

2 **「ストレージ」→「“USBストレージのマウントを解除”」**

- メッセージが表示されます。内容をご確認ください。

3 **「OK」**

■お知らせ

- USBストレージのマウントを解除すると、USBストレージのデータを再生したり、USBストレージにデータを保存したりできなくなります。

USBストレージをフォーマットする

USBストレージをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを行うと USB ストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で「設定」**

2 **「ストレージ」→「USBストレージ内データの消去」→「USBストレージ内データを消去」**

3 **「すべて消去」**

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、USBストレージが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。

カメラ

12

カメラについて

本機に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。本機の前面にあるインカメラと、背面にあるアウトカメラの2種類があります。

- カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付いていると、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 撮影時に本機を動かすと、画像が乱れます。本機を動かさないようにしてください。
- 本機を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。
- インカメラ／アウトカメラの仕様の詳細については、「主な仕様」(P.245）の「■インカメラ」および「■アウトカメラ」をご参照ください。

カメラを起動する

1 ホーム画面で（カメラキー）を長押し

撮影画面が表示されます。

- 初回利用時は、ユーザーガイド画面が表示されます。画面を左右にスワイプ／スライドし、内容をご確認ください。をタップすると、撮影画面が表示されます。
- ホーム画面で→「カメラ」をタップしてもカメラを起動できます。

カメラを終了する

1 撮影画面で／

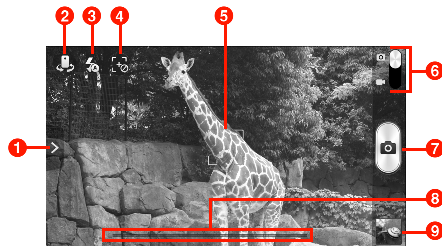
使用するカメラを切り替える

インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

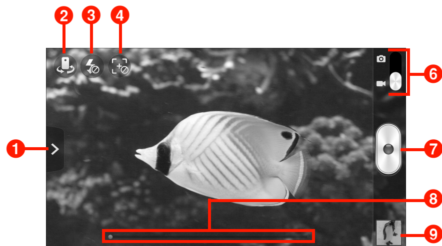
1 撮影画面で

撮影画面の見かた

撮影画面に表示されているアイコンをタップして次の設定や操作が行えます（画面はアウトカメラを使用し、本機を横向きにした場合です）。



静止画撮影画面



動画撮影画面

❶ メニュー

タップすると、撮影画面のメニューが表示されます（P.173）。

❷ カメラ切り替え

背面（アウトカメラ）／前面（インカメラ）を切り替えます。

❸ フラッシュモード

フラッシュモードを切り替えます。

❹ フォーカスモード

オートフォーカス／トラッキングフォーカスを切り替えます。

トラッキングフォーカスモードでは、フォーカスしたい被写体をタップするとフォーカス枠が表示され、画面を動かしても被写体を追跡してピントを合わせ続けます。

❺ フォーカス枠

撮影画面をタップするとフォーカス枠が表示されます。ピントが合ってフォーカス枠が白色から緑色に変わります（静止画撮影でアウトカメラ使用時のみ）。

ピントが合わない場合は、フォーカス枠は赤色になります。

❻ 撮影モード

スライダーを上／下にドラッグして撮影モード（静止画撮影／動画撮影）を切り替えます。

❼ シャッター

静止画撮影の場合は撮影、動画撮影の場合は撮影を開始／停止します。

❽ ズーム

スライダーを左／右にドラッグしてズームを設定します。

❾ サムネイル

ギャラリーを開き、撮影した静止画／動画を確認できます。

をタップすると撮影画面に戻ります。

■お知らせ

- 撮影画面に表示されているアイコンは本機の向きに合わせて回転します。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示

2 （カメラキー）

シャッター音が鳴り、静止画がギャラリーに保存されます。

- をタップしても撮影できます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示

2 （カメラキー）

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

- をタップしても撮影を開始できます。
- をタップすると、動画の撮影を一時停止します。をタップすると再開できます。

3 撮影が終わったら、（カメラキー）

撮影終了音が鳴り、動画がギャラリーに保存されます。

- をタップしても撮影を終了できます。

■お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、内部ストレージの空き容量によって異なります。

撮影画面のメニュー

撮影画面でをタップすると、次のメニューが表示されます。

- インカメラ／アウトカメラによって、表示されるアイコン／項目は異なります。

■ 静止画の場合

アイコン／項目		説明
	シングル	通常撮影モードに設定します。
	パノラマ	パノラマ撮影モードに設定します。
	グループ	複数の人物を撮影する場合に適した撮影モードに設定します。1回のシャッターで5枚の写真を連続撮影します。撮影した5枚の中から、被写体ごとにもっとも良い表情などを選択し、組み合わせて1枚の写真として保存できます。 • プレビュー画面で5枚の画像から1枚を選択→被写体（顔など）の上に表示されている白い枠をタップ→拡大表示された部分に表示される丸い枠をタップして、その部分の5枚の画像から1枚を選択→✔→✔をタップすると組み合わせた画像がギャラリーに保存されます。
	HDR	HDR（高ダイナミックレンジ）撮影モードに設定します。
	微光	光の少ない場所でも撮影できるモードに設定します。
	ビューティー	肌をきれいに撮影するモードに設定します。
	スマイル	笑顔を検出して自動で撮影するモードに設定します。
	バースト	1回のシャッターで10枚の写真を連続撮影するモードに設定します。10枚すべてが保存されます。

アイコン／項目		説明
		効果を設定します。
		変顔エフェクトを設定します。
	シーンモード	シーンモードを設定します。
	ISO	ISOを設定します。
	ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
	画像調整	露出や彩度、コントラスト、画面の明るさを設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。
	写真の画質	画質を設定します。
	表示サイズ	表示サイズを設定します。
	赤目軽減	赤目軽減を行うかどうかを設定します。
	グリッド	グリッド線を表示するかどうかを設定します。
	GPSタグ	撮影した静止画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

■ 動画の場合

アイコン／項目		説明
		解像度を設定します。
		ホワイトバランスを設定します。
		変顔エフェクトを設定します。
	動画の画質	画質を設定します。
	手ぶれ補正	手ぶれ補正を行うかどうかを設定します。
	HDRビデオ	HDR（高ダイナミックレンジ）撮影モードに設定します。
	GPSタグ	撮影した動画に位置情報を記録するかどうかを設定します。
	初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

ギャラリー

13

ギャラリーについて

ギャラリーでは、本機で撮影した静止画／動画、ダウンロードしたデータなどを再生できます。また、静止画の編集や、静止画／動画の共有ができます。

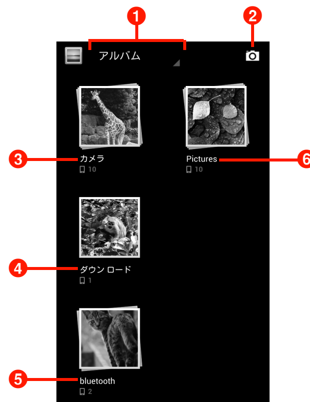
- ギャラリーでは、内部ストレージに保存しているデータを再生します。
- 本機で対応しているファイルの形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG、PNG、BMP、GIF
動画	H.263、H.264、MPEG-4、RV8-10、WMV9、VP8、3gp、mp4、rmvb/rm、asf

ギャラリーを開く

1 **ホーム画面で→「ギャラリー」**

アルバム一覧画面が表示されます。



アルバム一覧画面

❶ タップすると、選択したテーマでフォルダ分けします。
❷ カメラを起動します。
❸「カメラ」フォルダには、本機で撮影した静止画／動画が保存されています。
❹「ダウンロード」フォルダには、本機でダウンロードしたデータが保存されています。
❺「bluetooth」フォルダには、Bluetooth® で受信したデータが保存されています。

❻「Pictures」フォルダには、本機にあらかじめ登録されている静止画が保存されています。

お知らせ

- 保存されているデータの種類によって、アルバム一覧画面で表示されるフォルダやフォルダ名は異なります。

アルバム一覧画面のメニュー

アルバム一覧画面で ☰ をタップすると、次のメニューが表示されます。

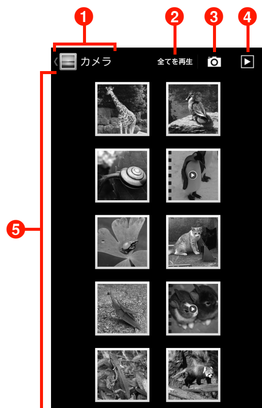
項目	説明
アルバムを選択	フォルダをタップして複数選択し、まとめて共有、削除します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのフォルダを選択できます。 • をタップすると、選択したフォルダのデータをBluetooth®やメールなどを使って共有できます。 • をタップすると、選択したフォルダの削除や表示／非表示、詳細情報の確認ができます。
非表示のアルバムを表示する	非表示にしているアルバムを表示するかどうかを設定します。
顔認識	顔認識機能を有効にするかどうかを設定します。

お知らせ

- アルバム一覧画面で1つずつフォルダをロングタッチしても、複数選択できます。
- フォルダ内に保存されているデータの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部、表示されないことがあります。

静止画／動画を再生する

1 アルバム一覧画面で再生するフォルダをタップ



サムネイル画面

❶ フォルダ名が表示されます。アイコンをタップすると、上の階層に戻ります。
❷ タップすると、選択した回数でフォルダ内の動画を再生します。
❸ カメラを起動します。
❹ フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。
❺ 静止画／動画がサムネイルで表示されます。サムネイルをタップすると再生できます。左／右にスワイプ／スライドすると、画面をスクロールできます。

2 静止画／動画をタップ

画面にアイコンが表示され、次の操作ができます。

■ 静止画再生の場合

アイコン	説明
（共有アイコン）	静止画をBluetooth®やメールなどを使って共有します。
（削除アイコン）	静止画を削除します。

■ 動画再生の場合

アイコン	説明
（ドルビーアイコン）	ドルビー機能のON／OFFを設定します。
（共有アイコン）	動画をYouTubeやBluetooth®、メールなどを使って送信します。
（削除アイコン）	動画を削除します。
（一時停止）／（再生）	一時停止／再生します。
（前）／（後）	前／後の動画を再生します。
（スライダー）	スライダーを左／右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

■ お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。
- 「顔認識」（➡P.178）が有効の場合、顔認識で撮影された静止画をタップすると、被写体（顔など）に「名前の追加」のふきだしが表示されます。「名前の追加」→連絡先をタップすると、選択した連絡先に登録されている名前のふきだしに変わります。
- 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。
  - 左／右にスワイプ：前／後の静止画／動画を表示
  - ダブルタップ：拡大表示／縮小表示
  - ピンチイン／ピンチアウト：縮小表示／拡大表示

サムネイル画面のメニュー

サムネイル画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
項目を選択	サムネイルをタップして複数選択し、まとめて共有、削除、回転します。 • 「XX件選択済み」→「全件選択」をタップすると、すべてのサムネイルを選択できます。 • 共有アイコンをタップすると、選択したサムネイルのデータをBluetooth®やメールなどを使って共有できます。 • ⋮をタップすると、選択したサムネイルのデータの削除や詳細情報の確認ができます。静止画を選択している場合は、回転や編集などの操作もできます。
グループ化	選択したテーマでフォルダ内の画像をグループ分けします。

■ お知らせ

- サムネイル画面で1つずつサムネイルをロングタッチしても、複数選択できます。
- 選択したサムネイルのデータの種類によっては、共有に使用するアプリケーションが一部、表示されないことがあります。

再生画面のメニュー

再生画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 静止画／動画によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
スライドショー	フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。画像をタップすると、スライドショーが停止します。
編集	静止画を編集します（➡P.181）。
左に回転	静止画を左／右に90度回転します。 • 「ギャラリー」でのみ回転して表示することができます。
右に回転	
トリミング	静止画をトリミングします。
画像を設定	静止画を壁紙や連絡先の画像に設定します。
詳細情報	静止画／動画の詳細情報を表示します。

静止画を編集する

1 サムネイル画面で静止画をタップ

2 ≡→「編集」



静止画編集画面

❶ 設定した編集を解除して1つ前の状態にします。
❷ 解除した編集内容を戻します。
❸ フィルライト、ハイライト、影を設定します。
❹ 表現手法を設定します。
❺ 色の効果を設定します。
❻ トリミング、赤目処理、傾き調整、回転、反転、シャープを設定します。

3 画像を編集

4 「保存」

音楽 14

音楽について

「音楽」を利用して、内部ストレージに保存している音楽を再生できます。

- あらかじめパソコンから内部ストレージに、再生するファイルをコピーしてください。
- 本機で対応している音楽ファイルの形式は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

ファイル形式
MP3、MIDI、AMR-NB、AMR-WB、AAC、AAC+、eAAC+、AC-3、PCM、OGG、WMA2-9、RA、wav、flac

圧縮形式のファイルで利用できる最大ビットレートは以下のとおりです。
MP3：320kbps
AMR-NB：12.2kbps
AMR-WB：23.85kbps
AAC、AAC+、eAAC+：160kbps
OGG：128kbps

本機にファイルをコピーする

パソコンから内部ストレージにファイルをコピーします。

1 パソコンで内部ストレージを開く

- 「本機をデジタルオーディオデバイスとして使用する」（➡P.167）をご参照ください。

2 保存先にファイルをコピー

- 「フォルダ」タブで分類表示したい場合は、フォルダを作成してからファイルをコピーしてください。

3 コピーが終わったら、本機をパソコンから安全に取り外す

- パソコン側で本機の安全な取り外しを行ってから、USBケーブルを取り外してください。

音楽を再生する

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「音楽」**

カテゴリ一覧画面が表示されます。

- 「全ての曲」「お気に入り」「プレイリスト」「アーティスト」「ジャンル」「アルバム」「フォルダ」のカテゴリで音楽が整理されています。

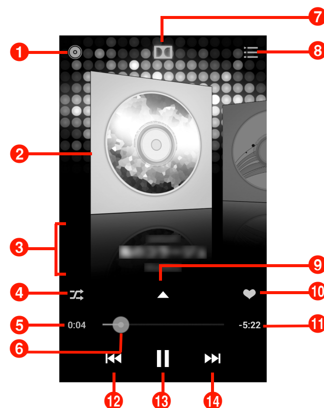
2 **カテゴリをタップ**

ライブラリ画面が表示されます。

3 **再生する音楽をタップ**

音楽再生画面が表示されます。

音楽再生画面の見かた



音楽再生画面

❶ ライブラリ画面を表示します。
❷ アルバムジャケット画像をカバーフロー表示します。タップすると、再生中の音楽のアルバム内容が表示されます。
❸ 再生中の音楽のアーティスト名、曲名、アルバム名が表示されます。
❹ シャッフル／リピート／１曲リピート／順番再生を切り替えます。
❺ 再生中の音楽の経過時間を表示します。
❻ 左／右にドラッグすると、巻き戻し／早送りします。

❼ ドルビー機能のON／OFFを切り替えます。
❽ 選択したカテゴリの音楽一覧を表示します。
❾ 歌詞が表示されます。
❿ お気に入りに追加／お気に入りから削除します。
⓫ 再生中の音楽の残り再生時間を表示します。
⓬ 前の音楽の先頭にジャンプします。ロングタッチすると巻き戻しします。
⓭ 再生／一時停止します。
⓮ 次の音楽を再生します。ロングタッチすると早送りします。

お知らせ

- 音楽再生中に別の画面を表示しても、音楽の再生は続きます。停止するには、音楽再生画面･ライブラリ画面で II をタップしてください。
- 音楽再生中はステータスバーに♫が表示されます。別の画面から音楽再生画面を表示する場合は、通知パネルを開いて再生中の項目をタップしてください。

ライブラリ画面のメニュー

ライブラリ画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。
- カテゴリによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
検索	ライブラリ内にある音楽を検索します。
複数選択	ライブラリ内にある音楽を複数選択します。
曲の追加	ライブラリ内にある音楽をお気に入りに追加します。
終了	音楽アプリケーションを終了します。

音楽再生画面のメニュー

音楽再生画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
着信音として設定	音楽を着信音に設定します。
プレイリストに追加	音楽をプレイリストに追加します。
共有	音楽をBluetooth®やメールなどを使って共有します。
削除	音楽を削除します。
情報	音楽の詳細情報を表示します。
終了	音楽アプリケーションを終了します。

プレイリストを利用する

プレイリストに音楽を追加する

1 **ライブラリ画面でプレイリストに追加するアルバム／曲／フォルダなどをロングタッチ**

2 「プレイリストに追加」

■ 新しくプレイリストを作成して追加する場合

①「新規プレイリスト」

② プレイリスト名を入力→「保存」

■ すでに保存されているプレイリストに追加する場合

① 追加するプレイリストをタップ

プレイリストを管理する

1 ライブラリ画面で「プレイリスト」タブをタップ

2 目的の操作を行う

■ プレイリストを再生する場合

① 再生するプレイリストをロングタッチ→「再生」

■ プレイリストを削除する場合

① 削除するプレイリストをロングタッチ→「削除」→「OK」

■ プレイリスト名を変更する場合

① 変更するプレイリストをロングタッチ→「名前の変更」

② プレイリスト名を変更→「保存」

■ プレイリストに音楽を追加する場合

① プレイリストをタップ

② →追加する音楽にチェックを付ける→「完了」

■ プレイリストから音楽を削除する場合

① プレイリストをタップ

② →削除する音楽にチェックを付ける→「完了」

■ 最近追加したアイテムを編集する場合

①「最近追加された曲」をロングタッチ→「編集」

② 保存期間を選択

音楽を着信音に設定する

1 ライブラリ画面で着信音に設定する音楽をロングタッチ

2 「着信音として設定」

音楽が着信音に設定されます。

音楽を削除する

内部ストレージから音楽を削除します。

1 ライブラリ画面で削除する音楽をロングタッチ

2 「削除」→「OK」

■お知らせ

- プレイリスト／お気に入り内の音楽を削除しても、内部ストレージからは削除されません。

音楽を共有／確認する

音楽をBluetooth®やメールなどで送信して他人と共有したり、詳細情報を確認したりできます。

1 **ライブラリ画面で共有／確認する音楽をロングタッチ**

■ 共有する場合

①「共有」

② 共有方法をタップし、操作を行う

■ 情報を確認する場合

①「情報」

Uni Widget（ユニウィジェット）／アプリケーション

15

Uni Widget（ユニウィジェット）

天気情報や日付・時刻の確認、連絡先の貼り付け、ギャラリーの画像の表示、音楽の再生操作ができます。

- お買い上げ時、Uni Widget（ユニウィジェット）はホーム画面に配置されています。



❶ 天気

お買い上げ時は、現在地の天気情報が表示されます。タップすると、「天気」アプリケーションが起動し、表示する都市を変更したり、天気情報の更新間隔などを設定できます（➡P.205）。

❷ 時計

タップすると、「時計」アプリケーションが起動します（➡P.201）。

❸ ユーザー

タップすると、（ユーザー）に登録されている連絡先を選択して貼り付けることができます。貼り付けた連絡先をタップすると、電話をかけたりメールを送信したりできます。

❹ ギャラリー

タップすると、ギャラリーからアルバムを選択して画像を表示することができます。画像はスライドショーで表示されます。

❺ 音楽

音楽の一時停止や再生、前／次の音楽の頭出しの操作ができます。

■お知らせ

- ギャラリーで画像を回転させても、Uni Widget（ユニウィジェット）に表示される画像は回転されません。
- 設定したユーザーやギャラリーを変更する場合は、ウィジェットを削除してから再度追加してください。

Uni Widget（ユニウィジェット）をカスタマイズする

ウィジェットを削除・追加することで、Uni Widget（ユニウィジェット）をカスタマイズできます。

1 **ホーム画面でUni Widget（ユニウィジェット）をロングタッチ→**

■ **ウィジェットを削除する場合**

① 削除したいウィジェットの

■ **ウィジェットを追加する場合**

① 画面下部のウィジェットから追加したいウィジェットをロングタッチ

② そのままUni Widget（ユニウィジェット）の空いている場所までドラッグして指を離す

- 「ユーザー」／「ギャラリー」を追加した場合は、連絡先／アルバムを選択します。

2 **「完了」**

DLNA

Huawei DLNAを利用して、他のDLNA（Digital Living Network Alliance）対応機器とWi-Fi経由で画像や動画などのファイルを共有できます。

- DLNAを利用するには、Wi-Fiの設定が必要です。Wi-Fiの設定確認画面が表示された場合は、「構成を行う」をタップしてWi-FiをONにするか、「アクセスポイントに自動で接続する」（P.158）を行ってください。「続行」をタップすると、Wi-FiがOFFの状態でDLNA画面が表示されます。

1 **ホーム画面で→「DLNA」**

DLNA画面が表示されます。

- 初回利用時は、ユーザーガイド画面が表示されます。画面を左右にスワイプ／スライドし、内容をご確認ください。をタップすると、DLNA画面が表示されます。

2 **カテゴリをタップ→接続するDLNA対応機器のフォルダをタップ**

共有できるファイルの一覧が表示されます。

3 **共有するファイルをタップ**

ファイルが再生／表示されます。

- →「ダウンロード」をタップすると、ファイルを本機にダウンロードできます。

■ DLNAを終了する場合

① DLNA画面で▤→「終了」→「はい」

■ お知らせ

- DLNA画面で⏎をタップすると、DLNAを有効にしたままDLNA画面を閉じることができます。ステータスバーには が表示されます。
- DLNAの操作方法などの詳細については、DLNA画面で▤→「ヘルプ」をタップし、ユーザーガイドをご確認ください。

DLNAを設定する

1 DLNA画面で▤→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
自分のファイルの共有	本機のファイルの共有を許可するかどうかを設定します。
他のデバイスからファイルを受信	他のDLNA対応機器からのファイルの送信を許可するかどうかを設定します。
マイデバイス	本機のプレイヤー名を設定します。
送信管理	他のDLNA対応機器へ送信したファイルを管理します。
ダウンロード管理	他のDLNA対応機器などからダウンロードしたファイルを管理します。
著作権について	著作権と免責条項を表示します。

ムービースタジオ

内部ストレージに保存されているファイルを利用して、オリジナルの映画（動画）を作成できます。

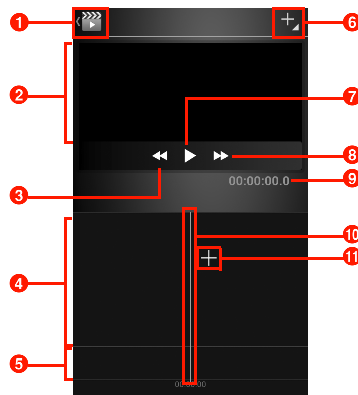
1 ホーム画面で →「ムービースタジオ」

ムービースタジオ画面が表示されます。

2 ／「新しいプロジェクト」

3 プロジェクト名を入力→「OK」

プロジェクト作成画面が表示されます。



プロジェクト作成画面

❶ ムービースタジオアイコン
タップすると、ムービースタジオ画面に戻ります。
❷ プレビューエリア
編集中のプロジェクトが表示されます。
❸ 巻き戻しアイコン
再生中にタップすると、プロジェクトを巻き戻します。
❹ 映画（動画）編集エリア
追加した動画ファイル／画像ファイル、タイトルが表示され、編集操作ができます。
❺ 音楽編集エリア
動画ファイル／画像ファイルを追加するとが表示され、タップすると音楽ファイルを追加できます。
❻ 操作アイコン
タップするとメニューが表示され、ファイルの追加操作などができます。
❼ 再生アイコン
編集中のプロジェクトを再生して確認できます。
❽ 早送りアイコン
再生中にタップすると、プロジェクトを早送りします。
❾ 編集ポイントの再生時間
編集ポイントの位置までの再生時間が表示されます。
❿ 編集ポイント
編集したい動画ファイル／画像ファイルを、この位置まで左右にドラッグして移動します。
⓫ 動画ファイル追加アイコン
タップすると、内部ストレージに保存されている動画ファイルを選択して追加できます。

4 動画ファイル／画像ファイルを追加

次の操作を繰り返すと、複数のファイルを選択できます。

■ 保存済みの動画ファイルを追加する場合

① 
- →「動画クリップをインポート」をタップしても、保存済みの動画ファイルを選択できます。

② アプリケーションをタップ→使用する動画ファイルをタップ

■ 保存済みの画像ファイルを追加する場合

① →「画像をインポート」
② アプリケーションをタップ→使用する画像ファイルをタップ

■ 動画や画像を撮影して追加する場合

① →「動画を撮影」／「写真を撮影」
② 動画／画像を撮影→「OK」

5 プロジェクトの編集を行う

■ 音楽ファイルを追加する場合

① 音楽編集エリアの→アプリケーションをタップ
② 音楽ファイルをタップ→「OK」
- 音声レコーダーを選択した場合は、→音声を録音→→「この録音を使用」をタップします。

③ 音楽編集エリアの音楽ファイルをタップ
- 音楽ファイルに緑色の枠が表示されます。

④ を左／右にドラッグして音量を設定

■ タイトルを追加する場合

① 映画（動画）編集エリアのファイルをタップ
② →「タイトルを追加」

③「テンプレートを変更」→使用するタイトルテンプレートをタップ

④ タイトルを入力→必要に応じてサブタイトルを入力→「OK」

• 映画（動画）編集エリアに追加したタイトルが表示されます。

⑤ タイトルをタップ

• タイトルに青色の枠が表示されます。

⑥ をドラッグ

• タイトルを表示する範囲までドラッグします。
• タイトルをロングタッチして左／右にドラッグすると、表示位置を移動できます。
• をタップするとタイトル編集、をタップすると削除ができます。

⑦

■ 表示効果を編集する場合

① 映画（動画）編集エリアのファイルをタップ

② →使用する効果をタップ

③

■ 追加したファイルを削除する場合

① 映画（動画）編集エリア／音楽編集エリアの削除するファイルをタップ

② →「削除」→「はい」

6 ／

プロジェクトが保存され、ムービースタジオ画面に戻ります。

■ プロジェクトを映画（動画）ファイルとして保存する場合

① →「映画をエクスポート」

②「映画サイズ」や「映画の画質」を設定

• 使用している動画ファイルによっては、設定できない項目があります。

③「エクスポート」

■お知らせ

• 他のアプリケーションで映画（動画）を再生するには、プロジェクトをエクスポートしてください。
• 作成したプロジェクトを編集するには、ムービースタジオ画面で編集するプロジェクトをタップします。
• プロジェクトを削除するには、ムービースタジオ画面でプロジェクトをロングタッチ→「プロジェクトを削除」→「はい」をタップするか、プロジェクト作成画面で→「プロジェクトを削除」→「はい」をタップします。

おサイフケータイ®

本機にはFeliCaチップが搭載されており、お店などのリーダー／ライター（読み取り機）に本機をかざすだけで、おサイフやクーポン券、チケット代わりに利用できます。
また、紛失時の対策として、おサイフケータイ®の機能をロックすることができます。

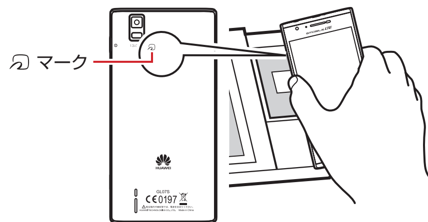
- おサイフケータイ®の詳細については、「EM ホーム」アプリケーションからおサイフケータイ®の項目をご参照ください。
- おサイフケータイ®対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。

おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本機の故障により、FeliCa チップ内のデータ（電子マネー、ポイントなどを含む）が消失してしまう場合があります。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ®対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ®サービスをご利用ください。
- 修理時など、本機をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることはできません。原則データをお客さま自身で消去していただく必要があります。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、FeliCa チップ内のデータが消失・変化、その他おサイフケータイ®サービスに関して生じた障害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本機の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ®対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- 盗難、紛失に備えあらかじめお客さま自身でのおサイフケータイ®のロックをおすすめします。

注意事項

- 本機の マークをリーダー／ライターに対して平行にゆっくりとかざしてください。読み取れない場合は、本機を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- 本機とリーダー／ライターの間に金属製の物など、電波を遮る物があると読み取れないことがあります。また、 マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。



利用の準備をする

お使いになる前に、対応サービスのお申し込みや初期設定などの準備が必要です。

1 **ホーム画面で「おサイフケータイ」**

- 初回利用時は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

2 **利用するサービスをタップ**

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

■お知らせ

- 電池残量が十分ある場合は、電源を切った状態でもおサイフケータイ®サービスがご利用いただけます。

おサイフケータイ®の機能をロックする

おサイフケータイ®の機能をロックして、サービスを利用できないようにします。

- お買い上げ時、パスワードは「9999」に設定されています。
- おサイフケータイ®のパスワードを忘れた場合、おサイフケータイ®の機能のロックを解除できませんので、ご注意ください。

1 **ホーム画面で「おサイフケータイ」**

2 **「ロック設定」→「おサイフケータイのロックをかける」→パスワードを入力→「続行」→「OK」**

ステータスバーに[IC]が表示されます。

■ **おサイフケータイ ロックを解除する場合**

①「ロック設定」

②「おサイフケータイのロックをかける」→パスワードを入力→「続行」→「OK」

- ホーム画面で「おサイフケータイ ロック解除」→パスワードを入力→「続行」→「OK」をタップしても、ロックを解除できます。

■ **パスワードを変更する場合**

①「ロック設定」

②「パスワード変更」→パスワードを入力→「続行」

③ 新しいパスワードを入力→「続行」→新しいパスワードを再入力→「OK」→「OK」

■ **自動的におサイフケータイ ロックをかける場合**

①「ロック設定」

②「タイマーロック設定」→パスワードを入力→「続行」

③「自動ロックを有効にする」にチェックを付ける→「タイマー設定」→ロックをかける時間を選択→「OK」→「OK」

■お知らせ

- おサイフケータイ®の機能をロック中に電池が切れると、ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にロックを解除してください。
- おサイフケータイ®の機能をロック中におサイフケータイ®のメニューをご利用になるには、パスワードの入力が必要になります。
- 本機を初期化しても、おサイフケータイ®のパスワードは初期化されません。

遠隔ロックを設定する

指定した電話番号から不在着信を複数回受けることで、遠隔操作でおサイフケータイ ロックをかけることができます。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」→「遠隔ロック設定」→パスワードを入力→「続行」

3 「遠隔ロック設定を有効にする」にチェックを付ける

4 「監視時間」→不在着信をカウントする時間を選択

5 「不在着信回数」→不在着信の回数を選択

6 「ロック電話番号1」／「ロック電話番号2」→電話番号を入力→「OK」

- アイコンをタップすると、連絡先から電話番号を選択できます。
- 公衆電話からの不在着信を有効にする場合は、「公衆電話を利用する」にチェックを付けます。

7 「OK」→「OK」

■お知らせ

- 発信者番号が通知されない場合や設定した電話番号で着信しなかった場合、遠隔ロックをかけることができません。
- 電源が切れていたり電波の届かない場所にいるときなど、着信が受けられない状態では、遠隔ロックをかけることができませんのでご注意ください。

電卓

四則演算（+、−、×、÷）や関数計算などができます。電卓画面でキー部分を左／右にスワイプすると、関数機能／標準機能を切り替えられます。

1 **ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「電卓」**

電卓画面が表示されます。

2 **キーをタップして計算**

■お知らせ

- 電卓画面で☰→「関数機能」／「標準機能」をタップしても、電卓画面を切り替えられます。
- 本機を横向きにすると、電卓画面が横画面で表示されます。縦画面と横画面とで利用できるキーは異なります。
- 電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字のカット／コピーができます。他のアプリケーションに貼り付けて利用できます。

カレンダー

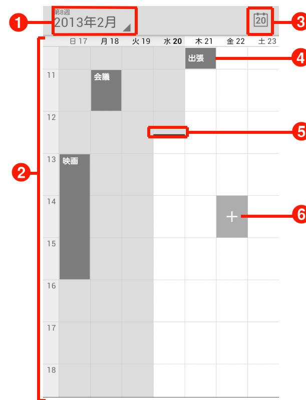
カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本機のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます（➡P.107）。

- ここでは、「カレンダー」アプリケーションからカレンダーを利用するときの操作を説明します。

カレンダーを表示する

1 **ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「カレンダー」**

- 初回利用時は、カレンダー画面（月表示）が表示されます。



カレンダー画面（週表示）

❶ 表示切替アイコン

タップすると、日表示／週表示／月表示／予定リストに切り替えられます。

❷ カレンダー

日表示／週表示／月表示の場合に表示されます。

- 日表示／週表示の場合は、現在の日時を過ぎたエリアは背景がグレーで表示されます。
- 月表示の場合は、当月の背景がグレーで、当日の背景が白色で表示されます。

❸ 当日アイコン

タップすると、当日を含む表示に切り替わります。

❹ 予定

登録した予定が表示されます。

❺ 現在日時表示

現在の日時を示します。

- 日表示／週表示の場合は、現在日時の位置に表示されます。
- 予定リストの場合は、「タップしてXXXX/XX/XXより前の予定を表示」に表示されている当日以前の予定と、当日以後の予定の間に表示されます。現在日時を経過した予定の背景はグレーで表示されます。

❻ 予定作成アイコン

週表示の場合に、カレンダーをタップすると表示されます。

- 日表示の場合は、カレンダーをタップすると「新しい予定を追加」と表示されます。

カレンダー画面のメニュー

カレンダー画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
検索	予定を検索します。
予定を作成	予定を作成します（➡P.198）。
移動	入力した日を含む表示に切り替わります。
更新	予定の同期を手動で行います。
予定のインポート	予定のデータをカレンダーにインポートします。
予定のエクスポート	予定のデータをカレンダーからエクスポートします。
表示するカレンダー	予定の同期／表示を設定します。
設定	カレンダーの設定を変更します（➡P.200）。

カレンダーの予定を作成する

1 **カレンダー画面（週表示）で予定を登録するエリアをタップ→＋**

予定作成画面が表示されます。

■ カレンダー画面（日表示）で作成する場合

① 予定を登録するエリアをタップ→「新しい予定を追加」

■ カレンダー画面（月表示）で作成する場合

① 予定を登録する日をタップ→予定を登録するエリアをタップ→「新しい予定を追加」

2 必要な項目を設定

- 画面上部の「電話」をタップすると、アカウントを切り替えることができます。
- アカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
説明	予定の説明を入力します。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
通知	予定の通知を設定します（➡P.200）。 •「通知を追加」をタップすると、通知の設定を追加できます。

3 「保存」

予定を確認／編集／削除する

1 カレンダー画面で予定をタップ

予定詳細画面が表示されます。

■ 予定を編集する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「一連の定期的な予定すべてを変更する」をタップします。

② 予定を編集→「保存」

■ 予定を削除する場合

①

- 繰り返しを設定している予定の場合は、「これ以降の予定」／「すべての予定」をタップします。

② 「OK」

■ お知らせ

- 予定詳細画面で→「予定の送信」をタップすると、予定をBluetooth®やメールなどを使って共有できます。

予定の通知を確認する

予定の通知を設定した場合、設定した時刻になると、ステータスバーに[1]が表示されます。

1 通知パネルを開く

2 確認する通知をタップ

予定詳細画面が表示されます。

■お知らせ

- 「ポップアップ通知」(➡P.201)にチェックを付けた場合は、通知日時になるとカレンダーの通知画面が表示され、通知を確認/消去できます。

カレンダーを設定する

1 カレンダー画面で[≡]→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
週番号を表示	カレンダー画面(月表示)の左側に、第何週かを表示するかどうかを設定します。
週の開始日	週の開始日として表示する曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	タイムゾーンの異なる地域へ移動している間も、設定した自国タイムゾーンのままで表示するかどうかを設定します。
自国のタイムゾーン	自国タイムゾーンを選択します。
検索履歴を消去	予定の検索履歴を消去します。
通知	予定の通知を行うかどうかを設定します。
着信音の選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーションを設定します。

項目	説明
ポップアップ通知	予定の通知日時になると、カレンダーの通知画面を表示するかどうかを設定します。
通知時間の設定	予定の通知時間の初期値を設定します。
クイック返信	クイック返信を編集します。

時計

アラームを設定したり、世界各地の時刻を表示したり、ストップウォッチやタイマーを利用できます。

アラームを設定する

1 **ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「時計」→「アラーム」タブをタップ**

アラーム一覧画面が表示されます。

2 

3 **必要な項目を設定**

項目	説明
アラーム	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しを設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
音量	アラーム音量を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル	アラーム動作時に表示するメッセージを入力します。

4 「完了」

アラーム一覧画面に、設定したアラームが追加されます。ステータスバーに（ステータスアイコン）が表示されます。

■ お知らせ

- アラーム一覧画面で各アラームの／をタップすると、アラームのON／OFFを設定できます。

アラームが鳴ったときは

アラーム画面が表示されます。「5分間スヌーズ」をタップすると、アラームを停止し、後で再度アラームが鳴るように設定します。「閉じる」を右にスライドすると、アラームの設定を解除します。

■ お知らせ

- アラームが鳴ったときに、（音量上キー）／（音量下キー）を押してもスヌーズまたはアラームの解除ができるように設定できます（P.202）。
- スヌーズ設定中は、ステータスバーに（通知アイコン）が表示されます。
- 本機の電源が切れた状態ではアラームは動作しません。

アラームの設定を変更／削除する

1 アラーム一覧画面で変更／削除するアラームをロングタッチ

2 「アラームを編集」／「アラームを削除」

■ アラームの設定を変更する場合

① 設定を変更→「完了」

■ アラームを削除する場合

①「OK」

アラームの基本設定をする

1 アラーム一覧画面で→「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中のアラーム	マナーモード設定中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
スヌーズ設定	スヌーズの間隔や、アラームを自動消音する前のスヌーズの回数を設定します。
音量ボタン	アラームが鳴っているときに（音量上キー）／（音量下キー）を押した場合の動作を設定します。

世界の時刻を表示する

1 ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「時計」→「世界の時刻」タブをタップ

2 ＋

3 追加する都市を選択

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「時計」→「ストップウォッチ」タブをタップ

2 「開始」

測定が開始されます。

- ラップタイムを計測する場合は「ラップ」をタップします。

3 「停止」

- 測定を再開する場合は「開始」、測定をやり直す場合は「リセット」をタップします。

タイマーを利用する

1 ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「時計」→「タイマー」タブをタップ

2 タイマー時間を設定

3 「開始」

タイマーが開始されます。

- タイマーを一時停止する場合は「一時停止」、一時停止から再開する場合は「続行」をタップします。
- やり直す場合は「リセット」をタップします。

■お知らせ

- タイマーのアラームを止めるには、「閉じる」をタップします。

音声レコーダー

自分の声などを録音できます。

音声を録音する

1 **ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「音声レコーダー」**

音声レコーダー画面が表示されます。

2

録音が開始されます。

- 録音を一時停止するには 、録音を再開するには をタップします。
- 録音をキャンセルするには をタップします。

3 **録音が終了したら**

■お知らせ

- 音声レコーダー画面で をを右にスライドするとモノラルモード、 を左にスライドするとステレオモードに設定できます。

録音ファイルを再生する

1 **音声レコーダー画面で**

録音ファイル一覧画面が表示されます。

■ 音声を削除する場合

① →削除する録音ファイルにチェックを付ける→「削除」→「OK」

2 **再生する録音ファイルをタップ**

■お知らせ

- 録音ファイル一覧画面で をタップすると、録音ファイルをBluetooth®やメールなどを使って共有できます。

天気

現在地を含めて10件の都市の天気情報を表示できます。

- 現在地の天気情報は、初期設定でGoogle位置情報サービスの利用を許可するか、ホーム画面で「設定」→「位置情報サービス」→「Googleの位置情報サービス」にチェックを付けると取得できます。

1 ホーム画面で「アクセサリ」フォルダ→「天気」

天気画面が表示されます。

- 位置情報についての同意画面が表示された場合は、「許可」または「禁止」をタップしてください。
- 左／右にスワイプすると、他の都市に切り替わります。
- をタップすると最新の天気情報に更新されます。

■お知らせ

- 天気画面で→／をタップすると、都市の追加／削除ができます。
- 天気画面で→をタップすると、ホームとする都市を変更できます。
- 天気画面で→をタップすると、天気情報の更新間隔などを設定できます。
- 天気情報は米国 AccuWeather 社提供のデータを基に表示しています。

ファイルマネージャー

内部ストレージ内のファイルやフォルダを管理します。

ファイルを確認する

1 ホーム画面で「ツール」フォルダ→「ファイルマネージャー」

フォルダ一覧画面が表示されます。

- をタップすると、カテゴリ一覧画面が表示されます。カテゴリ一覧画面でをタップすると、フォルダ一覧画面に戻ります。

2 フォルダをタップ

ファイル一覧画面が表示されます。

3 ファイルをタップ

- ファイルを再生するアプリケーションが起動し、ファイルを確認できます。ファイルによっては、本機で再生できない場合があります。

■お知らせ

- フォルダ一覧画面で→「検索」をタップするか、カテゴリ一覧画面でをタップして文字列を入力すると、内部ストレージ内のフォルダやファイルを検索できます。
- フォルダ一覧画面／カテゴリ一覧画面で→「ストレージ」をタップすると、内部ストレージ内の空き容量などを確認できます。

ファイルを管理する

フォルダやファイルを移動／コピー／削除する

1 フォルダ一覧画面／ファイル一覧画面で［切り取りアイコン］／［コピーアイコン］／［削除アイコン］をタップ

2 移動／コピー／削除するフォルダやファイルを選択

- 「全て選択」／「選択を全て解除」をタップすると、すべてのフォルダやファイルを選択／選択解除できます。

3 「カット」／「コピー」

■ フォルダやファイルを削除する場合

①「削除」→「OK」

4 移動先／コピー先を表示→「ペースト」

■ お知らせ

- フォルダやファイルをロングタッチ→「カット」／「コピー」／「削除」をタップしても、移動／コピー／削除ができます。

フォルダやファイルの名前を変更する

1 フォルダやファイルをロングタッチ

2 「名前の変更」→名前を入力→「OK」

新規フォルダを作成する

1 フォルダ一覧画面／ファイル一覧画面で［メニューアイコン］→「新規フォルダ」

2 名前を入力→「保存」

■ お知らせ

- カテゴリ一覧画面の場合は、カテゴリ内にフォルダを作成できません。

フォルダやファイルをブックマークに追加する

1 フォルダ一覧画面／ファイル一覧画面でブックマークに追加するフォルダやファイルをロングタッチ

2 「ブックマークの追加」

フォルダやファイルがカテゴリ一覧画面の「ブックマーク」内に表示されます。

■お知らせ

- ブックマークを削除するには、カテゴリー覧画面で「ブックマーク」→フォルダやファイルをロングタッチ→「OK」をタップします。

アプリケーションを管理する

1 **カテゴリー覧画面で「アプリ」→「インストール済」／「アプリストア」**

- 「未インストール」内のアプリケーションは、管理操作ができません。

2 **アプリケーションをタップ→「開く」／「コピー先」／「共有」／「カテゴリに追加」／「アンインストール」**

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、カテゴリー覧画面には表示されません。

ノート

覚え書きなどを入力してノートとして保存できます。

ノートを作成する

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「ノート」**

ノート一覧画面が表示されます。

2 **＋**

ノート作成画面が表示されます。

- ノートが1件も登録されていない場合は、「ノートの追加」をタップするとノート作成画面が表示されます。

3 **内容を入力→**

ノートが保存されます。

■お知らせ

- ノート一覧画面でノートをロングタッチすると、ノートの確認やコピー、削除ができます。
- ノートをまとめて削除するには、ノート一覧画面で→削除するノートにチェックを付ける→「削除」→「OK」をタップします。

ノートを確認／編集する

1 **ノート一覧画面で確認／編集するノートをタップ**

ノート詳細画面が表示されます。

■ **ノートの内容を編集する場合**

① ノート詳細画面をタップ

② ノートを編集→

■ **ノートのタイトルを編集する場合**

① ノートのタイトルをタップ

② タイトルを入力→「OK」

Polaris Office

Polaris Officeを利用して、Office文書の表示や編集、新規作成ができます。対応しているファイルの種類とバージョンは以下のとおりです。

種類	バージョン	拡張子
Microsoft Word	Word 97、2000、2003、2007、2010	txt、doc、docx、dot※1、dotx※1
Microsoft Excel	Excel 97、2000、2003、2007、2010	xls、xlsx、xlt※1、xltx※1
Microsoft PowerPoint	PowerPoint 97、2000、2003、2007、2010	ppt、pptx、pot※1、potx※1、pps※1、2、ppsx※1、2
Adobe Acrobat	Acrobat 1.0～9.0（PDFバージョン 1.0～1.7）	pdf※1、2

※1：新規作成はできません。

※2：編集はできません。

1 **ホーム画面で「ツール」フォルダ→「Polaris Office」**

Polaris Office画面が表示されます。

- 「マイドキュメント」「最近使用したファイル」「お気に入り」の各フォルダが用意されています。

■お知らせ

- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- 対応しているファイルの種類やバージョンでも、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。
- ドキュメントによっては、パソコンなどで表示した内容と異なる場合があります。
- Polaris Office画面で☰→「設定」をタップすると、バックアップファイルの生成や拡張子の表示、アプリケーションのアップデートなどができます。
- Polaris Office画面でフォルダやファイルをロングタッチすると、お気に入りへの追加やファイルの移動／コピー／削除、フォルダ名／ファイル名の変更などができます。

ドキュメントを新規作成する

1 **Polaris Office画面で☰→「新規」→ドキュメントの種類を選択**

編集モードのドキュメント画面が表示されます。

2 **ドキュメントを入力→☰→「保存」**

3 **ファイル名を入力→「保存場所」欄をタップ→保存場所を選択→「選択」**

4 **「保存」**

ドキュメントが保存され、編集モードのドキュメント画面が表示されます。↩をタップするとPolaris Office画面に戻ります。

■お知らせ

- 編集モードのドキュメント画面で☰をタップすると、読み取りモードのドキュメント画面への切り替えや表示の変更、画像の挿入、スタイルの変更などができます。

ドキュメントを表示／編集する

1 **Polaris Office画面でフォルダをタップ→表示／編集するドキュメントをタップ**

読み取りモードのドキュメント画面が表示されます。

■ 保存した文書を編集する場合

① ☰→「編集モード」

■お知らせ

- 読み取りモードのドキュメント画面で☰をタップすると、表示の拡大／縮小やページの切り替え、ドキュメントの検索などができます。

Google Play™の利用

Google Play™で公開されているアプリケーションを本機にインストールして利用できます。

- Google Play™を利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」(➡P.99)を行ってください。
- Google Play™では、本機で動作しない仕様のアプリケーションについてはダウンロードできない場合があります。
- アプリケーションの自動アップデートにより、表示や操作方法が変更されることがあります。
- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任で行ってください。
- 万が一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- 本機や内蔵電池に負荷をかけるアプリケーションをご使用になりますと、内蔵電池の寿命を縮めたり故障の原因になったりすることがありますので、ご注意ください。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。
- アプリケーションによっては、本機で正常に動作しない場合があります。
- アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- 有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、ホーム画面で「Playストア」→☰→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 「アプリ」→インストールするアプリケーションをタップ→内容を確認

- 画面を左右にスワイプ/スライドすると、「カテゴリ」「おすすめ」「人気(有料)」などの画面に切り替えることができます。

3 「インストール」/金額表示欄をタップ→内容を確認

アプリケーションの詳細画面が表示されます。

- アプリケーションによっては、ボタンの表示が異なる場合があります。

4 画面の指示に従ってダウンロード

インストールが完了すると、ステータスバーに▶が表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。ダウンロードすると、本機でこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- インストールしたアプリケーションは、ホーム画面に追加されます。

■お知らせ

- Google Play™の詳細については、ホーム画面で「Playストア」→[メニュー]→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。
- ホーム画面にアプリケーションアイコンを配置する場所がない場合、自動的にフォルダが作成され、フォルダ内にインストールしたアプリケーションアイコンが追加されます。
- ホーム画面およびすべてのフォルダにアプリケーションアイコンを配置する場所がない場合、インストールしたアプリケーションはホーム画面に表示されません。アプリケーションを起動するには、「検索」アプリケーションまたは「Google」アプリケーションを利用して検索を行ってください。

アプリケーションを更新／削除する

1 ホーム画面で「Playストア」

2 [メニュー]→「マイアプリ」

3 更新／削除するアプリケーションをタップ

4 アプリケーションを更新／削除

■ 更新する場合

①「更新」→画面の指示に従って更新

■ 削除する場合

①「アンインストール」→「OK」

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、一部を除きアンインストールできません。

Playブックス

Google Play™の電子書籍サービスを利用できます。

- Playブックスを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。
  Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）を行ってください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Playブックス」

Playブックスの画面が表示されます。

■ お知らせ

- Playブックスの詳細については、Playブックスの画面で☰→「ヘルプ」→「ヘルプセンター」をタップして、ヘルプをご確認ください。

Playムービー

Google Play™の映画レンタルサービスを利用できます。

- Playムービーを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。
  Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（➡P.99）を行ってください。

1 ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「Playムービー」

Playムービーの画面が表示されます。

- ホーム画面で「Playストア」→「映画」をタップすると、映画の検索などができます。
- Googleアカウントの選択画面が表示された場合は、利用するGoogleアカウントをタップしてください。

2 「映画」タブをタップ

おすすめの映画一覧が表示されます。

- ▶をタップするとGoogle Play™に接続して、映画の検索などができます。
- 「個人の動画」タブをタップすると、内部ストレージに保存されている動画の一覧が表示されます。

3 視聴する映画をタップ→画面の指示に従って操作

■お知らせ

- Playムービーの詳細については、Playムービーの画面で[メニュー]→「ヘルプ」をタップして、ヘルプをご確認ください。

YouTube

YouTubeは、オンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりできます。

動画を再生する

1 **ホーム画面で「Google Apps」フォルダ→「YouTube」**

YouTubeのホーム画面が表示されます。

2 **再生する動画をタップ**

動画再生画面が表示されます。

- 動画再生画面をタップすると停止/再生します。

■お知らせ

- 本機を横向きにすると、動画が全画面で横向きに表示されます。
- 本機で利用できる機能はパソコン版のYouTubeと異なる場合があります。

YouTubeのホーム画面／動画再生画面のメニュー

YouTubeのホーム画面／動画再生画面で≡をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
追加先※1	動画をお気に入りなどに登録します。
共有※1	動画をBluetooth®やメールなどを使って共有します。 • 再生する動画によっては、この項目は表示されません。
高く評価※1、2	動画の評価を「高く評価」にします。
低く評価※1、2	動画の評価を「低く評価」にします。
URLをコピー※1、2	動画のURLをコピーします。
不適切な動画として報告※1、2	不適切な動画としてYouTubeに報告します。
YouTube TVとペア設定	パソコンやテレビなどと接続して他の画面で再生できるように設定します。

項目		説明
設定	**全般**	**端末で高画質動画を表示**：常に高画質の動画を表示するかどうかを設定します。 **字幕のサイズ**：字幕の文字サイズを設定します。 **アップロード**：動画のアップロード時に使用するネットワークを設定します。 **コンテンツのローカライズ**：チャンネルや動画を優先する国／地域を設定します。 **YouTubeの機能改善**：使用状況データをYouTubeに送信するかどうかを設定します。
	チャンネルフィードコンテンツ	チャンネルのフィードに表示するコンテンツを設定します。
	検索	**検索履歴を消去**：検索ボックスでの検索履歴を消去します。 **履歴を保存しない**：検索履歴を保存しないようにするかどうかを設定します。 **セーフサーチフィルタ**：制限付きコンテンツを含む動画が検索結果に表示されないように設定します。
	プリロード	プリロードを設定します。
	YouTubeについて	利用規約やプライバシーポリシーなどを表示します。

項目	説明
ご意見ご感想	**ご意見・ご感想**：YouTubeのアンケートに記入します。 **問題を報告**：YouTubeのフィードバックフォームに記入します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
ログイン※3**／ログアウト**※3	YouTubeにログイン／ログアウトします。

※1：動画再生画面（縦画面）で表示されます。
※2：動画再生画面（横画面）で表示されます。
※3：YouTubeのホーム画面で表示されます。

動画を投稿する

本機からYouTubeに動画を投稿します。

- YouTubeに動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 YouTubeのホーム画面で使用するアカウントをタップ

- YouTubeのホーム画面が表示されない場合は、画面上部の YouTube をタップします。

2 →アプリケーションをタップ

3 投稿する動画を選択

- アップロードの確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

4 必要な項目を入力／設定→

アップロードを開始します。

- 通知パネルを開いて、アップロードの状況を確認できます。

その他のアプリケーション

アプリケーション	説明
システム更新	本機のソフトウェアの更新が必要かどうかを確認できます（P.244）。
取扱説明書	本機の取扱説明書（PDF版）を確認できます。
おサイフケータイ ロック解除	おサイフケータイ®の機能がロックされているかどうかを確認できます。ロックされている場合は、ロックを解除できます。
アプリ	イー・モバイルのホームページから、オススメのアプリケーションを紹介します。
EMホーム	ブラウザを起動してイー・モバイルのホームページを表示します。
懐中電灯	本機のフラッシュを利用して、懐中電灯として利用できます。
ダウンロード	ブラウザやメールなどから本機に保存したデータを確認できます。
emobileメール	メールアドレスとパスワードを設定して、emobileメールを利用できるようにするアプリケーションをインストールします。
FSKAREN	FSKARENの学習情報や設定をリセットできます。
Y! ブラウザー	Yahoo! ブラウザーでウェブページを閲覧できます。

アプリケーション	説明
Yahoo! JAPANウィジェット	Yahoo! JAPANウィジェットの設置ガイドを確認できます。
GREE	ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「GREE」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。
Mobage Web	ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「mobage」（モバゲー）のウェブサイトにアクセスします。
Riptide GP	水上バイクのレースゲームをプレイできます。
Amazon	Amazon.co.jpで買い物ができます。
HMV ONLINE	HMV ONLINEサイトにアクセスし、CDやDVDなどの情報確認や、購入などができます。
Y! ショッピング	Y! ショッピングで買い物ができます。
ヤフオク	Y! オークションで買い物や出品などができます。
楽天gateway	楽天gatewayで買い物やオークションなどができます。
楽天Edy	電子マネー「楽天Edy」を利用できます。
BookLive!Reader for Partners	BookLive!の電子書籍サービスを利用できます。
Y! ブックストア	Y! ブックストアで電子書籍サービスを利用できます。

アプリケーション	説明
DVD/CDレンタル for EMOBILE	TSUTAYA DISCASサイトにアクセスし、CDやDVDなどの宅配レンタルなどのサービスを利用できます。
HOT PEPPER	HOT PEPPERグルメサイトにアクセスし、クーポンの入手などができます。
SUUMO WEB	不動産・住宅に関する総合情報サイトSUUMOにアクセスします。
カーセンサー	中古車情報サイト「カーセンサー net」にアクセスします。
じゃらんnet	宿泊先の情報確認や予約などができます。
ヘア&ネイルサロン	HOT PEPPER Beautyサイトにアクセスし、美容院・美容室などの検索や予約ができます。
リクナビNEXT	リクナビNEXTサイトにアクセスし、求人情報などを確認できます。

■お知らせ

- アプリケーションやサービスによっては、個人情報の登録や料金の支払いが必要になる場合があります。ご利用になる場合は、各アプリケーションの注意事項をよくご確認ください。

アプリケーションの管理

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

サードパーティのアプリケーションなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。

- 提供元が不明なアプリケーションをインストールする際は、セキュリティについて十分にご注意ください。

1 ホーム画面で「設定」

2 「セキュリティ」

3 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける

4 注意内容を確認→「OK」

アプリケーションを確認/操作する

本機にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 ホーム画面で「設定」

2 「アプリを管理」

3 確認するタブをタップ

- 「ダウンロード済み」／「すべて」タブ画面で☰→「サイズ順に表示する」／「名前順に表示する」をタップすると、表示順を変更できます。

4 アプリケーションをタップ

- アプリケーション情報を確認したり、画面に表示されている項目をタップして操作を実行したりできます。

お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、一部を除きアンインストールできません。
- 更新したアプリケーションは、「アップデートのアンインストール」をタップすると、お買い上げ時の状態に戻ります。アプリケーションによっては、「アップデートのアンインストール」をタップすると「アンインストール」が「無効にする」に変更されます。アンインストールする場合は、「データの初期化」（➡P.231）を行う必要があります。
- アプリケーションを無効にすると、使用できなくなります。再度使用する場合は「有効にする」をタップしてください。

16 セキュリティ

EM chip＜micro＞ロックを設定する

EM chip＜micro＞が不正に使用されることを防ぐため、電源を入れたときなどにPINを入力して認証するかどうかを設定できます。設定すると、電源を入れたときなどにPINの入力画面が表示されます。

- PINの入力を続けて3回間違えた場合は、PINがロックされ使用できなくなります（PINロック状態）ので、設定したPINは必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- PINコードについては、「PINコード」（➡P.34）をご参照ください。
- お買い上げ時、PINコードは「9999」に設定されています。

1 ホーム画面で「設定」

2 「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」

■ 設定を解除する場合

①「SIMカードをロック」

② PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

- PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1 ホーム画面で「設定」

2 「セキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」

4 新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再入力→「OK」

画面ロック

ディスプレイが消灯して本機を操作できなくなるように画面ロックを設定します。また、画面ロックの解除セキュリティを設定できます。

画面ロックを設定する

1 **本機起動中に▭（電源キー）**

画面ロックがかかり、ディスプレイが消灯します。

■ 画面ロックを解除する場合

▭（電源キー）を押してディスプレイを点灯させます。

- お買い上げ時は、画面ロックの解除セキュリティが「2Dロック解除」に設定されています。を下方向に表示されるの位置までドラッグして、ロックを解除してください。
また、を上方向、左方向、右方向にドラッグすると、円の外にあるショートカットに対応したアプリケーションを起動できます。
- 画面ロックの解除セキュリティを「ロックなし」「2Dロック解除」以外に設定している場合は、設定中の解除方法でロックを解除してください（➡P.221）。

■お知らせ

- 何も操作しない状態で設定した時間（➡P.57）が経過すると、ディスプレイが消灯し、画面ロックがかかります。
- 画面ロック中に電話がかかってきた場合は、を右にドラッグして電話を受けることができます。
- 画面ロック中でも、電源を切ったり再起動したり（➡P.37）、マナーモード（➡P.54）や機内モードの設定（➡P.55）はできます。

画面ロックの解除セキュリティを設定する

画面ロックを解除するときに、アイコンをドラッグするか、顔認証やパターン／暗証番号／パスワードの入力による認証を行わないと、本機を使用できないように設定します。

1 **ホーム画面で「設定」**

2 **「セキュリティ」→「画面のロック」**

- 画面ロックの解除セキュリティを「ロックなし」「2Dロック解除」以外に設定している場合は、設定中の解除方法を入力してください。

3 **項目を設定**

項目	説明
ロックなし	画面ロックの解除セキュリティを無効に設定します。
2Dロック解除	を下方向に表示されるの位置までドラッグして画面ロックを解除するように設定します。

項目	説明
フェイスアンロック	顔認証によって画面ロックを解除するように設定します。 • 画面の指示に従って顔を撮影してください。
パターン	パターンの入力で画面ロックを解除するように設定します。 • 画面の指示に従ってパターンを設定してください。
暗証番号	暗証番号の入力で画面ロックを解除するように設定します。 • 画面の指示に従って暗証番号を設定してください。
パスワード	パスワードの入力で画面ロックを解除するように設定します。 • 画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

■お知らせ

- パターン／暗証番号／パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。
- 「暗証番号」は4～16桁の数字、「パスワード」は4～16桁の英文字または数字（英字が最低1文字必要）で設定できます。
- 「2Dロック解除」に設定した場合、画面ロック解除画面で表示されるショートカットを設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「ショートカット設定」→変更するアイコンをタップ→アプリケーションをタップします。
- 「フェイスアンロック」に設定した場合、顔を撮影し直すことができます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「顔認識の精度を改善」→画面の指示に従って顔を撮影します。
- 「フェイスアンロック」に設定した場合、ロック解除時にまばたきが必要かどうかを設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「生体検知」にチェックを付けます。
- 「パターン」に設定した場合、画面ロックを解除するときに指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「パターンを表示する」にチェックを付けます。
- 「ロックなし」「2Dロック解除」以外に設定した場合、ディスプレイが消灯してから画面ロックがかかるまでの時間を設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「自動ロック」→時間をタップします。
- 「パターン」「暗証番号」に設定した場合、画面ロック解除の入力時にバイブレーション動作をするかどうかを設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「タッチ操作バイブ」にチェックを付けます。
- 「ロックなし」以外に設定した場合、画面ロックの解除画面で所有者情報を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で「設定」→「セキュリティ」→「所有者情報」→「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを付け、所有者情報を入力します。
- 「ロックなし」「2Dロック解除」以外に設定した場合、「データの初期化」（➡P.231）を行うときに、設定中の解除方法の入力が必要になります。

各種設定

17

設定メニューについて

本機は、設定メニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本機の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

1 ホーム画面で「設定」

- 「すべて」タブをタップすると、設定内容の種類ごとに設定メニューが表示されます。
- 「ベーシック」タブをタップすると、主な設定メニューが表示されます。

無線とネットワーク

ネットワーク接続やWi-Fi、Bluetooth®などの無線接続についての設定をします。

項目		説明
機内モード		「機内モードを設定する」（➡P.55）
Wi-Fi		「Wi-Fi機能の利用」（➡P.158）
Bluetooth		「Bluetooth®機能の利用」（➡P.161）
モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	モバイルネットワーク経由のデータ通信を有効にするかどうかを設定します。
	データローミング	「国際ローミング中にデータ通信を使用できるようにする」（➡P.148）
	ネットワークモード	「ネットワークの種類を設定する」（➡P.236）
	アクセスポイント名	「LTE／3Gパケット通信を使って接続する」（➡P.146）
	ネットワークオペレーター	「接続する通信事業者を設定する」（➡P.236）
その他...		「その他...」（➡P.225）

その他...

VPNやテザリングなどの設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「その他...」

項目		説明
データ使用	データ通信を有効にする	データ通信を有効にするかどうかを設定します。
	モバイルデータ制限を設定	データ通信の使用量を制限するかどうかを設定します。 • グラフの赤色の横棒をドラッグするかタップすると、データ使用量の上限を設定できます。 • グラフのオレンジ色の横棒をドラッグするかタップすると、警告を通知する容量を設定できます。 • グラフの白色の縦棒をドラッグすると、選択した期間内にデータ通信を行ったアプリケーションとデータ使用量が表示されます。
	データ使用期間	データ使用量のリセット日を設定します。 • 「データ使用期間」欄をタップ→「データ使用期間の変更」→リセット日を選択→「設定」をタップすると、リセット日が設定され、データ使用期間が変更されます。 • リセット後も一ヵ月前までのデータ使用量が表示できます。
テザリングとPocket WiFi	USBテザリング	「USBテザリングを利用する」(P.165)
	Pocket WiFi	「Pocket WiFi(Wi-Fiテザリング)を利用する」(P.164)
	Pocket WiFi設定	「ネットワークSSIDおよびセキュリティ(パスワード)を確認する」(P.165)
	Bluetoothテザリング	「Bluetooth®テザリングを利用する」(P.166)
VPN		「VPNに接続する」(P.148)

端末

音

着信音や通知音、マナーモードなどの設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「音」

項目	説明
音量	「音量を調節する」（➡P.56）
バイブレーション	「バイブレーションを設定する」（➡P.56）
マナーモード	「マナーモードを設定する」（➡P.54）
着信音	「着信音／通知音を設定する」（➡P.55）
通知音	「着信音／通知音を設定する」（➡P.55）
Dolbyデジタルプラス設定	ドルビー機能を設定します。
ダイヤルパッドのタッチ操作音	電話番号を入力するときの音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	アプリケーションアイコンやメニューなどを選択したときの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時の通知音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	⌂／☰／↩などをタップしたり、特定の操作をしたりした場合にバイブレーション動作をさせるかどうかを設定します。

表示

ディスプレイの明るさや自動回転、消灯時間などの設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「表示」

項目	説明
色温度	色温度を設定します。
画面の明るさ	「画面の明るさの調整」（➡P.56）
壁紙	「壁紙を変更する」（➡P.47）
画面の自動回転	本機の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • 一部のアプリケーションでは、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向が切り替わります。
自動省電力	本機の状態に合わせて自動で省電力モードに切り替えるかどうかを設定します。
スリープ	「ディスプレイの消灯時間を設定する」（➡P.57）

項目	説明
フォントサイズ	文字サイズを設定します。

ストレージ

内部ストレージのメモリ容量や、本機に取り付けられているUSBストレージのメモリ容量の確認などを行います。

1 ホーム画面で「設定」

2 「ストレージ」

項目		説明
端末ストレージ		本端末のメモリ（ROM）の合計容量を表示します。
内部ストレージ	合計容量	内部ストレージのメモリの容量を表示します。
	空き容量	内部ストレージのメモリの空き容量を表示します。
	内部ストレージの消去	内部ストレージ内のデータを消去します。
USBストレージ	合計容量	USBストレージのメモリの容量を表示します。
	空き容量	USBストレージのメモリの空き容量を表示します。
	“USBストレージのマウントを解除”／USBストレージをマウント	「USBストレージのマウントを解除する」（➡P.168）
	USBストレージ内データの消去	「USBストレージをフォーマットする」（➡P.169）

■お知らせ

- 本機内のメモリの空き容量が10%以下になると、本機の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

電池

内蔵電池の使用状況を表示します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「電池」

アプリ

アプリケーションのインストールや使用状況の表示・管理をしたり、主なアプリケーションの設定をします。

項目	説明
アプリを管理	「アプリケーションを確認／操作する」（P.217）
通話	「電話」アプリケーションの設定をします（P.75）。
その他...	Eメールのアカウントを追加したり、設定を変更します。

ユーザー設定

位置情報サービス

位置情報についての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「位置情報サービス」

項目	説明
現在地情報にアクセス	「位置情報を有効にする」（➡P.151）
GPS衛星	「位置情報を有効にする」（➡P.151）
Googleの位置情報サービス	「位置情報を有効にする」（➡P.151）

セキュリティ

セキュリティについての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「セキュリティ」

項目	説明
画面のロック	「画面ロックの解除セキュリティを設定する」（➡P.221）
ショートカット設定	画面ロック解除画面に表示されるショートカットを変更します。 • 画面ロックの解除セキュリティを「2Dロック解除」に設定した場合のみ表示されます。
所有者情報	画面ロック解除画面で所有者情報を表示するかどうかを設定します。
SIMカードロック設定	「EM chip＜micro＞ロックを設定する」（➡P.220）
パスワードを表示する	パスワード入力時に、文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	端末管理者を表示したり無効にします。
提供元不明のアプリ	「提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する」（➡P.217）
信頼できる認証情報	信頼できる証明書を表示します。
ストレージからのインストール	暗号化された証明書をUSBストレージからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去します。

言語と文字入力

本機で使用する言語や文字入力時のキーボードなどの設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「言語と文字入力」

項目	説明
言語	本機の表示言語を設定します。
ユーザー辞書	単語をユーザー辞書に登録します。
デフォルト	「キーボードを変更する」(➡P.59)
Androidキーボード(AOSP)	「キーボードの設定を変更する」(➡P.70)
FSKAREN for Huawei	「キーボードの設定を変更する」(➡P.70)
Google音声入力	「キーボードの設定を変更する」(➡P.70)

項目		説明
音声検索	言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	音声出力	常に音声出力するか、ハンズフリーのときのみ音声出力するかを設定します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を表示するかどうかを設定します。
	オフライン音声認識のダウンロード	オフライン時に音声入力を利用できるように言語をインストールします。
テキスト読み上げの出力※	Pico TTS	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンについて設定します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音声のサンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
ポインタの速度		ポインタの速度を設定します。

※：2013年1月現在、日本語には未対応です。

バックアップとリセット

データなどのバックアップについての設定や本機のリセットを行います。

1 ホーム画面で「設定」

2 「バックアップとリセット」

項目	説明
データのバックアップ	Googleが提供する各種サービス、サードパーティのアプリケーションの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。バックアップ機能の詳細については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するかどうかを設定します。
データの初期化	本機に設定したGoogleアカウントや、ダウンロードしたアプリケーションなど本機内のデータを消去し、お買い上げ時の状態に戻します。 • 本機能を実行する前に、重要なデータはバックアップしてください。

アカウント

アカウントを追加・削除したり、同期の設定をします。

- 操作の詳細については、「アカウントを追加する」(➡P.107)、「アカウントを削除する」(➡P.108)、「アカウントと同期の設定をする」(➡P.107)をご参照ください。

システム

タッチパネル高感度モード

タッチパネルの感度についての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「タッチパネル高感度モード」

- [ON] 指先からの静電気量が弱い時、自動的にタッチパネルの感度を高めます。
- [OFF] タッチパネルの感度を一定に保ちます。

日付と時刻

日付と時刻についての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「日付と時刻」

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正するかどうかを設定します。 • LTE／3Gネットワークに接続していない場合、本機能を利用できないことがあります。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を元にして、自動的に設定するかどうかを設定します。
日付設定	年月日を設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	年月日の表示形式を切り替えます。

通知パネル

通知パネルについての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「通知パネル」

項目	説明
通知設定	通知パネルにショートカットボタンを表示するかどうかを設定します。
カスタム	通知パネルに表示するショートカットを設定します。

ユーザー補助

ユーザーの操作を補助するアプリケーションや機能についての設定をします。

1 ホーム画面で「設定」

2 「ユーザー補助」

項目	説明
大きい文字サイズ	大きい文字で表示するかどうかを設定します。
電源キーで通話を終了	（電源キー）を押して通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本機の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • 一部のアプリケーションでは、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向が切り替わります。
パスワードの音声出力	入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。 • ユーザー補助アプリケーションをインストールすると、本機能を使用できます。

項目		説明
テキスト読み上げの出力※	Pico TTS	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンについて設定します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音声のサンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
押し続ける時間		タッチパネルをロングタッチする時間を設定します。
ウェブスクリプトをインストール		アプリケーションからウェブコンテンツへのアクセスを簡単に行えるスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

※：2013年1月現在、日本語には未対応です。

■お知らせ

- お買い上げ時は、ユーザー補助アプリケーションがインストールされていません。インストールされていない場合は、操作2の後にその旨のメッセージが表示され、「OK」をタップするとGoogle Play™に接続します。

開発者向けオプション

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

端末情報

本機の電話番号や電池残量などのほか、本機についての情報を確認できます。

1 ホーム画面で「設定」

2 「端末情報」

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">システムアップデート</td><td>「手動でソフトウェアを確認／更新する」（➡P.244）</td></tr>
<tr><td colspan="2">モデル番号
CPU
RAM
端末ストレージ
解像度
Androidバージョン
Emotion UIバージョン
ベースバンドバージョン
カーネルバージョン
ビルド番号</td><td>本機のハードウェアやソフトウェア、およびAndroid OSについての情報などが表示されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">端末の状態</td><td>電池の状態や電池残量、電話番号などを表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">法的情報</td><td>オープンソースライセンス</td><td>オープンソースの使用許諾条件（英語）を確認します。</td></tr>
<tr><td>Google利用規約</td><td>Googleの利用規約を確認します。</td></tr>
</table>

項目	説明
認証	電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを示す技適マークを表示します。

海外利用 18

海外で利用する

国際ローミングの概要

国際ローミングは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、現在ご使用の携帯電話番号やメールアドレスを海外でもそのまま利用できるサービスです。
日本国内にいるときと同様に、電話、メール、SMS、インターネット、データ通信、留守番電話などが利用できます。国際ローミングを利用できる国や地域など、サービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

- LTEネットワークは日本国内のみのご利用となります。
- 滞在先で接続する通信事業者やネットワークによっては、利用できないサービスがあります。
- 別途、お申し込みの必要はありません。

ネットワークの種類を設定する

海外でGSMネットワーク対応の通信事業者と接続する場合などには、ネットワークの種類を変更します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

3 接続するネットワークの種類をタップ

■お知らせ

- お買い上げ時は、「LTE／WCDMA／GSM自動」に設定されています。日本国内や3Gネットワークの通信事業者のみの地域で本機を使用する場合は設定を変更する必要はありません。

接続する通信事業者を設定する

本機はお買い上げ時、自動的に滞在地域の適切な通信事業者（ネットワーク）に接続するように設定されています。手動で任意の通信事業者と接続する場合は、次の設定を行います。

1 ホーム画面で「設定」

2 「モバイルネットワーク」→「ネットワークオペレーター」

検索された通信事業者名の一覧が表示されます。

3 接続する通信事業者名をタップ

■ 自動的に適切な通信事業者に接続する場合

①「自動選択」

■ 滞在地域で利用可能なすべてのネットワークを検索する場合

①「ネットワークを検索」→接続する通信事業者名をタップ

海外で電話をかける

滞在国から日本や滞在国以外に電話をかける

- 市外局番が「0」で始まる場合、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国・地域を除く）。

1 **ホーム画面で**

2 **「+」（「0」をロングタッチ）-「国番号」-「相手先電話番号」を入力**

- 例えば、日本（国番号81）の携帯電話（080-＊＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、+81-80-＊＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

3

発信されます。相手が応答すると通話中画面が表示されます（P.78）。

4 **通話が終わったら**

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるときと同じ操作で電話をかけることができます（P.74）。

付録 19

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	• 電池切れになっていませんか？（➡P.35） • （電源キー）を2秒以上長押ししましたか？ • USBケーブルを本機とACアダプタに接続し、電池充電中の画面が表示されてから（電源キー）を2秒以上長押ししてください（➡P.35、P.36）。
充電できない	• 付属のACアダプタをご使用の場合、USBケーブルが本機とACアダプタにしっかりと接続されていることを確認してください（➡P.35）。 • ACアダプタのプラグがしっかりと家庭用コンセントに差し込まれていることを確認してください（➡P.35）。 • 本機およびACアダプタの端子が汚れていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布、綿棒などで拭いてください。 • 使用環境の温度が-10℃～40℃の範囲を超えると充電できない可能性があります。 • 内蔵電池の寿命、または内蔵電池の異常の可能性があります。
電源を入れたときに「SIMカードがありません」というメッセージが表示される	• EM chip＜micro＞が正しく本機に取り付けられていますか？（➡P.32） • 指定された正しいEM chip＜micro＞をお使いですか？ • EM chip＜micro＞のIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか？ 汚れたときは、乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
操作中に電源が切れる	• 本機の動作に負荷がかかった場合、電池を保護するため自動的に電源を切ります。USBケーブルを本機とACアダプタに接続し、電池充電中の画面が表示されてから（電源キー）を2秒以上長押ししてください（➡P.35、P.36）。

現象	確認すること／対処方法
電源を入れた後、通常の操作ができない	• 画面ロックがかかっていませんか？ （電源キー）を押してディスプレイを点灯させてください。 • 画面ロック解除画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「2Dロック解除」に設定されています。を下方向に表示されるの位置までドラッグして、ロックを解除してください。 • 顔認証画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「フェイスアンロック」に設定されています（P.221）。顔認証を行ってロックを解除してください。 • パターンの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「パターン」に設定されています（P.221）。パターンを入力してロックを解除してください。 • 暗証番号の入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「暗証番号」に設定されています（P.221）。暗証番号を入力してロックを解除してください。 • パスワードの入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除セキュリティが「パスワード」に設定されています（P.221）。パスワードを入力してロックを解除してください。 • ステータスバーにが表示されていませんか？ 電源を切り、EM chip＜micro＞が正しく取り付けられていることを確認してください（P.32）。

現象	確認すること／対処方法
電話がつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 • 電源を切り、EM chip<micro>が正しく取り付けられていることを確認してください（P.32）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.146、P.158、P.164）。 • 機内モードが設定されていませんか？ 機内モード設定中に（電源キー）を長押し→「機内モード」をタップして、設定を解除してください。
電話がかけられない	• 市外局番を含んだ電話番号全桁を入力してかけていますか？
電話が着信しない	• 転送電話（P.82）や留守番電話（P.83）を「常に転送」に設定していませんか？
メールが受信できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 • 電源を切り、EM chip<micro>が正しく取り付けられていることを確認してください（P.32）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.146、P.158、P.164）。
通話の途中に途切れたり、切れたりする	• ステータスバーにが表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
キーやディスプレイに触れても、何も反応しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ （電源キー）を押してディスプレイを点灯させてからロックを解除してください（P.221）。
電話を着信したとき、名前が表示されない	• 電話番号は連絡先に登録されていますか？ 連絡先を確認してください（P.89）。

現象	確認すること／対処方法
電話を着信したとき、画像および名前などの登録されている内容が表示されない	• 電源を入れた直後に発生することがあります。電源を入れてしばらく時間が経過すると、正しく表示されます。
使用できない機能がある	• 内部ストレージのメモリがいっぱいではありませんか？ 内部ストレージのメモリの空き容量を確認して、いっぱいであれば不要なデータを削除してください。
静止画、動画、音楽などのファイルが表示されない	• 内部ストレージにファイルが保存されていますか？ あらかじめパソコンから内部ストレージにファイルをコピーしてください（➡P.183）。
音楽ファイルを再生中にキーを押しても応答しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ （電源キー）を押してディスプレイを点灯させてからロックを解除してください（➡P.221）。
メディアデバイス（MTP）／カメラ（PTP）を利用できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？ USBテザリング設定中です。USBテザリングの設定を解除してください（➡P.166）。
本機／アクセサリーが温かい	• 充電中は本機およびACアダプタが温かくなる可能性がありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
本機の待受時間および通話／通信時間が短い	• 気温、充電条件、電波の強さ、設定などにより異なりますので、ご確認ください。
タッチパネルが誤動作するときがある	• 本機は静電気を使って指の動作を感知することで、タッチパネルを操作する仕様となっています。お客さまによってはタッチパネルが過敏に反応することがありますので、その場合は高感度モードをOFFにしてご利用ください（➡P.232）。

こんなときはご使用になれません

が表示されているとき	サービスエリア外か電波が届きにくい場所です。受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所に移動してください。
画面ロックが設定されているとき	誤操作防止のため画面ロックが設定されています（P.221）。画面ロックを解除しないと本機を操作できません。ただし、画面ロック中でもかかってきた電話に出ることはできます。
「機内モード」が設定されているとき	「機内モード」が設定されていると、すべての電波の発信が制限されます（P.55）。
電池残量がわずかな旨のメッセージ、または電池が空であることを警告するメッセージが表示されたとき	電池残量が不足しているか、なくなっています。内蔵電池を充電してください（P.35）。

ソフトウェアの更新

本機のソフトウェアの更新が必要かどうかをチェックして、必要な場合はモバイルネットワーク接続またはWi-Fi接続を利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードして更新できます。

- ソフトウェア更新には通信料がかかります。通信料はご契約内容によって異なります。
- 本機は、ソフトウェアのアップデートや、サーバーとの接続を維持する通信など一部自動的に通信を行う仕様となっております。
- ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新は、内蔵電池が十分に充電されているか、本機をACアダプタに接続した状態で実行してください。電池残量が不十分な場合は、更新に失敗したり、更新が開始できなかったりすることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電源を切ったり、EM chip＜micro＞を取り外したりしないでください。更新に失敗する場合があります。
- ソフトウェア更新は、電波状態の良い環境で、移動せずに実行してください。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を操作できません。
- ソフトウェア更新の内容によっては、「データの初期化」（P.231）が必要になる場合があります。本操作により、はじめて電源を入れる前の初期状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションを含む本機内のすべてのデータが消去されます。

- ソフトウェア更新の前には、すべてのデータのバックアップを確実に行ってください。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況（故障、破損、水濡れなど）によってはデータが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどをバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

■お知らせ

- ソフトウェア更新に失敗した場合、本機を使用できなくなることがあります。お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。また、失敗した状態によっては修理対応が必要となる場合があります。その際には所定の修理費用が発生する場合がありますのでご了承ください。

ソフトウェアを更新する

サーバーに新しいソフトウェアがある場合は、ステータスバーにが表示されます。

1 通知パネルを開く→該当するソフトウェアをタップ

2 画面の指示に従ってダウンロード

3 ダウンロードが完了したら「今すぐインストール」

手動でソフトウェアを確認／更新する

新しいソフトウェアがあるかどうかを手動で確認します。

1 ホーム画面で「設定」

2 「端末情報」→「システムアップデート」→「オンラインアップデート」

ソフトウェアバージョンのチェックが開始されます。

■ サーバーに新しいソフトウェアがない場合

ソフトウェアが最新版である旨のメッセージが表示されます。をタップし、そのままお使いください。

■ サーバーに新しいソフトウェアがある場合

「ソフトウェアを更新する」（➡P.244）の操作2に進みます。

仕様

主な仕様

■ システム情報

プロセッサ	HiSilicon K3V2, 1.5 GHz quad core
メモリ	ROM：32GB RAM：1GB
プラットフォーム	Android™ 4.1

■ 電源

内蔵電池	リチウムイオンポリマー電池、2350mAh
充電時間※1	ACアダプタ使用時：約210分 USB充電：約360分
連続待受時間※2（LTE/3G）	約270時間／約310時間
連続通話時間※2	約760分
連続通信時間（テザリング）※2（LTE/3G）	約480分／約480分

※1：充電完了までの時間は、周囲の温度や内蔵電池の使用期間などによって異なります。

※2：使用環境や電波状況などにより変動します。Wi-Fi子機1台を接続した場合の連続通信時間です。

- 内蔵電池の利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

■ ディスプレイ

方式	タッチパネル付4.7インチHD（IPS TFT）
解像度	1280×720（約1600万色）

■ LTE／W-CDMA／GSM／EDGEモジュール

通信方式および帯域	LTE：1800MHz W-CDMA：1700MHz／2100MHz GSM／GPRS／EDGE：900MHz／1800MHz／1900MHz
アンテナ	内蔵

■ 外装

サイズ	約67（W）×137（H）×8.6（最厚部9.2）（D）mm
質量	約122g

■ 環境条件

動作温度範囲	-10～40℃
保管温度範囲	-30～70℃

■ インカメラ

タイプ		約130万画素CMOSカメラ
ファイル形式（拡張子）	静止画	jpg
	動画	mp4

解像度	静止画	1.3メガ：1280×960 1メガ：1280×800 0.9メガ：1280×720 0.3メガ：640×480
	動画	HD：1280×720 VGA：640×480 QVGA：320×240 MMS：176×144
デジタルズーム		最大4.0倍
動画のフレームレート		15～30fps（撮影環境の明るさにより変動します）

■ アウトカメラ

タイプ		約1300万画素CMOSカメラ
ファイル形式（拡張子）	静止画	jpg
	動画	mp4
解像度	静止画	13メガ：4160×3120 10メガ：4160×2368 8メガ：3264×2448 6メガ：3264×1840 5メガ：2592×1944 3.8メガ：2592×1456 0.3メガ：640×480
	動画	Full HD：1920×1088 HD：1280×720 QHD：960×544 VGA：640×480 QVGA：320×240 MMS：176×144
デジタルズーム		最大4.0倍
動画のフレームレート		15～30fps（撮影環境の明るさにより変動します）

■ ビデオ／オーディオ／画像

ビデオ	H.263、H.264、MPEG-4、RV8-10、WMV9、VP8、3gp、mp4、rmvb/rm、asf
オーディオ	MP3、MIDI、AMR-NB、AMR-WB、AAC、AAC+、eAAC+、AC-3、PCM、OGG、WMA2-9、RA、wav、flac
画像	JPEG、PNG、BMP、GIF

- 上記のファイル形式でも利用できない場合があります。

■ 外部接続

Bluetooth®		標準規格Ver.4.0＋EDR準拠 Power Class 1 HFP、HSP、PBAP、OPP、A2DP、AVRCP、HID、PAN、FTP server、SPP
無線LAN	規格	IEEE802.11b/g/n
	通信速度（最大）	IEEE802.11b：11 Mbps IEEE802.11g：54 Mbps IEEE802.11n：72 Mbps

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認のうえ、内容をよくお読みになって大切に保管してください。
「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類がない場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。保証内容については、保証書に記載されています。

お知らせ

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

本書の「故障かな？と思ったら」（➡P.239）をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
  修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

お知らせ

- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、連絡先など大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします。
- 故障または修理の際に、本機に登録した情報内容または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先（➡P.253）までご連絡ください。

修理用部品について

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（連絡先、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。



Li-ion

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）

一般電話から：0120-736-157（無料）

※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

海外から：+81-3-6831-3333（有料）

受付時間 9：00〜21：00（日本時間／年中無休）

※間違い電話が多くなっております。
番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。

ホームページ　http://emobile.jp/



発売元：イー・アクセス株式会社
（製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.）
発行年月：2013年3月　第1.2版